

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の家 族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
						2002/2/2 2002/2/3 2002/2/4 2002/2/5 2002/2/6	夕 1日2回 1日2回 1日2回 1日1回	2002/2/2	夕服用後														
1	B02001634	1	年	男性	激越	2002/2/2 2002/2/3 2002/2/4 2002/2/5 2002/2/6	夕 1日2回 1日2回 1日2回 1日1回	2002/2/2	夕服用後	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	投与前2日目 入院、酸素サージ吸入(投与前開始日迄)、 投与前開始日 朝よりやや興奮の傾向があったことであった。夕方よりタミフル内 服開始後、一日中声を出して騒ぐ状態があった。 3日目 テオフィリンの影響を考慮し血中濃度を測定したが、6.96とむしろ低値。夜間は不 眠とのことであった。 5日目 タミフル中止。夜間は良眠。 6日目 興奮回復。 7日目 通常通りの機嫌となる。退院。一日中声を出して騒ぐ。
2	B05000689	1	年	女性	激越	2005/3/15 2005/3/16	1日2回 朝食後	2005/3/16	15:00	○	Yes	-	No	-	解熱過程	-	No	No	-	No	無	2005/3/15 夜、解熱するが夜間興奮状態で泣きわめく。2006/3/16(11:00)36.9℃午 前中歩行ふらつき状態。昼食後午睡し目覚めてから泣く。異常な興奮状態で号泣し母 親が「手がつけられなくなった」と訴え18:30に再来院。2005/3/17興奮状態少し落ち着 く。歩行正常。(11:00)36.5℃(20:30)再び興奮状態、ツラツラ歩きとなり再びタイア ップ坐剤使用を指示。	
3	B05022379	1	年	男性	①異常行動 ②低体温	2006/1/17 2006/1/18	18:00 9:00	2006/1/18	18:00	×	No	-	1時間程度	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2006/01/17(夕)A型インフルエンザ治療のためタミフル20mg投与。 2006/01/18(朝)本剤20mg投与。低体温(非重篤)34℃台 高く35.1℃。(昼)行動異 常(急に走り出して変な姿勢で止まる)を母が確認。(22:00頃)来院。入院にて経過観察。 低体温。 2006/01/19(7:00)低体温は回復。退院。(入院中、行動異常なし) 行動異常は回復。 インフルエンザ回復。	
4	B06025418	2	年	女性	①激越 ②異常行動	2007/3/6 2007/3/7	22:00 9:30	2007/3/6 2007/3/7	22:30 10:00	×	No	-	1-2時間	-	1度目は発 熱持続 2度目は解 熱過程	-	No	-	-	No	無	3/6(22:30)ベッド欄に頭をガングバンつける。「窓を開ける」「点滴をはずせ」などの 言葉を発して泣きわめく。約1~2時間でおさまり入眠。3/7(10:00)機嫌が悪くなり、頭を ベッド欄にぶつけたり、部屋の窓をさして開けて欲しいとせがんだりする。	
5	B07010111	2	年	男性	異常行動	2007/4/24 2007/4/25 2007/4/25 2007/4/26 2007/4/26 2007/4/27 2007/4/27 2007/4/28	夕 朝 夕 夕 朝 夕 朝 夕 朝	2007/4/24	夕	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/4/24 インフルエンザに対して、本剤75mg×2回/日処方。発症時に認められた 自他覚所見、発熱37.8℃。夕方より服用開始。異常行動発現(非重篤)。寝てははず なのに突然起き上がった。部屋を走り回った。けがはなかった。 2007/4/27 インフルエンザ回復。 2007/4/28 異常行動回復。本剤服用後、投与終了。	
6	B08019530	2	年	男性	異常行動	2007/3/24~ 3/25	1日2回	2007/3/25 2007/3/26 2007/3/27 2007/3/28	①昼間 ②夜間	×	No	-	-	-	解熱後	Yes	-	-	-	-	かんしゃく持 ち	2007/03/24 インフルエンザBと診断され、本剤を2回内服(2mg/kg×2回)。 2007/03/25 本剤2回内服(2mg/kg×2回)、解熱した。 異常行動発現。泣きわめいて、走り回る、寝転がると、壁に頭を打ち付ける。気に入ら ないことがあると頭を壁に打ち付けたり、くずりが今までより激しくなった。 2007/03/26 本剤投与中止。 2007/03/27 日中は問題なかったが、真夜中にまたくずりが激しくなった。 2007/03/28 午前中は気に入らない事があると頭を壁に打ち付けたり、くずりたりす る。異常行動(夜泣きが多い、地面に頭を打ち付けるなど)が続くため、入院。意識清 明で、神経学的その他の身体所見で異常所見は認められなかった。脳液では異常所 見は認められなかった。 2007/03/29 退院。 頭部MRIでも、異常所見は認められなく、髄液検査は未施行。 5日目の内に、異常行動は徐々に改善していき、ステロイドパルス療法など施行せず、 経過、予後は良好であった。 異常行動の転帰、軽快	
7	B03003860	3	年	女性	失見当識	2003/1/24	15:32	2003/1/24 2003/1/25	夜 13:45	×	-	-	-	-	発熱持続	-	-	No	No	-	無	2003/1/22インフルエンザ発症。体温(38.3℃)、咳、鼻水、下腹痛、倦怠感あ り。(午後)体温(37.5~38.2℃) 2003/1/24(8:30)受診(38.3℃) 咳、鼻水、軽い下腹痛を訴える。 2003/1/24(15:32)体温(38.7℃)と元気がなし。頭痛あり。インフルエンザAと診断し、 タミフル60mg/日を投与。少しぼーっとした感じがあるが、返事あり。夜より、わなわなと動き まわる。落ち着かず、キョロキョロするが呼んでも返事をせず、どこをみているのか焦 点がさだまらない。ぼーっとしており全くしゃべれない。聞こえているのかもわからない 状態になった。 2003/1/25(13:45)体温(36.9℃)と解熱するも上記症状がつかずよくなる。意識な し。顔色良好。呼吸正常。多動傾向あり。麻痺なし。神経反射異常なし。瞳孔左右同 大。対光反射あり。呼びかけてもまだままだまです。キョロキョロする。周りに誰がいるか わからない。医師も母親もよくわからない状態であった。脳炎又は本剤副作用を考慮 て他院へ紹介した。入院後の詳細は不明。EEG、MRI、髄液検査：異常なし。テオフィリン 血中濃度がやや高値。 2003/1/27 言葉がでるようになった。 (11:00頃)急に興奮し始め、奇声を発しながら何度も何度も自分の顔を打ちつけた。母 親が押さえたが、16時間まで異様な興奮状態が続いた。 (16:00)意識障害回復。その後、精神症状の方はおさまり再燃しなかった。	
8	B06001533	3	年	男性	意識レベルの低下	2006/3/30 2006/3/31 2006/4/1	夕 朝・夕 10:00	2006/4/1	11:00	-	No	-	5時間	No	解熱過程	-	-	-	-	-	無	2007/02 インフルエンザA型の診断にて本剤処方。午前11時ごろ1回目の服用。1回 目服用4時間後位に、急に意識を上げかけたり、昼食後(服用6時間後位)昏倒置い ていない場所まで走っておもちゃを探しにいたりいつもはみられない行動あり。寝る 前に本剤2回目の服用。KT38度台。 2007/02投与後2日目 前日同様、熱が高かったりしているのに突然動き出すなど、いつ もと違う行動が見られた。午前中KT38度台。午後には体温低下。その後症状なし。本 剤は5日間飲みきったが、その後は症状なし。アンヒパSs使用せず。	
9	B07013311	3	年	女性	異常行動	2007/2/20	11:00	2007/2/20	15:00	-	-	-	-	No	発熱持続	-	No	No	No	No	無	2007/02 インフルエンザA型の診断にて本剤処方。午前11時ごろ1回目の服用。1回 目服用4時間後位に、急に意識を上げかけたり、昼食後(服用6時間後位)昏倒置い ていない場所まで走っておもちゃを探しにいたりいつもはみられない行動あり。寝る 前に本剤2回目の服用。KT38度台。 2007/02投与後2日目 前日同様、熱が高かったりしているのに突然動き出すなど、いつ もと違う行動が見られた。午前中KT38度台。午後には体温低下。その後症状なし。本 剤は5日間飲みきったが、その後は症状なし。アンヒパSs使用せず。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の家族 歴	光に対 する反 応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副 作用 歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の 詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)		
						2007/3/16 2007/3/16 2007/3/17 2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19	10:30 夕 12:00 夕 夕 夕 夕	2007/3/16	13:00															
10	B07013419	3	年	男性	異常行動			2007/3/16	13:00	—	—	—	10分	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/16 (10:00)来院時は、39.6℃の発熱、若干の咳があった。A型インフルエンザに対し、本剤60mg2錠を処方。(10:30)本剤30mg服用。(11:30)二階で昼寝。いつもの発熱と同様、少し四肢をビクビクとする。(13:00)昼食を用意して、母親が二階へ。その時二階の大きい窓を開けて上半身を乗り出すようにした。母親が注意すると素直に従う。表情正常。いつもは母親の言葉になかなか従わず、わがままの姿あり。返って不自然かなと母親は感じたとの事。(13:10)異常行動疑いは回復。 2007/3/17 (朝)発熱なく服用せず。(12:00)40℃の高熱、朝の分の本剤30mg服用。(夜以降、発熱認めなかったが、その後も合計4日服用。	
11	B07027596	3	年	男性	激越 幻覚			2008/02/07 2008/02/08	21:00 9:30	2008/02/07 2008/02/07	22:00 22:00	○	—	30分	10分	No	発熱持続中	—	No	Yes (元、発熱時に怖い夢を見る)	—	No	No	2008/02/07 (10:00)インフルエンザA型と診断。(21:00)A型インフルエンザに別して、タミフル25mg内服。(22:00)発熱感あり。寝たかと思うとわっとなんか「何かがある」と言う。テレビを指差して「あーあー」「まーまー」と訳のわからないことを言いガクガクふるえる。10分位でおさまって入眠。(23:00)頭ふとんに入っていたのが起きて走り出す。10分程でおさまる。 2008/02/08 (3:00)頭また騒ぐ。(9:00)起きてすぐまた「わーっ」と騒ぐ。体温36.6℃。朝食はふだんの半分くらい食べた。(9:30)本剤12.5mg内服(昏睡のため半分やめた)。 2008/01/16 (1:00)突然起き上がり机の上へあがる。その後椅子に登ろうとした。その後短時間(5分程)戻り「ボーン」とした感じであった。夜間せん妄(非重篤)発現。その後寝ていた。 (11:10)夜間せん妄回復。
12	B08001381	3	年	男性	譫妄			2008/1/15	22:00	2008/1/16	1:00	○	Yes	—	5分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	(1:00)突然起き上がり机の上へあがる。その後椅子に登ろうとした。その後短時間(5分程)戻り「ボーン」とした感じであった。夜間せん妄(非重篤)発現。その後寝ていた。 (11:10)夜間せん妄回復。
13	B02001480	4	年	男性	①妄想 ②幻覚			2002/2/5 2002/2/6	夜 朝	2002/2/5 2002/2/6	服用1時間後 服用2時間後	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	投与開始当日 体温:39.3℃。1カプセル投与1時間後(夜間)に妄想、幻覚が出現。その後、妄想、幻覚は、おさまった。 投与開始翌日 朝、1カプセル服用2時間後に幻覚、妄想が出現。来院後、タミフル投与中止。(本人が包丁を持ち出した。その事を聞いてみると、持ち出したことは覚えていたとのこと)。	
14	B05000876	4	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動 ③尿失禁			2005/3/11 3/12~3/13	夕 朝・夕	2005/3/13	12:00	×	No	—	13日5分 14日10~15分	No	発熱持続	No	No	No	—	No	無	意識がもうろう状態で、意味不明の発語をしながら火がついたように泣き、母親に抱きつく。母の膝の上で尿失禁をする。夜、睡眠中突然起き上がり叫ぶ。壁をカンカン叩く等の興奮状態となり、母親が声をかけやむを得ず立ちます。10分から15分くらいすると自然に再入眠をする。このような行動を1時間毎に4~5回繰り返した。
15	B06024911	4	年	男性	①激越 ②異常行動			2007/2/26	夕方	2007/2/26	17:00頃	—	No 眼中にむく くり起きた	30分×数回 (くり返し)	No くり返した	解熱過程	No	No	No	—	—	No	無	興奮状態が30~40分。その後大声で奇声を発し、怪えたように走りまわる。大人二人でかろうじて押さえる。単なる興奮というよりも、抑制しきれない飛び出しやすいような暴れ方、事故につながるかねない様子。つじつまはあっているがしゃべりまくっていた。
16	B07000057	4	年	男性	異常行動			2007/2/28	不明	2007/2/28	服用30分後	—	No	—	—	No	発熱持続	—	No	No	—	No	不明	母親が姉を保育園に送っている間目を離した間に、道路を全速力で走っており、家につけて帰った後は、ベンダの欄を越えようとしていた。
17	B07000106	4	年	男性	激越			2007/3/18	19:00	2007/3/18	20:00	—	—	—	1回目は数 分で回復 2回目は1時 間以内に回 復	2回目の異 常興奮以降 は完全に回 復	発熱持続	—	No	No	No	No	有(不明)	2007/3/17 37℃台の発熱あり。 2007/3/18 午前中から39~40℃台の発熱があり、休日診療所を受診した。インフルエンザA型と診断。タミフル、ムコダインが処方された。自己発熱39℃~40℃台、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)。(19:00)本剤、ムコダインを服用した。(20:00)大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。(23:30)大声をあげて、押さえつけていないと動き出すような様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。本剤は中止とし、観察目的で入院した。以後、輸液のみで観察したが、異常行動、けいれん、異常発音などはなかった。 2007/3/22 退院。
18	B07000286	4	年	男性	①譫妄 ②異常行動 ③筋骨格硬直			2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00 18:00 8:00 18:00	2007/3/10 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11	8:00~14:00 18:00~23:00 8:00~14:00 18:00~23:00	×	No	—	5~6時間	Yes	発熱持続 解熱過程	—	No	No	No	No	無	2007/3/10 (8:00)インフルエンザA型に別して、タミフル66mg×2回/日投与開始。コケッコウと言ったわごと(非重篤)を言っており、表情もこわばり(非重篤)、走り出すため、親が抱きかかっていた。(14:00)本剤服用後6~7時間後に症状消失。(18:00)本剤投与、症状出現。(23:00)症状消失。 2007/03/11 (8:00)本剤投与、症状出現。(14:00)症状消失。(18:00)本剤投与、症状出現。(23:00)症状消失。3/10~11で計4回本剤投与一症状発現を繰り返した。 2007/03/13朝本剤内服後、投与中止。症状全て回復。
19	B07004784	4	年	女性	異常行動			2007/3/15 2007/3/15	12:00 20:00	2007/3/15	20:00	○	Yes	—	1分	Yes	発熱持続	—	No	—	—	—	熱性痙攣	睡眠随伴症を思わせる既往なし。 不明 今季、予防接種2回施行。 2007/3/14 (4:00)発熱。(午前)当院初診。インフルエンザウイルス抗原迅速検査(鼻をかんだ鼻汁検体)を行ったが陰性であった。トミロン細粒180mg分3、ムコダイン細粒450mg分3、カロナール細粒150mg頓用を投与した。 2007/3/15 (午前)解熱せず再来た。鼻咽喉腔消毒液を用いて検査を行った所、インフルエンザと診断。(12:00)本剤30mg/回投与。(20:00)本剤30mg/回投与。異常行動発現。寝ている途中で突然起き上がり、同じ部屋のTVの方へ歩いていった。眼は開けていたがうつろであった。目立ち動かし、そこをこじ開けたが、意味は不明であった。会話は成立しなかった。1分位で横になって静かに眠りに就いた。 2007/3/16 (朝)覚醒し、以降異常は認められなかった。異常行動軽快。本剤は以降服用しなかった。 2007/3/17 (朝)解熱した。
20	B07018038	4	年	男性	異常行動			2005/03/14 2007/03/03 2007/03/03	不明 13:10 23:50	2005/03 2007/03/04	3:00	○	Yes	—	10~15分	Yes	解熱過程	No	No	No	—	No	No	2005/03/14(17:00)体温39℃。(18:00)当院受診し、本剤処方。 2005/03/15 夕方には解熱。この間、大声で叫ぶという異常行動を起こす出現時間不明。 2007/03/02 (17:00)体温 38.7℃。 2007/03/03 (13:10)体温 40.1℃。本剤1回目服用。(23:50)体温 40.0℃。本剤2回目服用。 2007/03/04(3:00) 体温 37.9℃。目を開いたまま、立ったり、すわったり、走ったりが10~15分続く。就寝中、突然起き上がり「おぼけが見える」と叫ぶ。目を見開いた状態で焦点合わず。母親を認識できず恐怖の形相で走り出す。2階の上にとりかかっていた

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症候を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
21	B07025219	4	年	女性	低体温 異常行動	-	-	2008/1/31 2008/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/29AM 本剤3日分処方。 2008/01/30夜 体温38°C。 2008/01/31朝 体温34.2°Cに低下。低体温発現。 不明 夜間にうろついていた。異常行動発現。 不明 低体温、異常行動 軽快。	
22	B08001240	4	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2008/1/19~ 2008/1/21	-	2008/1/21	朝	×	No	-	-	-	解熱後	-	-	-	-	-	-	2008/01/21 (朝)本剤内服30分後、「物が2つに見える」、「キヤーキヤー大きな声をあげて走り回 る」。幻覚、異常行動発現。体温36.7°C。 不明 幻覚、異常行動 回復。	
23	B08002520	4	年	男性	異常行動	2008/2/10 2008/2/11 2008/2/12	PM AM/PM AM/PM	2008/2/12 2008/2/13	①23:30 ②2:00	○	Yes	2時間30分	-	①No ②Yes	①解熱過 程 ②解熱後	No	No	No	No	No	-	2008/02/12 21:00就寝。 (23:30)目覚めて、ギョアギョア、「イヤダイヤダ」と叫び、どうしようもない様に人を 蹴る。泣き寝れて眠る。異常行動(非重篤)発現。 2008/02/13 (2:00)再び急に起き上がった。窓の台に上る。異常行動(非重篤)発現。 本剤投与中止。 以後同様の行動なし。異常行動 回復と判断。	
24	B08028418	4	年	女性	異常行動	2009/1/24	-	2009/1/24	12:00 時刻不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/24 当院受診。インフルエンザAと診断。本剤51mg×2回/日投与。 (12:00)異常行動(突然走り出す、おひえる、わめく、手を振り回す等無意味な動作、寝られ ない(寝れない)) (医師重篤度：非重篤)発現。突然走りまわり、おひえたり、わめ いたりした。手をふりまわす様な意味のない行動をくり返した。 (時刻不明) 異常行動(突然走り出す、おひえる、わめく、手を振り回す等無意味な動作、寝られ ない(寝れない))の転帰：回復	
25	B08031694	4	年	男性	異常行動	2009/2/28	午前	2009/2/28	14:00	○	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	No	-	2009/02/28 A型インフルエンザ治療のため本剤36mg投与。服用後寝込む。 (14:00)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。午後起床し、椅子に座り、水を飲んだり 、父親と話した後、突然室内を走り回る。父の問いかけに寝に入る。その時点38°C。 その後は37°C台維持し軽微な症状残る。 異常行動の転帰：回復
26	B04008530	5	年	男性	譫妄	2004/2/6 2004/2/6 2004/2/7 2004/2/7 2004/2/8 2004/2/8 2004/2/8 2004/2/9	10:20 18:15 10:45 18:35 10:30 20:00 7:45	2004/2/6~ 2004/2/7	夜~ 明け方	-	-	-	24hr以内	Yes	発熱持続	-	No	No	No	No	No	無	2004/02/05 夕方、インフルエンザ発症。 2004/02/06 38.9°Cの高熱を主訴として来院。インフルエンザ抗原抗体にてA型と判 明。(AM10:20)タミフル内服。(PM6:15)本剤内服。体温：40.2。夜~7日明け方にかけて 40°Cの高熱が続く。 2004/02/07 明け方、鬼が出たと言って、興奮して家の中を走り回っていた。いわば譫 妄状態に陥った。(AM10:45)本剤内服 (PM6:35)本剤内服 体温：37.0、同日、譫妄回 復。 2004/02/08 (AM10:30)本剤内服 体温：36.7 (PM8:00)本剤内服 体温：36.2 2004/02/09 (AM7:45)本剤内服。体温：36.0°C
27	B05024964	5	年	女性	譫妄	2006/02/06	夕	2006/02/06	20:00~翌4:00	○	Yes	1	No	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	突然起き上がった。目をしっかりと開けている。しかし目つきはおかしい。そして母の服に 変な小さな黒い虫がついているとか、シールがついているからとそれを剥がそうとし り、毛布をアイスと言って口にくわえたり、そばに友達がいて何々たらダメとか何々を 責めてなどと話しかけたりする。夢遊病の様になって歩いたりもした。ほとんど眠らずに このような症状が続いた。	
28	B05025585	5	年	男性	譫妄	2006/2/21	昼、19:00	2006/2/21	14:00 16:00	-	-	-	数~30分	-	-	-	-	-	-	-	高熱時、奇声 を上げることが あった。	2005/3 本剤服用し、異常行動(重篤度不明)発現。 2006/2/19 (朝)患児の母、発熱。 2006/2/20 患児の母、インフルエンザA型と診断。 2006/2/21 発熱。当科受診。インフルエンザA型と診断。本剤内服開始した。(昼)本剤 60mg服用。(14:00頃)30分ほど混迷状態(奇声、走り回る、ないものがあると云う)となっ た。(16:00頃)数分同様の状態となった。(19:00頃)本剤2回目60mg服用。(21:00過ぎ)30 分ほど混迷状態となり、救急受診、入院した。 2006/2/22 解熱。 2006/2/24 点滴中止。 2006/2/25 増悪なく退院。	
29	B06025200	5	年	女性	異常行動	2007/2/20	19:00	2007/2/20	20:00	×	安眠出来て いない。寝 るの延長→ うとうとし ている状態か ら発現	-	6時間	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	不明	2007/2/20 インフルエンザA型と診断。タミフル69mg×2回/日処方。(朝)本剤内服したが嘔吐。 この時期は発熱にかかわらず、特に異常行動を認めなかった。(19:00)タミフル 内服。体温39°C。朝は嘔吐してしまったので、実際には夜だけ服用。内服後寝かすつ けたが、うとうとしている状態が続いていた。(20:00)服用後1時間くらいから異常 行動発現。症状としては夜から朝まで明けのわかない行動が続く。一晩中寝られな かった。タミフルを服用させ、寝かせようとしたが、うつろうつろしている状態でふんを 投げ出したる行動が出現した。 2007/2/21 (3:00~5:00)明け方より熟睡。おそらく熱は下がっていたと思われるが不明。 異常行動回復。 2007/2/26 インフルエンザ、軽快・回復	
30	B06025337	5	年	女性	異常行動	2007/2/5	16:30	2007/2/5	22:00	○	Yes	1.5時間	約2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	不明	2007/2/5 (17:00)インフルエンザに別して、タミフル内服。(20:30)就寝。(22:00)異常行 動発現。急に起き上がり、嘔吐し、トイレへ駆け込んだ。その後、復座。自分の次も を必要以上にさすっていた。心配になった両親が救急車を呼び、搬送。 2007/2/6(0:00)就寝。(←4:00) 5:00)就寝。(←8:00)熱も下がり、退院。異常行動回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
31	B07000128	5	年	女性	①異常行動 ②意識レベルの低下	2007/3/19 14:00	2007/3/19 20:00 2007/3/20 12:00	×	No	—	1分以内	Yes	事象1は一 事象2は解 熱後	No	No	No	No	No	無	2007/3/19 (午前)39.6℃の発熱あり受診。インフルエンザA型と診断。(14:00頃)本剤1 回分33mg服用。 (20:00頃)急にけいこで転倒した。眼球上転あり、意識はすぐに回復するも、その間 の記憶は無かった。 その後本剤服用せず。 2007/3/20 (12:00頃)トイレに歩き出した後、眼前暗黒となり倒れかかり、母親が支えら れた。意識消失は無かった様だと、またこの時発熱は無かったと。	
32	B07003175	5	年	男性	①痙攣 ②異常行動	2007/2/24 2007/2/24 10:00 夕 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27	2007/2/24 19:30	○	Yes	—	Yes	No	—	—	No	No	Yes	No	無	2007/02/24(午前)39.8℃で来院。インフルエンザA型と診断。(10:00)本剤内服後就寝。 (夕)本剤内服。(19:30)布団から急に立ち上がりカニのように歩き回る。カーテンを開け て外を見、痙攣し倒れた。 2007/02/25 他院に一時入院。朝中本剤内服継続。 2007/02/26 退院。(午前)37.1℃。朝、本剤内服。(昼過ぎ)37.8℃。「空を飛んで死にた い」と言った。(夜)本剤内服。 2007/02/27(昼過ぎ)再び「死にたい」と発言。37.0℃。 2007/02/28 本剤1日分残っていたが、投与中止。インフルエンザ、異常行動ともに回 復。	
33	B07013260	5	年	女性	異常行動	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13 2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14 2007/3/15 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16	2007/3/13 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/12 本剤投与開始。 2007/3/13 本剤投与2日目に、異常行動(走りまわって壁にぶつか。表情がおかし い)が発現。 2007/3/16 本剤の投与を中止。	
34	B07022413	5	年	女性	痙攣 幻覚 異常行動 幻聴 譫妄	2007/12/30 夕 2007/12/31 朝 夕 2008/1/1 朝 夕 2008/1/2 朝 夕 2008/1/3 朝 夕 2008/1/4 朝	2007/12/31 4:00 2007/12/31 4:00 2007/12/31 4:00 2007/12/31 4:00	○	—	—	—	—	発熱持続中	—	No	No	No	No	No	2007/12/31(4:00) 入眠していたが急に起き上がり、走り回る。友達の名前を呼ぶ。母の背中に虫が見え ると言い始めた。母の背中によじのぼったり、友人の声を聞こえると言った。 母に抱かれてガクガク痙攣発作(?)を繰り返す。母は認識可能。 救急車で病院を受診。受診時、異常行動消失、意識清明。 本剤継続して、1/1より発熱。	
35	B07025220	5	年	男性	異常行動	2007/11/13	2007/11/13	×	—	—	—	No	—	—	—	—	—	—	No	2007/11/13 診察時 体温:38.3℃。(夕食後)インフルエンザA型に対して、本剤96mg 内服。体温:37.8℃ 一度眠った後、目を覚まし、何かにおびえるように「いやだいやだ」と叫び、洗面台によ じ登ろうとする。蛇口をじっと見つめ指で押さえる。こうした行動を繰り返した。異常 行動(非重篤)発現。 2007/11/14 (朝)起床時やや興奮した様子。	
36	B07025660	5	年	女性	熱性譫妄	2008/1/28 午後	2008/1/28 服用1時間後 程度	×	—	—	1分	Yes	発熱持続中	No	No	Yes 詳細不明	—	—	No	2008/01/27 (夜)発熱40℃あり。 2008/01/28 受診し、インフルエンザ検査でA型陽性。本剤46mg×2回/日処方。同時 に処方したSleep Aidは陽性。午後より内服開始。熱せん妄発現(非重篤)。服用後1時間 ぐらいたると痙攣が含みず、1分間隔でためがあるが、くぐるごと同じ所をまわる様に走る 動作をした。熱せんもう(非重篤)発現。 (夜間)鼻出血出現。 2008/01/29 熱せんもう回復。解熱後の同事象の再現性はなし。けいれん歴なし。 2008/02/02 本剤午後内服後終了。	
37	B0013386	6	年	不明	激越	—	—	○	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	(母親からの連絡)服用した夜、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが大嫌いで、以 前、他剤でも夜間に暴れたことがあったとのこと。	
38	B05021887	6	年	男性	①幻覚 ②激越	2006/1/8 2006/1/9 2006/1/10 2006/1/11 2006/1/12	朝・夕 10:00・夕 朝・夕 朝・夕 朝・夕	2006/1/9 15:50	×	—	—	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	(15:50)幻覚、興奮状態発現。急に意識もうろろとし、「部屋の隅に黒い服を着た人がい る」などと、おびえたように話し、あばれた。(16:06)救急車で来院。来院時は不穏が 強かったが、すぐおとなしくなり、採血等もスムーズに行えた。
39	B05023789	6	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2006/01/24 2006/01/25	夕 朝	①2006/01/24 23:00—24: 00 ②2006/01/24 —	—	—	—	Yes	Yes	発熱持続	—	No	No	—	No	2006/1/24 (19:00頃)高熱の為受診し、タミフル、シロップ剤、アンヒバ坐剤処方あり。 帰宅後食事し、タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用。(20:00)就寝。(23~24:00)服用数時 間後に痙攣して寝かしている部屋から「布団が飛んでいる」と走って出てくる。母親が なぐり、寝眠する。幻覚症状発現。(夜)朝はいかい発現。 2006/01/25 (午前)朝食後タミフル(33mg/日)、シロップ剤服用させるが直後に嘔吐。 熱39~40℃あり。本日は幻覚症状無し。(19:30)母親より幻覚症状についての電話が薬 局にあり、本剤の副作用かインフルエンザによるものかどちらの可能性もある為、主治 医へ詳しい幻覚症状について伝え、今後の対処方法を問(様)に伝える。(19:40)主治 医へ電話し、本剤の副作用の可能性あるため服用中止の指示。また坐薬未使用のた め、使用するよう指示あり。 2006/1/26 (9:00)薬局より母親へ様子確認の電話。坐薬使用後熱(口)数も増えてき たとのこと。今後も注意して様子見るように伝える。幻覚ない旨確認する。(10:00)受診 し、フロモックス小児用細粒、シロップ剤処方あり。 2006/1/27 母親が薬局様子確認する。熱はなく普段通りに会話するものの「誰かが いる」と幻覚症状があるとのこと。インフルエンザ脳症の危険性を話し、受診を勧める。 2006/1/30 幻覚症状回復。(不明)はいかい回復。 2006/1/31 薬局より様子確認の電話を入れる。1/30より元気に通学し、幻覚等無い 事を確認する。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か 否 (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っている のか？)		
40	B0600186	6	年	男性	異常行動	2006/3/8 19:30	2006/3/8 23:20	○	Yes	①未記載 ②— ③—	3~4分	Yes	解熱過程	No	—	—	No	No	無	2006/1 インフルエンザA型発症。他院にてタミフル5日間内服。不明「バーンバーンと音がする」という幻聴(3~4分/回)が服用中(5日間)続いた。(非重篤) 2006/3/8 (12:00)発熱を認め近医受診し、インフルエンザBがうつらと出ていたため、本剤、抗生剤を併用で処方を受ける。(19:30)タミフル、抗生剤を内服(投与量不明)。(20:00)嘔吐1回(タミフルの副作用とは考えない)。(21:30)39℃台の高熱を認めアセトアミノフェン(坐薬200mg)を使用。(23:20)突然起き、「眠ってる」「来ないで」「」こに入らなあんねん」と言い、母親の足跡の間に自分の手指を入れたり、制止がきかない程暴れたり(3~4分続き、その後、普通通りに戻った。近医に電話され、当科紹介となった)。(37.6℃) 異常行動発現。(23:40)当科受診。意識清明、見当識障害なし。入院となった。 2006/3/9 (0:50)脳波検査を施行(異常なし)。インフルエンザ迅速診断テスト実施し陰性。(7:10)39.2℃。入眠中突然起き、「大きなボウモクが起きて起きてと言う」、「ボウモクをそこ脱衣におる」とその後異常行動なし。(19:00)インフルエンザ再検し陰性確認(サンプル:鼻咽頭)。その後解熱し、脳波再検にて異常なし。 2006/3/10 (9:45)退院。		
41	B06006859	6	年	女性	①譫妄 ②異常行動	2005/12/19 2005/12/20 2005/12/21	昼過ぎ 昼過ぎ 14:00	2005/12/19 ①2005/12/20 ②2005/12/21	×	No	—	2hr	Yes	発熱持続/ 解熱過程	No	No	No	No	No	無	①1~2時間して顔面真っ赤にして嘔吐したり、落ち着きなく動き回るようになった。 ②ドアに向かって「お父さん」と、いない父に対して話しかけたり、真つ暗な階段を昇っていくとうたりするようになった。周囲の状況がわからない様子だった。	
42	B06025518	6	年	女性	意識レベルの低下	2007/2/27	昼食後	2007/2/27 15:00、 17:00、21:30	○	Yes	約3時間、約 2時間、約45 分	9時間	Yes	発熱持続	No	No	—	No	No	無	2007/2/27 (10:19)朝3時から高熱、倦怠感、関節痛等を主訴に外来受診。インフルエンザ迅速法ではA・Bともに陰性だが、母親の希望もありタミフル等を処方後帰宅。(昼食後)タミフル45mg×1回内服し自宅でソファで就寝。(15:00)併用薬も多いがタミフル内服3~4時間後、意識障害発現。父がソファからベッドへ移動する際に促し移動する時、最初の椅子音を話していたが、その後ベッドへ入眠。(17:00)ベッドに起きた様だが、再び椅子音をし、一人で壁外へ出ようとした。意識障害持続。父親が対処するも父親のことも解らない状況になり、自家用車で当院受診。(17:49)当院救急外来受診。JCSでレベル10の意識障害あり。インフルエンザ脳症を疑い、採血や髄液検査時も意味不明の発声あり。頸部硬直不明瞭だが、髄液検査や頭部CTスキニングは異常なし。インフルエンザ迅速法で再検したが陰性(後日ウイルス抗体価HII法でペア血清でチェックしたが、抗体価変動なし)。そのまま入院しTPN静注とフェニトール投与した。検査中も意識障害のみならず、時々時間にもつかつかと覚める事もあった。(20:45)病とう上がった。意識障害は継続していた。その後就寝。(21:30)トイレに起きたが意識障害のため間に合わず、おもらしをした。その後就寝。(23:00)再びトイレに起き、この時は意識がはっきりしていた。その後就寝。 2007/2/28 (朝)起床。(8:20)意識レベルは回復。熱も36.8℃まで解熱した。 2007/3/2 (13:00)後遺症はなく軽快。退院。	
43	B07000279	6	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/17	18:00 不明	2007/3/17 18:30~23:30	○	Yes	—	5時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2007/3/17 (18:30)A型インフルエンザのためタミフル40.5mgを投与開始。(18:30~23:30)内服後興奮状態となり、室内ソファを飛び越え、対面にあるドアに激突し、顔面を打撃す。異常行動発現。 2007/3/20 異常行動回復。インフルエンザ軽快。	
44	B07012137	6	年	男性	異常行動	2006/5/24 2006/5/25 2006/5/25 2006/5/26 2006/5/26 2006/5/27 2006/5/27 2006/5/28 2006/5/28 2006/5/29	夕	2007/5/25 昼	×	—	—	—	Yes	解熱過程	No	No	—	No	No	無	2006/05/23 38.6℃の発熱。 2006/05/24 B型インフルエンザに対して、本剤20mg×2回/日処方。夕方より服用開始。 2006/05/25 (昼頃~)異常行動発現(非重篤)。2階より転落、「助けて」という声に母親が見つけ、外傷は特になし。その後、意識清明。 2006/05/29 内服を続けたが異常はみられず、朝、本剤服用後投与終了。 2006/05末 インフルエンザ軽快。回復。	
45	B07013250	6	年	男性	異常行動	2007/2/8	2007/2/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/2/8 B型インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。1度目の服用後しばらくしてから大声を出し玄関に向かって走っていったところ母親に制止された。 不明 異常行動は回復。	
46	B07013332	6	年	女性	異常行動	2007/3/21 2007/3/21 2007/3/22 2007/3/22 2007/3/22 2007/3/23	9:00 19:00 8:00 19:00 8:00	①2007/3/21 ②2007/3/22	①23:00 ②12:30	①○ ②×	—	—	—	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2007/3/21 (9:00)A型インフルエンザ治療の為、本剤45mg×1回の投与開始。体温39.0℃。(19:00)本剤45mg×1/回投与。(20:00)体温38℃。就寝。(23:00~23:05)異常行動。精神障害発現(非重篤)。就寝中、突然大声を出し、足をバタバタと動かし、暴れた。母親が、体をさすりながら声をかけると5分後におさまる。しかし、本人は目をささみせず、そのまま睡眠に入った。 2007/03/22 (7:00)発熱37.5℃。目覚めは正常であったが、昨夜の事は全く記憶にない。(8:00)本剤45mg×1/回投与。 (12:30~12:40)異常行動、精神障害発現(非重篤)。昼寝に入る前に、昨夜のように大声(意味不明な言葉)をだし、手足を急に動かし、暴れる。声をかけてなだめると昼寝に入る。(19:00)本剤45mg×1/回投与。その夜は副作用はなかった。 2007/03/23 (8:00)本剤45mg×1/回投与し、体温35.0℃となり、相談(医師と患者さんの母として、本剤服用を中止する。インフルエンザの転帰。軽快/回復
47	B07013397	6	年	男性	譫妄 異常行動	2007/4/22	—	2007/4/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/4/22 (昼)来院。インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。帰宅して服用。服用後まもなく、うわごとを言う、走り回るといった異常行動が発現。その後、本剤の投与を中止。うわごとを言う、走り回るといった異常行動は回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か 否 (就寝中：○、 就寝中じや ない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 発現したか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)	
48	B07013398	6	年	男性	異常行動	2007/3/3 2007/3/3	14:00 21:00	2007/3/3 2007/3/4	15:00 0:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2下旬 湿性の咳出現。 2007 発熱する2〜3日前、夜寝ているときに不随意運動があった。(ピクピク) 2007/3/1 発熱する前日の夜、おびえたように、大声で「ママ、ママ」と探した。 2007/3/2 (夕方)かなりぐったりした様子が見られ、その後38℃の発熱あり。この頃から、いつもの熱の出方ではないような、少しもうろうとしているような様子があった。 2007/3/3 (朝)38℃の発熱あり。(13:00頃)当院受診時、39.9℃に上昇。インフルエンザA型の診断がつき、本剤処方。 この頃より、すぐぐっすり寝ている様子あり、声をかけても、なかなか返事をせず、目を開けない様子があった。(14:00頃)帰宅後すぐに本剤服用。(15:00頃)異常行動発現(非重篤)。突然、服用した薬や、アクエリアスなどを全て嘔吐。この間も、ずっと傾眠しているようで、妄想のような意味不明の言動も見られた。嘔吐後、まもなく30秒から1分弱の痙攣を起こす。間代性で眼球の左偏位があり、チアノーゼも出たが、すぐに落ち着きを取り始めた。意味不明の言動と深い眠り、向度も呼ばないと返事をしなかったり、返事しても目を開けなかったり、目の焦点が定まらなかったりした。(夜)発熱と頭痛あり。(21:00)2回目の本剤服用。 2007/3/4 (0:00)2回目の本剤服用から3時間後、それまで寝ていたのに突然飛び起き、まるで飛び込むように階段の方へかけていった。保護者が追いかけて止めた。その時はもう目が泳いでしまい、保護者の言うことはまったく耳に入らず、まるで何かにとりつかれているようだった。トイレをさせても変なところへかけてしまい、手を洗おうとしても、ただ手を濡らしては動かぬような状態でおきつけて落ち着くまでに5〜10分かった。その後、また寝た。その時の状況は本人は覚えていなかった。 2007/3/5 熱も下がりが元気になるってきたが、3回ほど声をかけないと返事をしない、焦点が定まらない症状が続いた。 2007/3/6 普通の状態になった。	
49	B07022876	6	年	不明	異常行動	2008/1/12	1日2回	2008/1/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/01/12 インフルエンザ治療のため、本剤(49mg×2/日)投与開始。 同日、玄関まで突然走っていった。異常行動(非重篤)が発現。 2008/01/16 転帰不明。	
50	B07026153	6	年	男性	異常行動	2008/2/6 2008/2/7 2008/2/7 2008/2/8	午後	2008/2/7	夜	-	-	5〜10分	Yes	発熱持続中	No	No	No	-	-	2008/02/06 インフルエンザA型に対して、本剤39.9mg×2回/日処方。午後より内服開始。 2008/02/07 (夜)39.7℃の高熱があり、突然起き上がり、家中を走り回った。尿のわからないことを話し、5〜10分間続いた。異常行動(非重篤)発現。その後症状回復。 2008/02/08 (12:30)診察。体温36.7℃。反応は普通で異常なし。本剤午前内服後、投与中止。	
51	B08026307	6	年	男性	異常行動	2008/12/21	12:00	2008/12/21	15:00	○	Yes	3時間以内	-	Yes	-	-	-	-	No	2008/12/21 (10:00)点滴施行に際し、日頃にならぬ感覚あり。 (12:00)本剤40mg投与。 (15:00頃)異常行動発現。眠りから急にムサツと起き部屋をグルグルまわる。 (16:00頃)2階から1階に降りて、外に出ようとして母が制止し、意識清明となる。 異常行動の転帰：回復	
52	B08028327	6	年	男性	異常行動	2009/1/20〜 2009/1/24	1日2回	2009/1/22 2009/1/23	-	○	-	-	No	-	No	No	-	-	No	2009/01/20 頭痛、気分不良で当院受診。インフルエンザと診断。本剤43.8mg×2回/日服用(計9回服用)。 ムカムカ(医師重篤度：非重篤)発現。初診後一日中ムカムカしていると訴えあり。 2009/01/22 興奮(医師重篤度：非重篤)発現。 幻視(医師重篤度：非重篤)発現。虹が見えるという幻視。 2009/01/23 異常な行動(医師重篤度：非重篤)発現。うなされ、怖い夢をみた。走り回ったりした。よしいかへる。 2009/01/26 ムカムカの転帰：回復、興奮の転帰：回復、幻視の転帰：回復、異常な行動の転帰：回復	
53	B08031693	6	年	女性	異常行動	2009/3/4	-	2009/3/4	服用3時間半 後	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	2009/03/04 インフルエンザ治療のため本剤投与。 (服用後およそ3時間半後)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。急に家中を走りまわったり、着ている物を脱ぎだした。熱は38度4分。本剤1回服薬まで確認している。その後の服薬状況(中止したか否かを含めて)は不明。転帰も不明。 異常行動の転帰：不明	
54	B05020834	7	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2005/12/12	11:00、18:00	2005/12/12	19:00、24:00	○	Yes	1時間、約5 時間	5〜6分	-	発熱持続	No	-	-	-	No	2005/12/12 朝、他院にてタミフルドラシロップ4mg/kg/日処方される。(11:00)タミフル2mg/kg内服。(18:00)タミフル2mg/kg内服後、寝かせる。(19:00)突然起き出し、ドアノブを強く回し続ける。又、左手に黒い点が見えるなどと訴える。(19:10)就寝。(24:00頃)突然起き上がり、同様の行動をとる。(24:10)就寝。 救急車にて当院搬送。 2005/12/13 朝、何事もなかったように起床。MRI、血液検査を実施するが、異常は認められなかった。念のために入院したが、異常行動は起こらなかった。
55	B05023592	7	年	男性	①譫妄 ②失見当識	2006/1/18 2006/1/19	夕 朝・夕	2006/1/19 2006/1/20	21:00 1:30、12:30、 18:00	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/01/18 (夕)インフルエンザ様症状に対して、タミフル50mg投与開始。 2006/01/19 (朝)夕タミフル50mgずつ投与。(21:00頃)眠っていた後突然起き上がり、そこにはいない友人の名前を呼びながら徘徊。急に笑ったり、物を数える。せん妄(非重篤)、見当識障害(非重篤)発現。(22:00)入院。輸液経路観察。せん妄以外は意識清明で、発熱、感冒症状は無いが、全身状態は落ち着いていない。 2006/01/20 (1:30)(12:30)(18:00)眠っていた後期間後、意味不明な事を言い笑う。問いかけの返事はあまい、5〜6分続いた覚醒。せん妄、見当識障害回復。 2006/01/21 解熱。以後は覚醒時せん妄なし。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)
						朝	夜	朝	夜													
56	B05023597	7	年	男性	異常行動	2006/1/15	朝、18:00	2006/1/14	夜 18:30	-	-	-	5分	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	無	突然、「うわっ、うわっ」と大声(奇声)を出し目を見失って両手を振り上げ呼び出した。勢いよく外へ飛び出しなくなった。翌朝に連絡し探していたところ近所の家にいるところを発見。異常行動としての時間は約5分くらいのものであった。
57	B05023978	7	年	男性	異常行動	2006/1/13	19:00頃	2006/1/14	AM 1:00頃	-	-	-	数時間	Yes	-	-	-	-	-	-	不明	2006/01/13 (朝)発熱あり。(夕18時頃)前夜受診し、インフルエンザの診断で本剤と漢方薬の処方あり。(19時頃)本剤服用。(時間不明)漢方服用。 2006/1/14 (1時頃)顔を半開きで寝ていて、母親が「まただ」と思っていた。左顔面の掻痒感のかきめによる動き、両上肢屈曲あり。急にびくびくして驚く様子で叫び出して、外に走り出そうとした。台所に隠れようとしたりする行動が2回あり(合計の持続は計5分くらい)。家族が抑制し、救急車を要請。異常行動発現。(2:30頃)救急車到着時、会話可能であり、四肢運動障害なし。構音障害なし。両親は「まだ少し表情が変」と。当院緊急外来にて経過観察。(9:00頃)小児科診察時、意識清明。異常行動回復。脳炎、脳症の可能性も否定できず入院。
58	B05025721	7	年	男性	異常行動	2006/2/13	17:00	2006/2/13	22:00	○	Yes	5時間	1時間	No	発熱持続	No	No	No	-	No	無	2006/2/12 (午後)38.7℃。倦怠感、嘔吐、近視にてインフルエンザ(-)。 2006/2/13 (午後)39.5℃。近視にてインフルエンザA型と診断。タミフル処方。(17:00)タミフル1回目内服。その後内服。(22:00)トイレに起き、部屋で排尿。階段を昇ったり降りたり。突然笑ったり音話をしたりした。体温38.2℃。 異常行動は約1時間ほど続いた。その後タミフル2回目内服されている(異常行動は認められていない)。病院受診はせず。経過観察している。 2006/2/14 朝より発熱。本剤は内服せず。いつもよりボーっとして寝てばかりいる。(夕方)近島受診し、タミフルの副作用疑いで当院紹介。経過観察のため入院。点滴後(夕方)1200cc、リタT3 500cc×2本)元気が出てくる。インフルエンザ軽快。異常行動軽快。 2006/2/15 全身状態良好にて退院。
59	B05025722	7	年	男性	異常行動	2006/2/5	15:30	2006/2/5	16:30 17:30	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/5 (9:00)40℃の発熱。(12:30)前夜受診。インフルエンザと言われ、タミフル(80.1mg×2/日)、セフゾン、ペリアクセン、解熱剤処方。(15:30)上記処方薬を内服。(16:30)急に立ち上がり、ケタケタ笑う。トイレにこもり大きな音をたてる。一旦内服。異常行動発現。(17:30)話しかけても無反応。視線が合わない。フラフラして立てない。物がつかめない。(21:00)39.3℃。解熱剤使用。(23:00)当院受診。 2006/2/6 (1:30)当院入院。入院時、意識清明。異常行動なし。体温39.4℃。 2006/2/7 (日中)以降異常行動なし。脳炎、左後頭部に除液。MRI左側頭葉に高信号。 2006/2/10 異常行動軽快退院。外来での経過観察が必要。
60	B06025421	7	年	男性	異常行動	2007/2/26	15:00	2007/2/26	17:30	×	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	No	2年前にも本剤服用あり。問題はなかった。 2007/2/26 他院にて、A型インフルエンザに対して、タミフル処方。(15:00)タミフル51mg内服。(15:30)アセトアミノフェン内服。(17:30)突然立ち上がり、2階から1階に走って降りてきて廊下の中を走り回った。「ここか、こわい」と話しながら、うろちうろち回った。母親が患児を動かさないように抱きしめていた(約5分間)。 次第に落ち着いてきて、入眠した。(18:55)当院救急室来院。そのときは既にいつもの状態にもどっていた(異常行動回復)。意識清明であったが入院して経過をすることにした。 入院後、水分補給の目的で点滴実施(リタT3 500mg×2回/日～2/27)。リレンザ10mg×2回/日(～3/3)を処方したところ、解熱。入院後、異常行動は全くみられなかった。(21時)体温:38.9℃ 2007/2/27 (3時)体温:39.1℃(7時)体温:37.7℃。退院。インフルエンザ軽快・回復。
61	B07002051	7	年	男性	異常行動	2007/3/12	11:00	2007/3/12	15:00	-	Yes	-	2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	3月12日(11:00)本剤服用。(15:00)ベッド上で暴れ、奇声をあげる。母が抑制し10分程度で暴れなくなった。(17:00)当院再診し、診察上音動やや不安定だが指示には従う。名前、年齢は答えられるが、「どこにきているか」の問いかけには「わからない」と答える。神経学的異常所見を認めず(meningeal signs(-))。(夜間)最高40℃までfever upするもせん妄、異常行動認めず、入眠した。 3月13日(8:00)体温37℃台まで解熱。母によると、易疲労訴えあるが、そのほか異常は認めなかったとのこと。
62	B07002056	7	年	男性	異常行動	2007/3/14	19:00	2007/3/15	1:30	○	Yes	-	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	No	3月15日(1:30頃)異常行動発現。起き、2階の階段を下りようとし、その際母親を跳ね飛ばし、母親が階段から落ち、骨折。患者はその後父親に抱きつき、そのまま眠ってしまった。
63	B07002858	7	年	男性	①嘔吐 ②異常行動	2007/4/11 2007/4/12	夕 14:00	2007/4/12	14:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	2007/4/10発熱。 2007/4/11 (夕)タミフル60mg内服。嘔吐(重篤度不明)発現。 2007/4/12 (2:00)タミフル60mg内服。ばたばた暴れたし、大きな声を出しながら部屋から飛び出す行動(異常行動)発現。(8:00)本剤60mg内服。頭痛、異常行動(天井を見る)。当院受診。(入院時)異常行動は観察されていない。異常行動軽快。
64	B07011933	7	年	男性	異常行動	2007/3/22 2007/3/22	朝 夕	2007/3/22	12:00	×	-	-	-	-	-	解熱過程	-	No	-	No	No	2004/08「入浴後、蒼白となり、数分間意識がなくなることが以前から10回くらいあった」と来院。血液検査：正常。 2004/09 頭部MRI：正常。EEG：頭頂部を中心に高振幅波、sharp & wave 散発。年齢とともに減少しており、発作回数を追うことに。その後、発作なし。 2007/3/21 インフルエンザA型と診断。 2007/3/22 (11:30)タミフル1回目服用。(12:00過ぎ)興奮、大声を出す(異常行動)発現。(19:30)タミフル2回目服用。(20:00過ぎ)興奮、大声を出す。目つきがおかし、動き回る。2階の部屋で階段へ突っ走るとの母を抱きとめて制止。
65	B07012130	7	年	男性	異常行動 意識消失 激越	2007/3/23 2007/3/24 2007/3/25 2007/3/25 2007/3/26	夕 朝 夕 夕 朝	2007/3/26	昼	×	-	-	-	-	-	解熱過程	-	-	-	-	No	2007/3/26 昼に飛び出しそうになった。異常行動を起こした。興奮状態でバタバタとした。(2時間後)2～3分間の意識消失発作。(夜)2～3分間の意識消失発作。頭痛がしてボーっとした。頭痛は続いた。興奮して眠れない状態になった。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の 具体的 詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っている のか？)		
						開始時刻	終了時刻	開始時刻	終了時刻															
66	B07013248	7	年	女性	異常行動	2007/2/10	—	2007/2/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	インフルエンザに対して、本剤投与開始。服用後、数時間後に異常行動発現(非重篤)。ベランダの方へ歩き出し、親が、取り押さえ大事に至らず。左右もわからない状態で、訳のわからないことも言っていたとのこと。		
67	B07013301	7	年	男性	異常行動	2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24	朝夕 朝夕 朝夕	2007/3/24	夜	○	—	—	—	Yes	—	—	—	—	—	—	No	無	2007/3/23 A型インフルエンザに対して、本剤44mg×2回/日投与開始。発症時自覚所見、発熱39.3℃(3/23) 咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)。2007/3/24 (夜)本剤内服。異常行動発現(非重篤)。睡意中、ムクツと起きて2階に駆け上がった。鍵につられて泣きながら下りてきて、すぐに寝た。 2007/3/28 インフルエンザ回復	
68	B07013303	7	年	女性	異常行動	2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	12:00 20:00 8:00 20:00 8:00 20:00	2007/2/27	10:00	×	—	—	6時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	無	2007/2/24 (13:00)発熱(38.4℃)あり。熱発あったが、元気が過剰だった。 2007/2/26 (12:00)本剤40.5mg内服。(16:00)37.6℃、いつもより落ち着きがない感じであった。(20:00)本剤40.5mg内服。 2007/2/27 (8:00)本剤40.5mg内服。(10:00)異常行動発現(非重篤)。37.2℃。布団でテレビを見ていて、すいすいベッドで突然17と27を何度も繰り返す。理解できない強い音を出していた。ついに、外へ飛び出すところ。家人が取り押さえ、事なきを得た。この時の記憶は残っていない。理解できない口を口走っていた。(16:00)症状回復。徐々に落ち着きを取り戻した。(20:00)前日と比べ、症状安定したため、予定通り本剤40.5mg内服。 2007/02/28 (8:00)本剤40.5mg内服。(20:00)本剤40.5mg内服。	
69	B07013309	7	年	女性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21	朝夕 朝夕 朝夕 朝夕	2007/3/19	—	×	—	—	—	Yes	—	—	—	—	—	—	No	無	2007/3/19 インフルエンザBに対して、本剤40mg×2回/日投与開始。1回目の本剤服用後1時間して意識がおかしくなりベランダへでていこうとした。鍵がかかっている本人がドアをあけられなかった。同日症状回復。 2007/03/21 本剤投与終了。	
70	B07013377	7	年	女性	異常行動	2006/2/21	—	2006/2/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2006/2/21 タミフル(剤形不明)の投与を開始 2006/2/22 異常行動が発現。布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに置いてあったテーブルの上に乗ってへらへら笑っていたとのこと。	
71	B07013384	7	年	男性	幻聴 幻覚 譫妄	2007/3/5	19:00	2007/3/5	20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/5 (18:30)当院受診し、インフルエンザAと診断。(19:00)本剤40mg×1日/日の投与開始。(20:00)幻聴(精神症状)、幻覚、せん妄発現(非重篤)。「こわい」「学校へ行くぞ、不可解な発言と、突然立ち上がり、外へ出て行くとする行動あり。病院薬局へ電話が入り、監視と、症状が続くなら救急病院への受診を指示。本剤中止指示。(夜)他院受診。受診時特に問題とみえず、解熱剤用用の処方を受け帰宅。 2007/3/6 (12:40)当院再診。夜間も高熱持続し、少しおかしな発言はあったというが、来院時は消失していた。一方、鼻汁、嘔吐をみとめ、ホクナリンテープ1mg/日、ポラミンDS 2.9g/日分3、アスベリン 0.4g/日分3を処方した。以降受診なし。回復したと思われる。	
72	B07018715	7	年	男性	異常行動	2007/11/10 2007/11/10	朝 20:30	2007/11/11	0:00	—	—	—	—	Yes	—	—	No	No	No	No	No	—	2007/11/09 夜 38.5℃の発熱。 2007/11/10 朝 38.3℃の発熱で来院。インフルエンザA型と診断。以前、熱性痙攣を起したことがある。鼻白アトピーが強いので、インフルエンザの予防接種は不可能。本剤 朝、夕(20:30)服用。 2007/11/11 0:00 起き出しトイレに行くかと母親は思ったが、玄關に向かっている、その後ベランダに向かって走り出し、外に出ようとした。母親が捕まえたが、離してくれと叫び、殴るなど暴れた。異常行動 発現。 母親が祖母に電話し、泣いている姿をみて我に返ったように「どうしたの?」と言った。異常行動 回復。 母親がそのとき抱きしめていた感覚では熱はなかった様子。翌日から本剤投与中止。	
73	B07023001	7	年	女性	夢遊症	2007/12/14 2007/12/15 2007/12/15 2007/12/16	夕 朝夕 朝夕	2007/12/15	19:00-20:30	×	—	—	1時間30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	No	2007/12/15(19:00-20:30) 横臥中、突然立ち上がり、部屋内を夢遊病のように歩き回った。	
74	B07023857	7	年	男性	異常行動	2008/1/29	12:30	2008/1/29	13:50	○	Yes	—	—	Yes	発熱持続中	—	—	—	—	—	No	—	2008/01/29 (12:30)本剤内服後就寝。体温:39.3℃。(13:50)起きてトイレに行った。母親に怖い夢をみたと言っていた。 トイレから帰って又、寝たがすぐに起き上がり、玄關を開けて外に出ようとした。あわてて母親が止めて又寝かせた。 本剤服用は1回のみ。	
75	B07025434	7	年	男性	異常行動	2008/2/12	13:00	2008/2/12	—	○	Yes	30分以内	2時間	Yes	不明	No	No	—	—	—	No	—	2008/02/12 (11:30)39.2℃。 (13:00)インフルエンザA型治療のため、本剤54mg投与。 (13:30)患児が入眠したことを母が確認した。約30分後に屋外に立っているところを発見された。うつろな目でホーとしていた。尿失禁をしており、風呂場へ行ったところ「靴下の戻つれが怖い、洗濯籠が怖い」と泣いた。異常行動(非重篤)発現。シャワー浴後に就寝した。 (16:00)異常行動回復。	
76	B07026155	7	年	男性	異常行動 幻覚	2008/2/4	12:00~16:00	2008/2/4 2008/2/4	22:00 16:00	○	—	1hr	数分	Yes	発熱持続中	No Yes	No	No	No	—	—	—	血友病	2008/02/04 (午後)インフルエンザB型治療のため、本剤42mg/日投与。(16:00)昼寝時、岩が落ちてくる。と言って覚醒する。幻覚(非重篤)発現。(22:00)奇声をあげて走りまわる(非重篤)。 2008/02/05 (朝)解熱。正常に戻る。奇声をあげて走りまわる、幻覚回復。 2008/02/10 インフルエンザ回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の家 族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたと言っているのか？)
77	B07028194	7	年	男性	譫妄	2008/1/18 午後	2008/1/18 夜	○ 入眠過程	-	-	-	Yes	-	Yes	No	-	-	No	-	2008/01/17 (午後)インフルエンザ発症。体温39.5℃。 2008/01/18 (午前)体温38.2℃。(午後)インフルエンザAIに対して、本剤60mg、カロナールを服用。体温39.2℃。(夜)譫妄発現(非重篤)。「わけのわからないこと」を言い、さらに数時間後「暮れたい」などと口走ったため1回だけの服用で全ての服薬を中止。体温不明。 2008/01/19 (朝)平熱となる。 2008/01/20 (昼)微熱のほかは平熱。同症状は19日、20日、21日の毎夜出現(昼間は異常なし)。 2008/01/22 (夜)横になると何も起き上がり、「我慢できない。暮れたい」と走り、部屋の中を小走り回った。「頭の中にダンベルが出てくる」とも言い、開眼していたが、目の前の母親ではなく違うところを見ていた。 2008/01/23 再診。36.8℃。本人は「なぜかわからないが暮れたい」とのこと。 2008/01/24 再診。前夜はぐっすり眠り、何も起こらなかったとのこと。
78	B08000402	7	年	男性	異常行動	2008/2/20 1日2回	2008/2/21 ①1:00 ②14:00 ③23:50	○	Yes	-	①しばらく ②15分 ③15分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2008/02/21 (1:00頃)異常行動(非重篤)発現。母親が横に寝ていたにもかかわらず、急に起き上がり「お母さん」とさげんで走り出し、壁にぶつかって顔面を殴りつけた。しばらく泣いていたが、抱っこしてそのまま入眠。39.3℃。 (13:00)テレビをみながら眠ってしまった。 (14:00頃)異常行動(非重篤)発現。「テレビがうるさい」と言ったので、すぐにテレビを消したが、「消えていない」と言ってテレビの画面を指でガリガリとひっかいて、突然激しく泣いたり、目を握りつぶすお怒りたりを2~3分毎15分くらい繰り返した。その後入眠。38.5℃。 (22:00頃)就寝。 (23:50頃)異常行動(非重篤)発現。睡眠中に「どうしてお母さんはそんなに大きいんだ」と怒りだした。母親が身体を丸くして(小さくしていたが)、怒ったり泣いたり、立ち上がりたりを15分くらい繰り返して入眠。37.6℃ 2008/02/22 (8:00)異常行動回復。
79	B08024158	7	年	男性	異常行動	2008/12/4 2008/12/5 18:00 9:00	2008/12/5 ①3:00 ②15:00	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	①なし ②あり	No	No	No	No	-	2008/12/05 (3:00頃)異常行動(医師重篤度：非重篤)、幻覚(医師重篤度：非重篤)発現。突然起きだし人を追い払うような動作とともに家中を逃げ回った。階段の昇り降りや数回繰り返す。母親が制止しても恐ろしいと叫んでいた。しばらく母が介抱したら、大人しくなってきた。患者の記憶なし。 異常行動の転帰：回復、幻覚の転帰：回復 (9:00)本剤投与。 (15:00)異常行動(医師重篤度：非重篤)、幻覚(医師重篤度：非重篤)発現。「虫がいて怖い」と祖母に伝え泣いていた。家中を落ち着きなく歩き回っていた。祖母に介抱されておとなしくなった。患者の記憶あり。 (17:00)他院に紹介され、脳症の疑いもあるとのこと副作用以外に入院も勧められたが、本人、患者家族の希望で入院は避け、自宅療養。本剤内服は以降中止している。 異常行動の転帰：回復、幻覚の転帰：回復
80	B08027285	7	年	男性	異常行動	2008/12/25 2008/12/26	2008/12/25 2008/12/26	-	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/12/25 (午前)インフルエンザ迅速検査でA陽性。3歳児本剤内服歴あり。異常な行動のため処方。 (昼)50mg1回内服し寝ていたが急に起きあがり机のまわりをぐるぐるまわる。コップわたすと水を入れる。ふとんの一点をみつめている等の行動あり発現(医師重篤度不明)。 2009/12/26 寝ていたが急に起きあがり机のまわりをぐるぐるまわる。コップわたすと水を入れ、 2009/01/17 インフルエンザ(A)に対し本剤投与。 2回服用後、異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。わけもなく物を探しまわる、トイレに行くと水のみ流す、便器に手を入れ何かをしようとする。(ただ、以前から発熱したりするようになったりフンの上のみで何かをさがそうとするような行動があった。ただ今回はこれまでと違う印象を強く受けた。 異常行動の転帰：回復
81	B08027730	7	年	男性	異常行動	2009/1/17 2回服用	2009/1/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/02/01 インフルエンザに罹患。 (夜)本剤服用開始。異常行動(医師重篤度：不明)発現。夜中に起き上がるなどが2~3回続いた。その他うわ言、手の振るえなど。 2009/02/04 (昼)熱はさがったが、勝手に部屋から出て別の部屋に入った。トイレではないといい、隠れただけだとかなかなか変なことを言っている。 異常行動の転帰：不明
82	B08028876	7	年	男性	異常行動	2009/2/1~	2009/2/1 2009/2/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/02/01 インフルエンザに罹患。 (夜)本剤服用開始。異常行動(医師重篤度：不明)発現。夜中に起き上がるなどが2~3回続いた。その他うわ言、手の振るえなど。 2009/02/04 (昼)熱はさがったが、勝手に部屋から出て別の部屋に入った。トイレではないといい、隠れただけだとかなかなか変なことを言っている。 異常行動の転帰：不明
83	B02014446	8	年	女性	情動状態	2003/1/17 2003/1/18 2003/1/19 2003/1/20 夕 朝・夕 朝・夕 朝	2003/1/19 2003/1/20 夕 来院時	-	No	-	No	No	-	-	-	-	-	No	無	2003/1/15 発熱38.6℃。他院受診しバチン他が処方された。 2003/1/16 当院受診。高熱、頭痛、嘔吐、上肢痛、咽頭痛、咳あり。インフルABクイックにてインフルエンザウイルスは検出されなかった。タミフルライソロップ1.2g/日、ユナシリン、アスピリン、ムコダインが処方された。 2003/1/17 よりタミフル剤服薬。 2003/1/19 夕に症状発現。異常にオチャメな感じであった。母親によると、ほろ酔い状態であるとのこと。 2003/1/20 当院来院。来院した際、診察室に入るときにカーテンにかけハゲマツと入って入ってくる。何を話しても笑いだす。軽口をたたく。このときの体温は36.9℃でありインフルエンザは回復していた。全身状態は良好であった。朝の服薬にて本剤を中止とした。以後も症状は継続したが、本剤中止後次第に症状は軽快していった。 2003/1/22 ユナシリン、アスピリン、ムコダイン中止。 2003/1/23 夕、気分高揚状態は回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤による 異常な行 動の副作 用歴	異常な行 動に 関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 発現したか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)
84	B05000677	8	年	男性	①意識レベルの低下 ②異常行動	2005/3/28 10:00, 22:00	2005/3/28 17:00 12:00 22:00	×	No	—	数時間 2~3時間の 間に2回	Yes	発熱持続	No	No	—	No	No	無	2005/03/28 (9:00)昨日の発熱の為、近医受診しインフルエンザA型と診断。(10:00)帰宅後、タミフル内服。(12:00)度々嘔吐を口にする。(増にそくわない意味不明な発言)意識障害、行動異常が発現。(17:00)上肢のピクツキと意味のない指差運動出現。(18:00)近医再診したが、神経学的異常無くそのまま無処置で帰宅。(22:00)タミフル内服。その後より急に起き上がり、歩き回り、幻覚も合併。以降、本剤の投与を中止。 2005/03/29 (1:30)当院救急外来受診。応答は可能であったが、舌なめずりや繰り返し髪を引っ掛ける等の異常運動認め、入院。ソリタ3とグリセオールにより、輸液開始。(8:00)異常運動消失し、神経学的にも正常所見。
85	B05001224	8	年	男性	幻覚 客観的なき 異常行動	2005/3/18 10:30	2005/3/18 13:30	×	Yes	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2005/03/18 (午前中)受診。インフルエンザA型と診断。(16:30頃)インフルエンザA治療の為、タミフル55mg×2/日投与開始。その後入院。(18:30頃)覚醒直後から幻覚などの異常行動が出現。'思い思いと追いかけてくると言って外に出ようとする'当日中に再度受診し、生食点滴にて症状回復。
86	B05018854	8	年	男性	異常行動	2005/11/13 11:30	2005/11/13 内服1時間後	○	Yes	1時間	1時間	Yes	解熱過程 →?	No	No	No	No	No	無	午睡後、突然起き上がり玄関から飛び出していこうとしたため、母親が玄関先で現を制した。その際に、本人及び兄の名前を尋ねるも全く答えられず、うなり声をあげたりと不穏状態を呈していた。(その後1時間程)医師の指示を受け、母親がおよそ1時間程部屋の中から出ないように注意を払っていたところ、徐々に異常行動も抑制され、次第に記憶も回復してきた。 服用後すぐ就寝。覚醒後すぐ発現。
87	B05021659	8	年	男性	異常行動	2005/12/25 12/26~28 12/29	2005/12/25 21:00	—	—	—	10分	—	発熱持続	—	—	—	—	—	無	2005/12/24 (夜)発熱。 2005/12/25 (14:00)インフルエンザA型と診断。タミフルライシロップ51mg×2回/日処方。(16:00)本剤51mg、ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(20:30)ムコダイン0.5g、アスピリン0.3g内服。(21:00)入浴に話しかける、部屋を歩き回る、意味なく笑い出す、丸を唱えるなどの異常行動が出現し、救急受診(待機時間10分)。(21:26)来院時、意識はほぼ清明(JCS-1-II)。入院。 2005/12/26 解熱。 2005/12/27 退院。 2005/12/29 本剤朝内服後、投与終了。
88	B05022380	8	年	男性	異常行動	2006/1/16 13:00	2006/1/16 16:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	(16:00)背声を上げる。意味不明な事を言う。敵が敵えられない、自分の年齢がわからない、異常行動発現。(20:00)当科入院。入院時異常行動なし。点滴のみで経過観察。2006/1/17(1:00)自分で点滴抜き、病棟内を一人でウロウロ歩く、その後入院。以降症状なし。
89	B05022780	8	年	男性	①激越 ②異常行動	2006/01/30 朝、20:30	2006/01/31 0:00、6:00	○	Yes	2.5時間後、 5時間後	12時間、6時 間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2006/1/30 インフルエンザAのためタミフル46.5mg2/日投与開始。(20:30)2回目のタミフル服用、39.6℃。(21:30)就寝。 2006/1/31 (0:00)急に大声でわめきながらおきる。父母が話しかけても返事もせず。目を大きく見開き普通ではない状態。「行こう！行こう！」と大きな声で言いながらベッドや、椅子の上に乗りピョンピョン飛び上がる。父母が抱いてなだめても「行かないだ！おいで！」と振り切って家中を歩き回る。歩き方も軍隊歩きのように両手を大きく振って歩く。(0:15)やっとなだめて水分を飲んでベッドに寝かしつける。ウトウトする。(0:40)お腹が痛いと言われ、38℃。先程起きた時の事覚えていない。(1:00)ウロウロ歩では立って起きる。(6:00)「ごめんね、ごめんね、…」と小さい子のようなかわいいうるさく言いつける(普通のときの声ではない)。(12:00)起床。昨夜の事覚えていない、ボーっとしている。36.8℃。本剤服用中止。 1/31、2/1 2日間とも夜から16~18時間寝続けた。 (12:00)二段ベッドの上段で手を広げて立ち上がっている。ベッドから飛び降りてベランダへ走っていき、手すりにつかまって飛び降り、意味不明の言葉をブツブツと言う。何かが呼びかけると正気に戻る一途込む。(14:00)起きると再び意識障害ありトイレに行くと行ってイレイの中で尿失禁一途込む。(18:00)本剤服用。起きると意識障害(+)、意味不明のことを言う。精神神経症状、尿失禁(非重篤)発現。
90	B05023443	8	年	男性	①異常行動 ②尿失禁	2005/12/21 10:00、18:00	2005/12/21 12:00、 14:00、18:00	○	Yes	—	Yes	Yes	解熱過程	No	—	—	—	No	不明	(12:00)二段ベッドの上段で手を広げて立ち上がっている。ベッドから飛び降りてベランダへ走っていき、手すりにつかまって飛び降り、意味不明の言葉をブツブツと言う。何かが呼びかけると正気に戻る一途込む。(14:00)起きると再び意識障害ありトイレに行くと行ってイレイの中で尿失禁一途込む。(18:00)本剤服用。起きると意識障害(+)、意味不明のことを言う。精神神経症状、尿失禁(非重篤)発現。
91	B05025720	8	年	男性	異常行動	2006/2/1 21:00	2006/2/1 ①21:30 ②22:20 ③夜中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2006/2/1 (朝から)発熱。(午前)前医受診。インフルエンザA型と診断。タミフル処方。(11:00)タミフル内服。(21:00)本剤と解熱剤内服。(21:30)ニタニタ笑う。両手で何かを掴もうとする。異常行動発現。(22:20)救急車で来院。入院。JCS0~1。曜日を開通させる。(夜間)ベッド欄をのり越えようとして、意味不明な言葉を発する事があった。 2006/2/2 (朝)意識清明。(日中)脳波、MRI—異常所見無し。 2006/2/3 異常行動軽快退院。外来で経過観察の予定。
92	B05026722	8	年	女性	精神症状	2006/01/19 夕方	2006/01/19 2006/01/20 深夜 昼、夜間	—	No	—	数分~数十 分	Yes	発熱持続	No	—	—	—	No	無	2006/1/19 発熱、39.8℃。咳、関節痛発症が認められた為インフルエンザ確定診断実施。結果、FluA、サンプル、鼻錠 (夕方)本剤投与。(54mg/日)(深夜)40℃の発熱とともに2回声をあげて起き上がり室内を歩きまわった。中枢神経症状発現。(非重篤) 2006/1/20(昼)37.5℃前後の発熱と同様の症状がみられた。本剤は朝より投与を中止している。(夜)他院受診。シムトレルを処方された。(夜間)うわ言をしていた。(体温不明) 2006/1/21(朝以降)中枢神経症状はみられない。39.5℃ 2006/1/23 来院時37.0℃。咳、鼻症状、関節痛あり。中枢神経症状回復。 2006/1/25 来院時35.2℃。咳、鼻症状あり。インフルエンザ回復。
93	B07000086	8	年	女性	異常行動	2007/2/23 2007/2/24 夜 朝	2007/2/23 2007/2/24 投与3時間後	○	—	—	Yes	Yes	発熱持続	—	No	—	No	No	無	急に起き上がり「トイレ、トイレ」と叫び部屋を走り回るため押さえる(5~6分継続)。寝たまま訳のわからないことを言うので、様子を見と「さわるな」と言って寝れる。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の家 族歴	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたと 言っているのか？)	
94	B07000288	8	年	男性	異常行動	2007/3/31 2007/4/1	18:00～19:00 7:30	2007/3/31	23:00～24:00	○	Yes	—	30分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/3/30 咽頭痛、右肩の痛み、37.9℃の発熱、インフルエンザ迅速診断(-)、 2007/3/31 39.5℃の発熱、左肩の痛み増強。インフルエンザ迅速(+A)型、タミフル 42mg×2/日処方。解熱剤処方無し。(18～19:00)タミフル1包42mg内服。(23～24:00) 部屋をうろうろ歩き回る。急に水遊びを始める。ふとんが重いと言え。2階に走って 駆け上がり、寝ていた父親の枕を取り上げる。2階より勢いよく降り、外に飛び出し 行きそうになり、父親が押さえて止めた。この間体温は38.5℃程度であった。行動 異常(非重篤)発現。 2007/4/01 (0:30)就寝。(～7:00)普通に覚醒して夜間のことを尋ねるも、覚えてい なかった。(7:30)本剤1包42mg内服して当院にお母さんが報告し来院。以後中止するよう に指示。(9:00)行動異常回復。
95	B07001354	8	年	女性	異常行動	2007/3/21 2007/3/22 2007/3/23 2007/3/23 2007/3/24 2007/3/24 2007/3/25 2007/3/25 2007/3/26	18:00	2007/3/21	23:00	—	No	—	20分	Yes	発熱持続 中 解熱過程	No	No	No	—	No	3月21日(夕)本剤服用開始。(23:00)異常行動発現。 3月22日夜間、酸素マスクをはずして、点滴のラインをカチャカチャぶつけていた。酸素 マスクとナースコールをつなげようとしており、声をかけると我に返った。その後、突然 ベッドに立ち上がり、点滴を自己除去。高熱あり。声をかけても反応なし。手をベッドに ぶつける。本剤投与。(23:00)解熱傾向があったが、再びベッドの上に立ち上がる行動 があった。 3月26日(朝)本剤投与。異常行動回復。
96	B07003582	8	年	女性	異常行動	2007/4/22	14:00	2007/4/22	15:00	—	No	—	No	No	発熱持続	—	No	No	—	No	2007/04/22(10:00)インフルエンザA型と診断。(14:00)本剤内服。(15:00)突然2階に 走っていき、部屋をウロウロする。ずっとウトウトしていた(翌朝まで)。(21:00)本剤内 服。夜間、犬を呼ぶ動作、物を食べる動作、家の中を徘徊、手を何回も洗う、母のこ とをお姉さんと呼ぶ、尿失禁などがみられた。 2007/04/23(6:00)40℃の発熱。朝からボーンとして呼びかけへの反応も乏しい状 態が続くため、当院外来受診。精査加療目的に入院。脳波上、全般性の徐波を認め、 MRI所見なし。意識障害であった。 2007/04/24意識清明となり経過良好。(9:00)37.0℃
97	B07013003	8	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25	朝 朝 夕	2007/2/24	—	—	—	—	—	—	—	No	No	No	No	2007/2/24 (夕)A型インフルエンザ治療の為、本剤75mg×1/日の投与。発症時に認 められた自覚所見：発熱40.2℃、その他(腹痛)、本剤服用後、異常行動発現。ベッ ドからとびおりる。廊下を走りまわる。大声でわらう。意味不明の事を言う。体温：40.2℃。 2007/2/25 本剤(75mg×2/日)投与。体温：37.4℃。異常行動回復。 2007/02/26 インフルエンザの転帰：軽快	
98	B07013253	8	年	男性	異常行動	2006/1/27 2006/1/27 2006/1/28 2006/1/28 2006/1/29 2006/1/29 2006/1/30 2006/1/30 2006/1/30	—	2006/1/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2006/1/27 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2006/1/29 内服後2階から階段へ飛び出す異常行動が発現。特別な処置はなし。本 剤の投与を中止。 2006/1/31 異常行動は回復。	
99	B07013258	8	年	男性	異常行動	2007/1/28 2007/1/29 2007/1/30 2007/1/31 2007/2/1	2回目服用 後、5-10分 間	2007/1/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/1/28 夜間 40℃の発熱があり、当施設に運ばれる。A型インフルエンザと診断 され、本剤2日分を処方。1回服用後に嘔吐。 2007/1/29 2回服用後 5～10分の間、騒ぐ。その後、ベランダへ出て行った(マンショ ンの10数階)。母親が部屋に連れ戻した後、続いてトイレへ駆け込み、大声を上げる。 異常行動(非重篤)発現。本人は一連の記憶なし。その後、寝かしつけ、異常行動は 回復。その後、他施設に来院。本剤を3日分処方され服用を継続したが、異常なし。 2007/2/1 本剤内服終了。
100	B07013304	8	年	男性	意識レベルの低下	2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20 2007/3/20 2007/3/21 2007/3/21 2007/3/22 2007/3/22	2007/3/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/18 本剤投与開始(～3月22日)。意識混濁が発現。自宅の外に出る。意識混 濁は回復。	
101	B07013310	8	年	女性	異常行動	2007/3/20 2007/3/21 2007/3/22	207/3/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2007/3/20 本剤1回投与。投与約2時間後、理由もなく外に飛び出すとどう。異常言 動(非重篤)発現。家族が止め大事には至らなかった。 2007/3/22 異常言動回復。発熱もなくなった為に本剤の投与を中止した。
102	B07013385	8	年	女性	異常行動	2007/2/20 2007/2/21 2007/2/21 2007/2/22	夕 朝 夕 朝	2007/2/21	15:00	○	—	—	10分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/2/19 発熱、咽頭痛、頭痛、咳がある。 2007/2/20 受診。朝より38.0℃の発熱 検査にてインフルエンザA型と判定。本剤 49.5mg×2/日、コカール0.65g/回頓服、アミンジン5ml、アスワート9ml、メクロセリン 7.5ml/日処方。本剤49.5mg/日投与。 2007/2/21 (15:00)寝ていた子供が急に大声を出して親に命令口調でしゃべりだし、走 り出して暴れた。異常行動(非重篤)発現。5分後位でおさまり本人はまた寝ていた。 (15:30)異常行動回復。その後そのことについて本人に聞くもまったく覚えていない。本 剤49.5mg×2/日投与。 2007/2/22 本剤49.5mg/日投与。 2007/3/7 (昼)発熱。夜中には38.5℃～39.5℃。突然わけのわからない事を大声で叫 び、走り出し、兄に襲いかかった。また何かが見えると幻覚症状を訴える。身体を震わ せて混乱した様子だった。異常行動(非重篤)発現。 2007/3/8 受診。インフルエンザB型と判定。前回と同じ薬を母親が希望。本剤投与い かんにかかわらず、同様の症状出現。 不明 異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の家族 歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)
103	B07013400	8	年	男性	異常行動	2007/3/5 14:30 2007/3/6 8:30 2007/3/6 21:00 2007/3/7 21:00	2007/3/8 1:00	×	-	4hr	2時間	Yes	解熱過程	-	No	No	No	No	無	2007/3/5 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始(45mg×2/日)。 2007/3/7 (21:00)38.4℃の発熱があり、本剤45mg内服(5回目)後、入眠した。 2007/3/8 (1:00)がぶつとつとぶつきながら歩き回っていた。母が気がつく、引き戸 のロックを外してベランダを出ようとした。母が声をかけると止まった。その時点で 体温36.8℃と解熱していた。話をするうちに泣き出した。「右手に剣、左手に扇」等と 言っていた。「探している物が部屋の中になかったの、ベランダにあると思い、ベラン ダに出ようとしたと言っていた。異常行動(非重篤)発現。(3:00)次第に落ち着いて入眠 した。異常行動回復 2007/3/9(朝)起床時は異常なかった。本人は前日のことをかなり記憶していた。患児 はマンションFに居住していた。インフルエンザ軽快。
104	B07020496	8	年	女性	異常行動	2007/11/29 2007/11/30 2006/11/30	2007/11/29 22:00	○	Yes	5時間	-	Yes	解熱過程	No	No	-	No	No	No	2007/11/29(午後) 39℃の発熱、鼻汁、咳等の症状にて来院し、インフルエンザキ ットにてA型インフルエンザと診断。(17:00)1回目の本剤内服。その後寝ていた(22:00頃) 睡眠中に突然起き上がり、部屋のドアを開け「パパおかし」と言った。 2007/11/30(1:00頃) ふとんから起き上がり、ニヤニヤしていたため、母親が「大丈夫 ？」と声をかけたら「うん」と言った。(朝) いつも通りで、体温37.1℃。特に変化なし。 医学的処置をせずに自然軽快。
105	B07020966	8	年		異常行動	2007/12/11 夕	2007/12/12 1:00頃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/12/11 診察時にも尿の分からないことを言っていた。 夕方に本剤を1回服用後、夜中1時頃に走り出した。 その時に親が押さえて、止められた。
106	B07021970	8	年	女性	異常行動 幻覚	2007/12/11 朝	2007/12/11 (午前)	○	Yes	1時間	-	-	解熱過程	-	-	-	-	-	No	2007/12/10 姉がインフルエンザA型加療中のごと、起床時37.6℃発熱ありのごと で、午前9時過ぎ来院。迅速検査で陽性だったが、臨床所見よりインフルエンザを疑 う。 以前、本剤内服歴あり。家人が希望したため、本剤処方。終日発熱は37℃台で、本剤 は内服させなかったこと。併用薬のみ内服。 2007/12/11 起床時、40℃にて本剤内服。併用薬も内服。その後入眠。1時間後、「姉 が暴れて寝られない」と泣きながら自室より出てくる(姉は登校後)。家人が落ち着くよう 諭し、すぐ落ち着く。電話連絡あり、本剤の内服中止を指示する。 2007/12/12 電話にて、以後の異常行動のないことを確認する。
107	B08004441	8	年	男性	異常行動	2007/3/15 2007/3/16	2007/3/16 深夜	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	不明	No	-	2007/03/15 インフルエンザA型と診断。本剤服用開始。 深夜突然起き上がり、意味不明の言動あり。夜に頭をぶつけたりしていた。更に夜中 起き上がり、1人でどこかに行こうとしていた。母が気がつき布団の中に入れたらずくに 眠った。
108	B08024687	8	年	女性	異常行動	2008/12/6 昼	2008/12/6 -	○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	No	2007/03/16 本剤服用したが異常行動は見られず。3/15時点で回復と判断。 2008/12/06 異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。昼に本剤を服用後に寝ていた患者がふらふら と立ち上がり部屋の外に出たところを患者が発見。母親に連絡しベッドに連れ戻す。 寝かした後は特別なことはない。特に叫んだりといった行動は伴わなかった。 異常行動の転帰：回復
109	B08027726	8	年	男性	異常行動	2009/1/17~ 2009/1/21	2009/1/18 12:00	×	-	-	12時間	Yes	発熱持続	No	No	No	-	-	-	2009/01/17 インフルエンザ治療のため本剤50mg×2回/日投与開始(～2009/01/21)。 2009/01/18 (12時)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。昼頃より室内をうろついたり、人がい る「ぞうきんで歩いて歩いて」などの異常言動。幻覚があり、体温計でふとんをたいた り、電氣コードをぐるぐる回すと手にまきつけたりした。 (24:00)異常行動の転帰：回復
110	B08027896	8	年	女性	異常行動	2009/1/20 10:00	2008/1/20 15:00	○	Yes	-	3分	Yes	解熱過程	-	-	-	-	-	-	2009/01/20 (10:00)本剤1回目内服。 (15:00頃)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。昼寝をしていて突然目をさまし少し 笑って「今日は何日だっけ？」と言ってとなりこいた弟をみて、恐がって骨があると泣 く。その後かけ出してリビングルームに行き、幼稚園がどうのこうのと言った意味不明のこと を言い、目つきがおかしかった(三白眼等)。その後物をつかむような動作を反復し、何 をしているのかと聞くと、本人は骨を拾っていると言って「何でそんなこと聞くの？」と泣 いた。その後泣き止んでソファに坐りいつもの変わらない様子になった(この間2～3 分の経過のこと)。
111	B08029997	8	年	男性	異常行動	2009/1/29~ 2009/1/31	2009/1/29 2009/1/30 昼 午前4時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/29 (昼)本剤服用(一回目)。 (一時間後)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。熱が39℃の状態、怖いとうわごと を言い、急に笑いだした。 (22時)本剤服用(二回目)。 (2009/01/30)午前4時 (朝)午前4時突然におきだし階段を降りようとして、抑えて落ち着いた。大声で笑ったり、異 常状態になった。 (朝)本剤服用(三回目)。その後、異常行動はおこななかった。 異常行動の転帰：回復
112	8008934	9	年	男性	異常行動	2007/2/2 2007/2/3	2007/2/3 20:30	×	No	-	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	-	2007/02/02 (17:00)発熱38.4℃。本剤(55mg×2/日)投与開始。 (20:30)父親のことを「じいじ」と言ったり、自分の名前と父親の名前を間違えたり、 「1+1」と答えたりした。その後部屋を出てトイレに行き、さかんに足をさすっていた。 呼びかけに対して不正確な対応(異常行動 非重篤)発現。 (21:30)異常行動 回復。 2007/02/03 (8:00)本剤2回目服用。 当院受診するも神経学的異常は見られなかった。本剤服用中止。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠障害 等の既往	睡眠覚 醒症等の 家族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用	異常な行 動に 関する既往 歴	異常な行動 の 具 体 的 な 詳 細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)
113	B02002847	9	年	男性	譫妄	2002/2/26 12:00	2002/2/26 13:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	投与開始前日 インフルエンザB型発症。 投与開始当日 10:00頃 当院にてインフルエンザ迅速検査でB型と診断される。12:00頃 タミフル75mg/日、ムコダイン、アストミンを内服。13:00頃 意味不明の発語や行動をとり始めた。この時発熱なし。15:00-16:00頃 回復し、正常状態となった。本人にこの時の記憶なし。以後、タミフルの内服は中止。ムコダイン、アストミンは投与継続(〜投与4日) 意味不明の発語や行動をとり始めた。この時の記憶なし。
114	B03005859	9	年	男性	①意識レベルの低下 ②無感情 ③異常行動	2003/3/14 2003/3/15 2003/3/16	2003/3/16	-	-	-	No	No	発熱中から 解熱後も持 続	-	No	-	No	No	No	2003/3/10 発熱、咳嗽、頭痛あり、A病院受診。上気道炎と診断され、プロモックス、 ダーゼンを処方された。 2003/3/14 発熱持続し、同院再診。インフルエンザ迅速キットでは陰性。臨床的にイン フルエンザと診断し、タミフル150mg及びフルタゾール処方。 2003/3/16 返答しない、活動性低下などの変化を認めた。タミフルはこの頃服用中 止。 2003/3/17 同院再診。ソルデム1点滴中、突然意味不明の発言や行動が見られた。 2003/3/18 同様の症状あり、他院紹介となる。小児科入院の上、頭部CT、髄液検 査、脳波施行するも明らかな異常認めず。上気道炎に対する治療のみを行い経過観 察したが、同日も異常行動あり、活気乏しかった。 2003/3/20 徐々に活気改善。異常行動も認めず。 2003/3/21 退院。 2003/3/25 外来受診時特に異常なし。
115	B05000151	9	年	男性	①幻覚 ②不穏	2005/3/7 2005/3/7	2005/3/7 23:00	-	No	-	3.5時間	Yes	解熱過程	-	-	-	-	Yes	有	2005/3/6 インフルエンザB型感染発症。 2005/3/7 インフルエンザB型と診断。(11:00)タミフル服用。(21:00)タミフル服用。 (23:00)「おかし」「ふとんをかぶると肌がムコム二する」歩き回り、パニック状態とな る。「砂がみえる」「窓に老人がみえる」 2005/03/08(2:30)自宅から他院へ救急車で搬送。受診時は意識清明。体温 38.6℃。本剤投与中止。(3:00)回復、当院小児科外来再受診。37.8℃、意識清明。理 学所見上の異常は認めない。本日より薬剤内服すべて中止。 2005/3/11 わずかの無症状のみで略治癒。
116	B05021185	9	年	女性	譫妄	2005/12/15	2005/12/15 20:30、23:00	○	Yes	-	30分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	No	(20:30)覚醒し、意味不明なことを話し始め、部屋の中を走り回り出した(その時のこと は本人は覚えていない)。発熱なし。せん妄状態持続時間:15〜30分母親が抱きかか えたと回復。(23:00)落ち着き入眠するが、再度眠りわかない言葉が発現し、再度母 親が抱きかかえたと回復。せん妄状態持続時間:15〜30分
117	B05024835	9	年	男性	①譫妄 ②薬量第四因子量 減少	2006/02/06	2006/02/06 14:15 17:15 21:51 2:25 3:33 4:12 6:00 2006/02/08 0:21	○ × ○ ○ ○ ○ ○	No	-	10分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	No	2006/2/5 (夕方)発熱あり。 2006/2/6 (10:00頃)当科初診。インフルエンザA型と診断。熱性痙攣の既往有り。本剤 を処方。(帰宅後12:15)タミフル50mg1回分を内服し、居間で寝た。(14:15)突然起き上がり 、ベットポルをさしたしたら、一口口にし、私いのけ、両手をさし上げ「こわいこわい」 と言って騒ぎ出した。立ち上がり、走り出そうな感じがあり、大人4人で押さえた。 せん妄発現。10分ほど落ち着いたが、その後当科再来。(15:00)再来時には意識清明 となつたが、窓のため入院した。以降、せん妄発現で就寝せず。(17:15)風呂にかけて も会話が出来ない。せん妄発現。(21:51)変な事を言う。連絡が合わず会話が不成 立。手足をばたばたさせる。尿失禁。せん妄発現。CT実施。異常なし。臨床検査値上、 フィリノゲン265、FDP1.9、D-ダイマー-0.3、PIVKA-II 31mAU/μL、凝固系第Ⅲ因子 99%、第Ⅶ因子65%、第Ⅷ因子92%第Ⅶ因子の減少を認めた。時刻は不明であるが、 就寝。 2006/2/7 (12:25)急に座になる。口をちゅちゅさせる。「うーん、うーん」と言い、目 は開けているが視線を合わせない。立ち上がると足元からふらつく。ホータムトレで用 をたし、「こわい、こわい」「はすかしい、はすかしい」と言う。せん妄発現。(1:33)左の口 角をつり上げ開眼して「うーん、うーん」と言う。せん妄発現。(4:12)急に起き上がり、話 しかけてもまったく無視。尿失禁。せん妄発現。(6:00)急に起き上がり、言葉が普通でな い。ホータムトレにて便をする。せん妄発現。(正午過ぎ)体温37.0℃台となる。本剤 中止し、シスダイナ250mg×3回/日、ヒベンズ随時ペヒン20mg×3回/日へ変更し投 与開始(〜2/13)。MRI実施。異常なし。時刻は不明であるが、就寝。 2006/2/8 (0:21)排尿する時に2分くらい「ぼー」としていた。計7回せん妄発現した が、いずれも自然軽快した。 1回当たりの持続時間:2〜10分間。体温36.0℃台。脳波検査実施:異常なし 2006/2/9 正午頃より、再び発熱し、39.4℃まで上昇。 2006/2/10 完全に解熱。 2006/2/11 インフルエンザ回復。(11:00)せん妄回復し、退院。第Ⅶ因子の減少回復。 1週間後、ペプチドなども回復していることより、一過性の減少と推察される。
118	B05024837	9	年	男性	幻覚	2006/2/4	①11:30 ②21:00	-	-	-	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	Yes	No	2006/2/4 (9:30)発熱:38.8℃、頭痛、倦怠感を認める。インフルエンザA型と診断。 (10:30)タミフル(49.5mg)服用し部屋で安静臥床させた後母親が買入物に外出。(11:30) 患児が玄関から外出しているのを見出し、自宅内に連れ戻したが室内を奇声を発しな がらグルグル回る。ガラス戸をたたき音が10分間近みられた。発熱、発汗症状もみ られたので着替させて患児の兄が声をかけたら症状がスッと消失し普通に寝る。 (21:00)タミフル2回自服用(49.5mg)。(22:00)「ウーウー」と奇声を発し起き上がりうろた えた。5分間位で症状は消失。 2006/2/6 インフルエンザ軽快・回復。
119	B05025584	9	年	女性	異常行動	2006/1/26	昼前	-	No	-	30分	-	発熱持続	-	No	No	No	No	No	2006/1/26 発熱、咳嗽を主訴に来院。インフルエンザA型と診断。タミフルドリンロッ プ1.8g×2回/日処方。昼前、本剤内服。(15:00頃)体温39.0℃。(約4時間後)部屋の中 を急にウロウロ歩き回るという異常行動発現。その後、安静にて落ち着き就寝できた。 同日再診し、意識清明を確認。本剤投与中止。水分補給、安静を指示した。 2006/1/27 (午前)異常行動回復。インフルエンザも回復。
120	B06025100	9	年	男性	異常行動	2007/2/2	夜	○	-	-	8時間	No	発熱持続	-	No	No	No	No	No	2007/2/2 当院来院。39℃の発熱、頭痛を訴える。(夜)インフルエンザ(+)の為、タミフ ル30mg×1/回投与。(深夜)入眠中の異常行動発現(非重篤)。起き上がらうとしたり、意 味不明な話をしてくる。本人は覚えていない。その後、本剤は処方せず。他院救急外 来受診。入院。リレンザ服用(特に問題なし)。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の 既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な 行動」の 副作用 歴	異常な 行動に 関する 既往 歴	異常な行動 の具体的な 詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
121	B07000097	9	年	男性	幻覚	2007/3/25 6:00 17:00	2007/3/25 24:00	○	Yes	2時間	約8時間	No	解熱過程	-	No	No	No	No	無	2007/3/25 (5:00)発熱38.8℃あり。咳あり、(7:00)キットにてインフルエンザA型と判断。タミフル1/2cap(37.5mg)内服。タミフル投与方法：カプセル内のパウダーをムコダインと混合し1/2量内服した(1回分)。(17:00)タミフル1/2cap(37.5mg)内服。38.4℃。(21:00)就寝。(23:00)突然起き上がり黒いものが降ってくるから逃げると言い出し、部屋から飛び出ようとする。幻覚発現。 2007/3/26 (0:00)水分摂取させず着かせるが、1時間の間に数回起き上がり逃げようとする。37.9℃。(1:00)再度起き上がり大丈夫だと訴えるも、黒い大きなものが屋根に落ちてくる。襲ってくるから外に出ないといけなく、逃げないといけなくと再度外へ飛び出そうとするところを制止し寝かせた。その後数回、合計数十回同様の行動があった。(7:00)頭痛消失し就寝した。(10:00)覚醒し、夢であったと自覚。異常行動については記憶がないと。36.8℃。(11:00)解熱し落ち着いており、ほぼ正常化した。幻覚回復。 2007/3/28 インフルエンザ軽快・回復。	
122	B07000198	9	年	男性	譫妄	2007/3/11 20:30	2007/3/11 21:00	○	-	30分	3時間	No	-	-	-	-	-	-	不明	2007/3/11 (19:00)38.8℃。(20:30)タミフル60mg内服し就寝。(21:00)頃その後、突然覚醒し「手に怪獣がいる」と発言。再び入眠したが、次に目を覚ました時「行かないや」と言って玄関に向かっていた。 2007/3/12 (0:00)救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。(0:25)自家用車にて来院。来院時意識清明。	
123	B07000262	9	年	女性	異常行動	2007/3/30 12:30	2007/3/30 13:00	○	Yes	30分	5分	Yes	-	No	No	-	No	No	無	3月30日 12:30近医でインフルエンザB型と診断。自宅でタミフルを内服。その後入眠。 13:00「ワウ」という声に気づき、ベランダの方へ走るのが見えた。力ずくで止めようとするが、「行く」と叫びながらベランダを目指す。向とカトレイに連れられ「出て行け」と叫びながら「イレットペーパー」を投げたりした。その間、目がすわったような顔をしていた。5分くらいで意識を取り戻したように、普通の会話ができるようになった。近医で受診後、搬送された。16:00 搬送時、意識は清明。	
124	B07012129	9	年	男性	異常行動 幻視	2007/4/19 2007/4/19	朝 夕	①2007/4/20 ②2007/4/20	①Yes ②No	Yes/No	-	-	-	①発熱持 続 ②解熱過 程	Yes	No	No	No	No	無	2007/2/19 インフルエンザA型と診断。 2007/4/20 (7:00)突然ワーッと発声しながら部屋の中を走り回る。包丁を持った男の人が追いかけてくるという幻視。意識清明で、後この時の記憶あり。(11:00)祖母が買い物から戻ると、庭の隅でかかっている。上記と同様の幻視で隠れていたとのこと。(13:00)他院に緊急入院(本剤内服を中止)。その後、幻視、異常行動はなし。 2007/4/23 インフルエンザ回復。
125	B07013252	9	年	男性	異常行動	2007/3/9 2007/3/10 2007/3/11 2007/3/11 2007/3/12	2007/3/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/9 本剤投与開始。異常行動が発現。服用約3時間後に、窓を開け飛び出そうとした。家人がためたので事なきを得た。患者に「どうしたの？」と聞くと、「魚釣りに行く」と答えた。 2007/3/10 異常行動は回復。本剤投与継続(～3月12日)。この間、異常行動は認められなかった。	
126	B07013257	9	年	女性	異常行動	2007/3/30 夕	2007/3/30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/30 インフルエンザに対して、本剤42.45mg内服。異常行動発現(非重篤)。後でいたが30分ほど起きて外へ飛び出そうとした。一旦落ち着いたら、再びバジャマをビロリに破るくらい暴れたため、病院へ搬送。その後、すぐに他の病院に搬送された(経緯は不明)。体力を消耗した様子ではあったが、その後回復。	
127	B07013259	9	年	女性	激越	2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/3/1 2007/3/1 2007/3/2 2007/3/2	2007/2/27	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/27 インフルエンザA型の診断で、鼠に本剤服用。夕方、19時に本剤2回目服用。このときの体温39.5℃。横になってテレビを見ていて服用から1時間が経過したころ、「怖い」と言って部屋を飛び出し、父親がやっと抑えることができた。3分で落ち着いたら。その後本剤服用を継続(～3月2日)するも問題なし。 2007/3/2 異常行動は回復。	
128	B07013313	9	年	男性	異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19	2007/3/17	20:00	○	-	1時間	-	Yes	発熱持 続	No	No	No	-	No	2003/3/17 (10:00)倦怠感、発熱38.6℃にて来院。インフルエンザA型と診断。本剤75mgの投与を開始(なお、パンダールはインフルエンザ検査を外注していたために処方)。(19:00)夕方で寝ていた。(20:00)突然に寒い寒い騒いで窓を開けて雪の降る外に飛び出した。母親が怖るよう言っても、なかなか帰って来ず外でぼーっとしていた。母親はふざけていると思い叱った。「寒いから窓を閉めろよ」と言ったら、とぼとぼ帰ってきた。しばらくして就寝した。 2003/3/18 翌朝に前夜のことを覚えていなかった。(8:00)本剤75mg服用。継続したものの異常は認められなかった。 2003/3/19 (8:00)本剤75mg服用。 2003/3/20 (10:00)体温37.1℃	
129	B07013329	9	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	2007/2/27	23:30	○	-	2:30	3:30	No	-	No	No	No	No	No	2007/2/27 キットを実施したが陽性、臨床診断(39℃の発熱)で、インフルエンザと判断し本剤処方。(朝)本剤投与開始。(45mg×2日)。(20:30)夕食後、本剤45mg2回目服用。就寝後、23時30分頃、急に目を醒まして立ち上がる。母親は驚いて寝た。そして「リカはここにはいられない、外に行かない」と言って玄関から外に出ようとしたが母親が抱きかかえて止め、再び寝た。異常行動(非重篤)発現。(1～2時間後)また起き上がり「学校に行かないや」と言って窓のカーテンを開けた。再び母親が抱きかかえ止め、そして寝た。(更に1時間後)再び起き上がり「学校に行く」と言って起き上がった。然し38.5℃。母親はニュースを見て、本剤の副作用を知っていたので次の日は服用させなかった。 2007/2/28 (9:00)異常行動回復。 2007/3/1 インフルエンザ軽快・回復。	
130	B07013330	9	年	男性	異常行動	2007/3/12 夕	2007/3/13	2:30	○	-	-	Yes	発熱持 続	No	No	No	No	No	無	2007/3/12 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(30mg/日) 2007/3/13 (2:30)突然一人で起きだして、玄関から外に出て、1メートル以上の棒を乗り越えて外に走り出した。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。本人は全く覚えていない。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族 歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
131	B07013375	9	年	男性	記憶障害 異常行動	2007/3/28	夕方	2007/3/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/27 発熱(38°C)咳嗽、鼻水、食欲減少。 2007/3/28 (午前)本院来院、インフルエンザ簡易キットにてインフルエンザA型診 断。(夕方)回目の本剤75mg服用。服用後数時間後、自宅療養中家族の家族 が見付ける。記憶障害(非重篤)発現。(夜間)奇声を発する。異常行動、奇声(非重篤)発 現。 2007/3/29 回復した。回復後、本人へ、前日夕方よりの行動について記憶がなかった とコメントした。 本剤は1回のみ75mg服用し、その後は中止。	
132	B07013396	9	年	女性	異常行動	2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	12:00過ぎ 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/5	14:00	×	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/5 (12:00過ぎ)インフルエンザA型治療のため、本剤64mg×2/日投与開始。発 症時自覚所見：発熱38°C(07/2/4)、咳、消化器症状(嘔吐、下痢)。(14:00頃)本剤初 服用後、2時間くらいして、目つきが変わって、しきりに外に出ようとして、何か訳の わからないことを言ったりした。多量の発汗があった。異常行動(非重篤)発現。 2007/2/6 異常行動回復。 2007/2/7 (~2/9)残りの本剤をすべて服用するも同様の症状の出現なし。		
133	B07015225	9	年	男性	睡眠時驚愕	2007/2/26 2007/2/26	発現日前日の 夕方と他に1回	2007/2/27	5:00	○	Yes	-	数時間	No	解熱過程	No	-	-	No	No	2007/02/26 インフルエンザB型治療のため、本剤投与開始。(75mg×2/日) 2007/02/27 (5:00)起床時、突然意味不明の事を出し出し、階下より3Fまで走って上 り、悪夢に怯えるような状態が30分~1時間持続。夜驚(睡眠時驚愕)発現。回復。こ の時発汗(非重篤)や顔面紅潮(非重篤)発症していた。この時の事を本人は記憶して おらず、救急車で小児科受診し、受診時の事は憶えている。 2007/03/02 (19:00)夕方から眠っていたところ、衝動的に覚醒、まとまりない言語が 小児科受診。夜驚(睡眠時驚愕)発現(非重篤)発現。(21:00)突然「怖い」と言い出すも、父 に抱かれ5分で落ち着く。 2007/03/05 同上のエピソードが短時間有り。(1:30)睡眠中、中途覚醒し「怖い」と訴 え、「悪夢をみた」と自覚。悪夢(非重篤)発現。 2007/03/06、07、11、12、14、15、17 同上のエピソードが短時間有り。悪夢、夢を伴う事多し。 2007/03/27 この日を最後に夜驚(睡眠時驚愕)・悪夢は見られなくなった。軽 快。 2007/04/08 発汗・顔面紅潮、軽快。 2007/05/25 上記各所見、診察時には軽快している事を確認した。
134	B07023327	9	年	女性	異常行動	2007/10/15 2007/10/15 2007/10/16 2007/10/16 2007/10/17 2007/10/17 2007/10/18 2007/10/18	午前 午後 午前 午後 午前 午後 午前 午後	2008/1/15 2008/1/16	-	- ○	-	-	-	Yes	不明	No	No	No	-	No	2008/01/15 (朝)来院し、インフルエンザA判定。本剤39mg×2/日処方。(午 前)39.5°C。帰宅後本剤服用し、2階にて就寝(昼寝)していたが、母親が気がついたと きは1階をうろろろしていた(急に2Fから1Fに降りた)。母親がどうしてうろろろしている のか平然と尋ねると黙ったように、階に降りた記憶が無いとの事。この時点では 本剤服用中止せず。寝ているときも発音が多く天井に向かい両手を盛んに動かしていた。 異常行動(非重篤)発現。 2008/01/16 就寝中寝言や、手を払いのける行動あり。再診時は異常な様子は見ら れなかった。 2008/01/18 (午前)36.8°C。異常行動(非重篤)回復。インフルエンザ軽快。 2008/01/19 本剤投与終了。
135	B07023858	9	年	女性	異常行動	2008/1/26 2008/1/26 2008/1/27 2008/1/27 2008/1/28 2008/1/28 2008/1/29 2008/1/29 2008/1/30 2008/1/30	17:00 21:00 8:00 19:00	2008/1/26 2008/1/27	20:50 15:00	-	-	-	5分 3分	Yes	発熱持続中	No	Yes	No	No	睡眠時驚愕症	2008/01/26 (17:00頃)インフルエンザ治療のため、本剤(69mg×2/日)服用開始。(20: 50)寝ていると家族に驚かされた(急に2Fから1Fに降りた)。母親がどうしてうろろろ たり、意味不明なことをぶつぶつ言ったりしていた。異常行動(非重篤)発現。発熱 40°C。(20:55)症状回復。(21:00)本剤内服。 2008/01/27 (15:00)再度徘徊。一人言などあり。異常行動(非重篤)発現。発熱39°C。 (15:03)症状回復。前日と同様であったが、持続が短かった。 2008/01/29 (9:00頃)患児母親より電話にて報告あり。その後はおかしな行動は見ら れなかった。発熱36°C。 2008/01/30 本剤投与終了。
136	B07026154	9	年	男性	異常行動	2008/2/3	19:30	2008/2/3	22:30	○	Yes	2時間	30分	Yes	-	-	-	-	-	No	2008/02/03 (19:30)A型インフルエンザの診断にて、本剤57mg内服。(20:30)就寝。 (22:30)突然異様な目つきで階段を駆け上がった。(23:00)親が取り返さず眠りについ た。その後 異常行動回復。
137	B08001747	9	年	男性	異常行動	2008/1/24 2008/1/25	1日2回	2008/1/25	22:30	-	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	2008/01/24 インフルエンザA型およびB型同時感染のため、本剤服用開始(51mg×2回/日)(~ 1/25) (18:45)体温:38.0°C。 (22:30)本剤、他併用薬内服。 2008/01/25 (22:30)患者本人が母親の寝床の枕のところで泣きながらあやまっているのを見て、弟 が階下にいる母親に知らせに行った。本人も一緒に階下に降りて、おひえて母親に抱 きつき、あたりを見まわしたり、「こわいよ、ごめんねさ。死にたい」と不穏であった が、一旦鎮んになっていた。異常行動発現。 2008/01/26 (0:30)起き上がり「トイレに行きたい」と言ったが、トイレに行かないでテレビの前に座つ てうらぎられた。うらぎられたとおひえて震えていた。死にたい、こわい等を言う。これ 等不穏状態を繰り返し、1時間くらい経って寝た。この間目つきが異常で力が強い。 以後本剤中止。異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
138	B08028295	9	年	男性	異常行動	2009/1/26 12:00	2009/1/26 14:00	×	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	-	2009/01/26 (朝) 本院受診。インフルエンザ確定診断実施。結果：A型インフルエンザ。本剤33mg× 2回/日、トミロン100mg、ムコダイン250mg、ペリアクチン、ピオフェルミンR処方。 (12:00) 本剤、トミロン、ムコダイン、ペリアクチン、ピオフェルミンR服用。 (14:00) 異常行動発現。急に動きまわる。会話が合わない。数分で回復し、普通の会 話をし入眠。再び自覚の同じような異常行動を3回繰り返す。 (16:50) 母親よりつたえがある(電話)。異常行動をくり返しているため、入院を勧め る。 (18:00頃) 他院に入院。リレンザをすく吸入。 (夜) 再びリレンザ吸入。 2009/01/27 朝 発熱。 (0時すぎ深夜) 高熱40℃続き、ベッドの上で寝ていたが、急に起き上がり、変な手の動 きをするなど、異常行動を数回繰り返すが、ベッドから下りて歩き回るようなことはな かった。熱さまし(薬剤不明)を服用。 (朝) 7℃代後半となった。しかし朝起きた時、母親の顔が分からないことがあり、その 後もボーとすることも数回あった。 2009/01/28 解熱、異常行動なし。リレンザ、トミロン、ムコダイン、ペリアクチン、ピオフェルミンは継 続投与。 2004/02/02 インフルエンザA型と診断。(12:00頃) 昼食後、本剤(75mg/日)等内服 し、解熱剤を服用し就寝。 2004/02/02 (15:00頃) 意識障害→ベランダから(マンション6F) 飛び降りる。外傷等 により他院救命センターへ搬送される。	
139	B04008522	10	年	男性	意識変容状態	2004/2/2 12:00	2004/2/2 15:00	○	Yes 1時間後	3 (救命センタ ーに搬送)	-	-	発熱持続	No (ケガ認識)	No	No	-	No	無		
140	B05023468	10	年	男性	①熱性譫妄 ②異常行動	2006/1/19 12:30	2006/1/19 13:35	-	No	-	30分	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	-	2006/1/18 (14:00)38℃台の発熱、咳嗽出現。 2006/1/18 インフルエンザA型と診断。(12:30)タミフル投与開始(105mg/日)。(13:35) 廊下を立上り「布団が敷いた」と言って布団を持ち上げた後、急に外に向かって走っ て出て行くとした。異常行動発現。約30分持続。(14:00)当院受診。入院。入院後は異 常行動出現せず。 2006/1/20 (9:00)解熱し普段と変わらない程に回復。本剤中止。異常行動回復。 2006/1/21 インフルエンザ回復。 2006/1/31 退院。	
141	B05024270	10	年	女性	①情緒障害 ②通行行動	2006/01/27 1/28~1/29 1/30 夕 朝・夕 朝	2006/01/29 2006/2/3	-	-	-	No	No	解熱後	-	-	-	-	-	-	2006/1/26 インフルエンザA発症。夜、38.6℃の発熱。 2006/1/27 インフルエンザA型と診断。タミフル投与開始。1/27:夕(75mg/日) 1/28~ 1/29:朝夕(57mg×2/日) 1/30:朝(57mg/日) 2006/1/29 発熱、38℃台、咳嗽・咽頭痛はあったので内服薬継続。 2006/1/29 情緒障害、行動異常発現。機嫌が悪く、突然泣いたり、テレビを急に消し たり、母親と手をつなぎたり「ママ」と呼ぶ。母の姿が見えないと探す。多動あり。問 いかけに回答せず、ボーとしている。車を怖がる。入混みを怖がる。眠っていることが 多い。 2006/1/30 A医院受診し、本剤投与中止。咽頭痛および咳嗽のためクラリッド、アス トマリ、ムコダインを投与。(18:00)当院受診。母親の嚴重な管理を指導し、1~2日様 子を見るよう伝え帰宅させた。 2006/1/31 A医院再診。インフルエンザ軽快。B病院紹介となる。外来にて頭部CT、 血液検査施行。異常なし。本人の症状は軽快傾向にあるが、基本的には不変。 2006/2/1 経過観察のためC病院入院。MRI施行。異常なし。35.6℃。(12時頃) 2006/2/3 外泊へ。この頃より正常の状態と不安の強い状態が交互になる。 2006/2/6 外泊より帰院。軽快傾向にあるため退院とした。 2006/2/8 ほぼ正常の状態のみになる。 2006/2/10 外来受診。終診とした。(情緒障害、退行現象回復) 2006/1/16 インフルエンザA型と診断。朝、夕、タミフル内服。(20:00)就寝(～1:00)。 夜間に「学校へ行く」といランドセルを背負い外出しようとした。異常行動発現。 2006/1/17 (11:00～12:00)悪夢を見て怖いとい外出しようとして泣いて叫んだ。朝、 夕、タミフル内服。 2006/1/18 前日夕方まで内服し投与中止とした。 2006/1/20 中止後39℃以上の熱が下がり症状回復。異常行動回復。	
142	B05024606	10	年	男性	異常行動	2006/01/16 ～1/17 朝・夕	2006/01/16 2006/01/17 1:00-1:15 11:00-12:00	○	Yes	5時間	10分	No	発熱持続	Yes	Yes	Yes 母	No	No	無		
143	B06010806	10	年	男性	①譫妄 ②異常行動	①2006/6/8 ②2006/6/9 ～6/12 ③2006/6/13 ①20:00 ②朝・夕 ③朝	①2006/6/8 ②24:00 ③夜間 ②2006/6/9	①○ ②○	No	①4hr ②-	1分	Yes	-	No	No	-	No	No	無	①6/8 24:00から6/9 1:00にかけて「天井が落ちて来る、たつまきが来る、お母さん怖 い」と言って起き出した。側にいた母が「大丈夫だとだめだと落ち着いた。 (朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。 ②6/9夜本剤内服後、就寝。夜間に急に起き出して寝言(詳細不明)があった。 (6/10朝)せん妄回復。本剤内服するも異常なし。以降本剤内服するも症状再現なしと のこと。	
144	B07000166	10	年	女性	異常行動	2007/3/16 2007/3/17 夕方 8:00	2007/3/17 10:00	-	-	-	-	-	-	発熱持続	Yes	-	-	-	No	不明	2007/3/16 インフルエンザA型と確定診断。(夕方)タミフル75mg内服。症状なし。 2007/03/17 (8:00)本剤75mg内服。(10:00)体が熱い症状訴える。その後母親が目を見 た隙に一人で で親を扉を玄関を出ようとしていた。患部の痛が気付き止めた為、大事には至らなかつ た。本人は覚えていないとの事。症状が出たときは熱がまだ40℃ほどであった。その 後母親が寝がしつめた。(12:00)睡眠より覚醒。意識清明。 母親が後で聞いてみると「体が熱く感じた」と、玄関でスニーカーを履こうとしたことな どは覚えていなかった。
145	B07002856	10	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2005/1/22 2005/2/28 不明	2005/2/28 服用2時間後	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	(服用2時間後)異常行動、幻覚発現(重篤度不明)。寝ていたが、突って起きだし廊下を 走り出した。「どうしてかわからないが、変いとなったし、走りたくなった」と本人が説明
146	B07012021	10	年	男性	譫妄 意識変容状態	2006/1/31 不明	2006/1/31 23:00	○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	-	-	-	-	2006/1/31 (23:00)夜中、トイレに起きたとき、興奮状態となり飛び出そうとした。母親 の顔が分からなかった。 2006/2/01 意識清明となった。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒後 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の 具 体的 な 詳 細 (例：幻覚については具体的に何が発じたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)
147	B07012054	10	年	男性	異常行動	2007/3/20	朝	○	Yes	-	-	Yes	発熱持続	-	Yes	-	-	No	睡眠覚醒 睡眠時進行 症	2007/03/20 インフルエンザB型と診断所見、発熱38℃、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻 づまり、くしゃみ)、タミフルドラインシロップ80mg服用。(18:00)保護者が不在であったが、 最後に見たときは睡眠中だった。ポーッと寝ていて不安になり、怖い人がきたと思って マンション7階のベランダから下をのぞき、その後、裸足で階下の友達の家に行き、そ こで保護された。 (17:00)来院時、体温38.4℃、意識清明。(23:00)睡眠中起きだして、「外へ出たい」と言 い、ベランダの方へ行き、カーテンを開けて出ようとした。家人が阻止すると、「星が見 たい。星が下にいる」と言って、玄関の方へ行って外へ出ようとする。20分くらいで落ち 着いてきたが、「しんとしていたら怖い」と言い、本を読んだり、テレビを見たりして、10 分くらいして眠った。
148	B07013136	10	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24	昼 夜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/24 インフルエンザに対して、本剤57mg/回を投与開始。昼・夜に服用。 2007/2/25 (4:00)着接している眼鏡を階段において玄関から外に出ようとして、セコム が反応したため外へ飛び出すことはなかった。
149	B07013247	10	年	男性	異常行動	2007/5/1 2007/5/2	朝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/5/1 基礎疾患があるため入院にて本剤の投与を開始。 2007/5/2 朝、本剤2回目服用から15分後に突然病室から走り出しトイレに駆け込み 失禁した(この時点では解熱していた)。本剤の投与は中止。その後は正常となり退 院。
150	B07013255	10	年	男性	異常行動	2007/1/23 2007/1/23 2007/1/24 2007/1/24 2007/1/25 2007/1/25	午前 夕 夕 夕 夕 夕	○	-	-	-	Yes	発熱持続	-	No	No	No	No	無	2006/1/23 (午前)高熱のため受診。本剤、桂麻各半湯エス細粒他処方。インフル エンザ発症時体温:39℃。インフルエンザA型治療のため本剤投与開始。(60mg×2/日 ~1/25)。(午後)再度受診し、午前の桂麻各半湯の服用をやめるよう指示し、ナウゼリ ン、黄耆建中湯を処方。(夕刻)本剤服用。患者は一度睡眠に入るが、突然立ち上がり 家の中を飛び回る。上を指差しながら外に逃げたがる。両親は不在であったが、祖 父母が面倒を見ており、二人で外に出るのを止める。外に出ようとしながら意味のわ からないとせ口走り、大音量の中を飛び回り走り回ったりする。異常行動(非重篤) 発現。しばらくこの症状は続いたが、落ち着きと戻し、再び睡眠。 2007/1/24 熱はあるものの、前日のような異常な様子は認められない。 2006/1/25 体温:36.7℃ 熱が下がったと薬局に来られる。 2006/1/27 インフルエンザ軽快・回復。 2006 異常行動回復。
151	B07013386	10	年	女性	異常行動	2007/3/8 2007/3/9 2007/3/10	12:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/8 (12:00) インフルエンザで来院。本剤を処方され、帰宅し服用。(16:30) 突 然机下を覗き暴れて外へ飛び出した。母親が押え付け、何事にもならなかった。異常 行動は回復。
152	B07021901	10	年	女性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26	朝 夕 夕 夕 夕 夕	×	Yes	-	-	-	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2007/02/25(9:00頃) 二階ベッドの上の段に寝ていたところ、急に起きてきてベランダ に走ってきて、母に「リカちゃんがかげから落ちたんじゃないか、どうなの？」と聞い た(母はベランダで洗濯物を干していた)。「リカちゃんは大丈夫だから」と断って納得さ せたが、その時のことを本人が覚えていない。今までこのようなことはなかった。 2007/02/25(18:00頃) 夕食時、ベッドで寝ていた本人に食事を運んできたところ、起 きていたが寝の分らないほど老いしたことを言う(身体内容を覚えていないが、普通 では言わない内容だったとのこと)。そのようなことはないと納得させたが、あとでそ うなことがあったことを説明したら本人は全く覚えていない。
153	B07027206	10	年	男性	異常行動	2007/12/23 2007/12/23	朝 夕	○	Yes	2時間45分	30分	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2007/12/23 (13:45)自宅にて処方薬(水薬、本剤、解熱剤)服用。その後就寝する。 2007/12/23 (16:30)急に起き上がり、二階寝室から一階玄関まで走って行き、外へ走り 出て行く。その際に「こんな家には住めない」と大声で叫んだりした(大きな音が自分 に向かって転がってくる幻覚があったとのこと)。 2007/12/23 (17:00)家族が静止し、その後就寝。 2007/12/23 (19:00)処方薬(本剤、その他服用し、朝まで就寝。夜中に寝ぼけた状態 があったが、朝には正常であった)。 2007/12/24 本剤の服用は中止し、様子を見る。発熱もあるも、異常行動はなし。 2007/12/25 インフルエンザも回復。
154	B08027575	10	年	男性	異常行動	2009/1/15	10:00	○	Yes	2時間	20分	Yes	解熱過速	No	No	No	No	No	-	2009/01/15 (10:00) 本剤内服、入眠する。 (12:00頃)異常行動 精神神経症状(医師重篤度、非重篤)発現。突然おき、何も言わ ずトイレに行く(いつもはトイレに行くと言う)、便座に座って笑ったり、意味不明のことを 言う。便が出て水を流した頃に意識戻るもその間の記憶なし。その間15~20分であ った。熱は高くなかった。(12:20頃)異常行動 精神神経症状の転帰・回復 当院に相談され、本剤中止し他の薬は継続。
155	B05023595	11	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2006/1/23	17:30	×	No服用後 後戻 る前	-	1時間	No	-	-	-	-	-	No	無	2006/01/22 (15:00)発熱。 2006/01/23 (16:00)インフルエンザA型と診断。ナウゼリン、カロナール、タミフル4g(分 2)処方。(17:00)ナウゼリン、カロナール各1T内服。軽食摂取。(17:30)タミフル内服 (60mg/日)。(18:00頃)幻覚症状及び異常行動出現。怖がって逃げる。「お母さん」と 叫ぶ。「怖い、怖い」と叫ぶ。(19:00頃)救急。(19:00頃)当院電話連絡あり。 2006/01/26 (10:00)来院。インフルエンザ治癒。及び幻覚症状消失を確認。
156	B05024102	11	年	男性	異常行動	2006/2/10	夕方	-	Yes 覚醒はし ていない。 譫 妄状態。	-	1.5時間	No	発熱持続	No	Yes	No	No	No	無	2006/2/10 A医院にてインフルエンザA型と診断。高熱にて目が少しうつろ感や伴う全 身倦怠感の強い、タミフル2カプセルを処方(2回/日)。(夕方)タミフル75mg内服。 2006/2/11 (0:40)異常行動発現。団地2Fのおどり場より墜落。(1:30)当院救急搬送。 脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。 2006/2/15 (13:30)大腿骨手術的にてC病院へ転院。転院時には異常行動回復。 不明 両大腿骨折に対して、転院後手術実施。 2006/5/31 退院。両大腿骨折は軽快。外来にてフォロー中。 睡眠から覚醒していたわけではなく、目は覚めていたが、せん妄状態とも考えられる。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない: ×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の既 往	睡眠覚 醒症等 の家族 歴	光に対 する反 応	他剤に よる「 異常な 行動」 の副作 用歴	異常な 行動 に 関 する 既 往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が発現したか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)		
157	B06024935	11	年	男性	異常行動	2007/2/19 20:30	2007/2/20 6:30	○	Yes	10hr	5分	Yes	-	No	Yes	No	No	Yes	睡眠時驚 愕症等	2007/2/19 朝、妹がインフルエンザと診断されていたので、母親が同じインフルエンザだろうと思いきい妹に処方されたタミフル72mg×1/日を飲ませた。(21:00)夜、突然40℃台の発熱が起こった。 2007/2/20 (6:30)服用後約10時間経過した朝、就寝中突然起き上がり徘徊をはじめた。訳のわからない事をさびき走りだしたので、母親が制止しようとしたが、おさきせず父親を呼び2人がかりでおさき込んだ。(6:35)正気を取り戻した。(10:00)当院受診。インフルエンザA型と診断。インフルエンザA型治療の為、本剤72mg×1/日の投与開始。 2007/2/21 インフルエンザの転帰:回復		
158	B06025190	11	年	男性	①異常行動 ②幻聴	2007/2/18 2007/2/19	2007/2/19 ①午後 ②午後	①○ ②-	①Yes ②-	-	①10分 ②-	Yes	-	Yes	No	No	-	No	無	①ヤケザみたいなのが入ってきたと本人が訴えた。 ②トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った。田んぼを徘徊、その後しばらく前橋に隠れていた。 ③逃げるという声が聞こえた、と本人が訴えた。		
159	B06026130	11	年	男性	①激越 ②異常行動	2007/02/10	21:00	2007/02/11	0:20	-	No	-	6時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	無	ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。 その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫合した。 2007/2/05 インフルエンザB型と診断。(18:00)タミフル75mg×1回/日投与開始。 2007/2/6 (8:00)タミフル75mg服用。(19:00)タミフル75mg服用3回目(夕食後)。(21:00)入眠。 2007/2/7 (2:00)異常行動発現。うわ言を言って起き上がり、トイレに行った後、「プププ」言いながらベランダや玄関の数のドアを開け、外へ出ようとした。母親が必死に止めるが力づくで何度も同様の行動を繰り返したが、母親がその度全力で止めた。(4:00)症状がこの頃まで続いたが、その後入眠。(9:00)起床。熱が下がりはしたが、異常行動は回復。目がさめたが、異常行動については、全く覚えていなかった。	
160	B06026540	11	年	男性	異常行動	2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6	18:00 8:00 19:00	2007/2/7	2:00	○	No	5	4時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	不明	2007/2/21 ボララミン2mg×3/日の投与開始(〜3/24)。(タミフルインフルエンザA治療の為、タミフル75mg×1/日の投与開始。 2007/2/22 タミフル増量。(75mg×2/日 ~2/23) 2007/2/23 夜就寝 2007/2/24 (12:00)起床。タミフル75mg/日最終投与(起床がおそかったため朝)。(18:30)玄関から外に出ようとしているのに父が気づき、もう暗いので外出するのはやめなさいと言ったところ居間に戻った。特に異常さは感じなかったが、後から考えるとおかしな行動だった。(19:00)異常行動による転落発現(非重篤)。居間で父とTVをみていたが、ふと立ち上がり2階に行った。すぐに1階と音がしたのを見るとベランダの下の土の上に出て、ポーンとしていた。家に戻るようながして一階に入り、30分後に母もポーンとした感じではなくなった。意識ははっきりしていた。どうして落ちたのか聞いてもわからないと答えていた。外傷はごく軽い打ちみのみなので特に手当てはしなかった。	
161	B07000058	11	年	男性	異常行動	2007/2/21 2007/2/22 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/24	夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/24	19:00	×	No	-	30分	Yes	解熱過程	No	No	-	No	無	2005/2/17 (夕)インフルエンザA治療の為、タミフル投与開始(不明×1/日)。(夜)体温38.8℃ 2005/2/18 (5:00)体温38.8℃(午前)タミフル(投与量不明)内服。タミフル投与(不明×2/日〜07/2/21) (15:00)異常行動あり。10分位。布団に座って「キッシュが卒業して」と言いながら泣いている。(重篤度不明) 就寝。異常行動(-)。 2005/2/19 インフルエンザの転帰:軽快。 2005/2/22 (朝)本剤投与(不明×1/日)。 2007/2/21 (朝)39℃の発熱。(夕)39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断。本剤処方。(18:00)タミフル内服開始。(75mg×2/日 ~07/2/26) 2007/02/22 (1:00)急に起きてトイレにしばらくこもっていた。父親が引きずり出した。その後階段を昇ったり降りたりを繰り返す。しばらくして親が布団に寝かしたところ、布団で起き上がり、おかしなことを言う(他人と話している)。5分位続いた。母親に「第一子は男の子なの」「お母さんはマリーアントワネット」等と言う。少し斜視気味だが、いつもよりひどくなっていた。この時発熱なく37.0℃台だったことを確認している。夕方より(受診時)から熱はなかったこと。異常行動発現。インフルエンザの転帰:軽快。 2007/2/23 翌日、めざめてからは症状(-)。異常行動回復。 2007/2/26 本剤の服用終了。	
162	B07000111	11	年	男性	異常行動	2005/2/17 2005/2/18 2007/2/21 2007/2/22 2007/2/23 2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26	時刻不明 18:00	2007/2/22	1:00	-	Yes ねほけ	-	15分	Yes	解熱過程	Yes	おつ のとき に症状+	母の父、 母	-	No	無	2006/2/27 早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽喉痛、頭痛を認め、午前中来院。インフルエンザA型と診断。本剤2cap/2分、ボララミン(2mg)錠、ムコダイン(250)錠、アストマリ3錠、カロナール(200)錠を処方。(13:00)38.7℃あり、上記薬剤を服用。(21:00)上記薬剤を服用。(21:30)就寝。(23:00)朝1階にいた家族の知らない間に、2階より厚巻き寝足のまま家を出て、近隣の家で保護されて、近隣の家で保護された。その後運ばれて、翌日まで就寝。落ちたのか飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その前の検温では38.7℃であった。 2006/2/28 朝、38.8℃あり、来院。来院時は元気もあり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽頭培養にて、A香港型(AH3)を分離している。 2006/3/1 (9:00)36.9℃。(17:00)36.6℃ 2006/3/7 インフルエンザ回復
163	B07000121	11	年	女性	異常行動	2007/2/27 2007/2/27	13:00 21:00	2007/2/27	23:00	-	-	1.5	1時間	Yes	発熱持続	No	Yes (軽いもの)	No	No	無	2006/2/27 早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽喉痛、頭痛を認め、午前中来院。インフルエンザA型と診断。本剤2cap/2分、ボララミン(2mg)錠、ムコダイン(250)錠、アストマリ3錠、カロナール(200)錠を処方。(13:00)38.7℃あり、上記薬剤を服用。(21:00)上記薬剤を服用。(21:30)就寝。(23:00)朝1階にいた家族の知らない間に、2階より厚巻き寝足のまま家を出て、近隣の家で保護されて、近隣の家で保護された。その後運ばれて、翌日まで就寝。落ちたのか飛び下りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのことであった。何時かは不明であるが、その前の検温では38.7℃であった。 2006/2/28 朝、38.8℃あり、来院。来院時は元気もあり、意識も清明で特に異常所見は認めなかった。咽頭培養にて、A香港型(AH3)を分離している。 2006/3/1 (9:00)36.9℃。(17:00)36.6℃ 2006/3/7 インフルエンザ回復	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 異常な行 動の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	
164	B07000131	11	年	女性	①激越 ②異常行動	①2007/3/4 ②2007/3/5	2007/3/5 19:00	×	No	—	3日間	No	解熱過程	Yes	No	No	—	No	激越	2007/3/1 かぜ症状あり、日中近医受診。クラリス、アズベリン、プルスマリン、ボルボ ノールDS、乳糖カルシウム、ラクビを一処方された。(夜頭痛あり) 2007/3/2 (朝)38.1℃。(日中)36℃台となるも、また発熱。 2007/3/3 (9:30)当院救急受診。咽頭発赤あり、インフルエンザ迅速でB陽性。本剤、 ムコダイン、メジコン散、カロナール処方。タミフル(32.5mg×2/日)内服(～3/5)。 2007/3/4 解熱傾向あり、興奮状態で家人が常にみていた。異常興奮(非重篤)発現 (発現時間不明)。インフルエンザ軽快。 2007/3/5 (15:00～18:00)昼寝。(19:00頃)自宅リビングのソファの背もたれに乗って、更 に立ち上がりそこから床に転落したが、顔を打撲したため口腔内を切って出血。近医 受診、処置してもらった。その帰宅途中に、ガードレールを乗り越えて走って来る車に 飛び込もうとしたため、祖母がガードレール越しに捕まえた。本人が制止を振り切ろう とするが、力が強かったために祖母は転倒し、顔面に擦過傷を負った。異常行動発 現。(23:00)就寝。 2007/3/6 異常興奮回復。 2007/3/7 異常行動回復。(3日間で回復) 2007/3/27 以上の経緯を聞いた。受傷直後は家人も疲れており、自宅安静にしてみ	
165	B07000163	11	年	男性	譫妄	2007/3/9 2007/3/9 2007/3/10	2007/3/9 14:00	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	Yes	No	—	No	No	不明	2007/3/9 (11:00)本剤50mg×2回/日投与開始(～3/11)。(14:00)本剤服用3時間で階 段を駆け上がった。真っ黒な大きな物に追いかけられた。体を半分に分られるよう な、痛い痛いと叫ぶ。本人はそれを感じている。せん妄発現。ふとんで押さえつけ、解熱剤 (坐剤)を入れ、10分後に睡眠。その後そのような発作はない。せん妄回復。(20:00)タミ フル内服。 2007/3/10 (6:00)タミフル内服。 2007/03/11 インフルエンザ軽快・回復。	
166	B07000260	11	年	女性	幻覚	2007/3/3	不明	2007/3/4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	不明 3年前から本剤を処方された場合に投与中に幻覚(重篤度不明、過去には、夜 に一人で外をふらつく)がみられた。 2007 インフルエンザ発症 2007/3/3 他院にてタミフル投与開始(75mg×2回/1日)。 2007/3/4 幻覚を見てドアにぶつかり顔に裂傷を負い当院形成外科を受診。 2007/3/10 回復。	
167	B07000274	11	年	男性	異常行動	2007/3/19 2007/3/19	2007/3/19 14:50～ 15:00 ②23:00～ 23:05	○	Yes	—	5～10分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	①階段を半分まで上がり、母がかげつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指しう んこ！と伝える。 ②掃除機のパースを外し、先端(T字型)部分に足を入れようとする。「入らないよ」と声 をかけると泣く。本体の穴にも足を入れようとする。妹が笑うと怒った様子。 本人の話：夢でマンションから飛び降り、痛み無く、起き上がり歩こうとして、現実に戻 る。自分の足を掃除機本体に入れようとしたが自分の体を止められず、その後記憶が 無くなった。 14:00にタミフル服用し、14:10に就寝。14:50覚醒し、異常行動発現(10 分間)。15:05～20:30再び就寝し、21:00に夕食をとる。22:00タミフル50mgを服用し(2/3 吐き、1/3飲む)。22:15～再び就寝したが、23:00に目を覚まし異常行動を発現(5分 間)。23:10再び就寝し、その後タミフルは服用なく異常行動もなし。	
168	B07003018	11	年	男性	異常行動	2007/3/19	夕	2007/3/19	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	—	—	無	2007/03/19(夕)本剤62.5mg/回内服。(1時間後)突然睡眠から覚醒し、立ち上がり「宇 スト」と言って階段を登って、2階に上がった。外に出ようとした。「早く早く」と本人 はつぶやいていた。)制止して様子を見ると、笑う動作(普段あまり笑わない子がニヤリ と笑っていたのが不気味だった)の母親談。失見当識の状態が約5分程度続き、そ の後も家の中をふらふらとどこに向かうというわけではなくしてそう。服用は1回で 中止し、再び入眠(翌朝まで寝かせつけた)。 2007/03/20異常行動回復 本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。	
169	B07003581	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	13:00	2007/3/12	14:00～15:00	○	No	1～2時間	1時間後	Yes	発熱持続	No	—	—	—	無	2007/03/12(13:00頃)インフルエンザに對して、本剤63.9mg/日内服。 その後寝かせたが、1～2時間してから起きてきて母親の知らない友達の家に行き 行くと言出し、無理に外に出ようとした。母親がおかしいと思いついて寝かせつけた。そ の後はニコニコと笑っていて手足がピクピク動いていた。しばらくすると治まりその後 服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人も記憶にないとのこと。
170	B07003786	11	年	男性	①異常行動 ②幻覚	2007/7/24 2007/7/24 2007/7/25 2007/7/25 2007/7/26 2007/7/26	朝 夕 朝夕 朝夕 朝夕	2005/2/25	午前中	—	No	—	10分	—	発熱持続	Yes	No	No	No	No	2007/02/24(インフルエンザ)と診断。本剤75mg×2回/日投与開始。 2007/02/25(午前)異常行動発現(非重篤)。2階で一人で臥床していた。その時はまだ 解熱していなかった。1階にいた母親が突然のもの音に気がついたとほぼ同時に大声 を出し、大変な騒いで階段を下りてきた。母親が抱きとめたが、約1分ほど興奮がつづ き、脅えていた。その後、反応が正常になり、臥床した。 2007/02/26その後も服薬をつづけたが、異常はなかった。記憶なし。 後日、母親が尋ねると、玄關(本人からは見えない)の外に大勢の人がいて、がやがや としゃべっていた。このため、とても怖かったのだと供述した(もちろん、そのような事実は なかった)。現在、その記憶はあるものの、本人に異常はない。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、 ×)	覚醒 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の 既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に対 する反 応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っていたか？)		
171	B07007902	11	年	女性	①異常行動 ②痙攣発作	2007/2/19	11:00	2007/2/19	14:00	×	No	—	—	—	発熱持続	No	No	No	No	—	—	2007/02/19 (午前)近医受診。インフルエンザ迅速検査：陰性であったが、インフルエンザ疑いで本剤処方。 (11:00頃)本剤72mg×1/日投与開始。 (14:00頃)興奮状態となり、靴を片方持って突然ベランダに飛び出さすといった異常行動発現。 (15:00)痙攣発作発現。弟が母に連絡。 (16:15)母が緊急送医要請し、当科外来受診。 来院時は意識清明、ダイアブプ坐薬10mg挿肛。 インフルエンザ迅速検査にてB型陽性。 頭部CTは異常なく、髄液検査など施行後、リリタ3挿肛、点滴にて経過観察とした。 2007/02/20 (午前)夜間、BT:40℃まで上昇あり、異常言動出現。 (9:00)意識レベル清明。 頭部MRI施行し、拡散強調画像で、脳梁部大脳に高信号域を認めた。 MRI所見は可逆性(一過性)の病変であった。 2007/02/21 (午前)解熱傾向あり。 2007/02/25 完全に解熱し、全身状態良好。 2007/02/26 異常行動、痙攣発作回復。
172	B07011102	11	年	男性	異常行動	2006/1/16 2006/1/17	(夕) (朝)	2006/1/17	午前	×	No	—	—	—	発熱持続	No	No	No	No	No	—	2006/1/16 39℃の熱が続いていた。キットでは陰性。総合的にインフルエンザと診断しタミフル処方。(夕)タミフル投与。 2007/1/17 (朝)タミフル投与。(午前)2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出ようとしたところを母に止められた。その時顔は赤らんでいて、何も覚えていないとの事。精神神経系の副作用(異常行動)(非重篤)発現。
173	B07013215	11	年	女性	異常行動	2007/2/7 2007/2/8 2007/2/8 2007/2/9 2007/2/9	夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/7	23:00	○	—	1時間	—	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	—	2007/2/7 (16:00)体温:37.8℃。(夕)インフルエンザB型治療のため、本剤72mg内服。発症時に認められた自覚所見：発熱37.8℃(07/2/7、16:00)、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、関節痛、倦怠感、(23:00)就寝。(23:00頃)せん妄発現(非重篤)、2階にて就寝中、突然起き階段を「怖い怖い」と言いながら走って歩いてきた。15分～20分振っていた。 2007/2/8 (7:00頃)せん妄軽快。(朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。 2007/2/9 (朝)本剤72mg内服。(夕)本剤72mg内服。
174	B07013227	11	年	男性	激越 浮動性めまい	2006/1/11 2006/1/11	—	—	—	○	—	—	—	Yes	発熱持続	No	No	—	—	No	—	2006/1/11 インフルエンザA型に対して、本剤75mg×2回/日処方。1回目内服後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約6時間後に2回目内服。その後就寝。興奮、ふらつき発現(非重篤)、突然起き出し外へ飛び出したところを家人におさえられる。家人より目録がおかかったとのこと。2-3分にて本人が気が付き状況確認すると、とても怖い夢を見たとのことだった。 2006/1/12 興奮、ふらつき回復。(9:00)家人より電話あり。症状は落ち着いており、特にかわりはないとのことであったため、本剤中止にて様子を見た。 2006/1/13 来院時特に変わったことなし。
175	B07013315	11	年	男性	異常行動	2007/2/24 2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28	朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/2/24	本剤服用から1時間後	×	—	—	—	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/2/24 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始(40mg×2/日)。発症時自覚所見：発熱39.9℃(07/2/23)、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、消化器症状(嘔吐、下痢)。本剤服用後、1時間後立ち上り走り出し外へ出て行こうとした。母親が制止したが、暫く暴れていた。異常行動(非重篤)発現。 不明 異常行動回復。 2007/2/28 インフルエンザ軽快。	
176	B07013316	11	年	男性	異常行動	2007/3/18 2007/3/19	夕 朝	2007/3/19	15:30	○	—	—	0.5時間	Yes	解熱過程	No	—	—	No	No	—	2007/3/18 (夕)インフルエンザA型に対して、本剤67.5mg内服。発症時自覚所見：発熱39.9℃(07/3/18 16:40)、倦怠感、咽頭痛。 2007/3/19 (朝)本剤67.5mg内服。(15:30)異常行動発現(非重篤)。昼寝の最中突然起き上がり、玄関に向かって走り出した。意味不明な言動もみられた。母親が制止し、声をかけたところ、表に返り部屋に戻るが、行動、言動については記憶がない。(16:00)異常行動回復。 以後は症状みられず。 2007/3/22 インフルエンザ回復。
177	B07013379	11	年	男性	異常行動	2007/3/12	15:00	2007/3/12	17:00	○	—	—	20分	No	発熱持続	—	No	No	No	No	—	2007/3/12 (15:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤67.5mg×1/日の投与開始。体温:38.5℃。(15:10頃)就寝。(17:00)一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態発現(非重篤)。(17:30)就寝後、精神神経症状、けいれん等は無く、驚怖のため家の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。約20分持続。(17:50)就寝。(20:30～20:35)再び就寝中に数分～5分、数分の恐怖の発現が在り。 (22:30頃)就寝中に再び数分の興奮有り。数分～5分で改善。 2007/03/13 一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態軽快。何事もなげめざる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは憶えていない。インフルエンザの軽快、回復
178	B07013383	11	年	男性	異常行動	2007/3/20	夕	2007/3/20	服用から1時間後	×	—	—	—	Yes	発熱持続	—	No	—	—	No	—	2007/3/20 (夕)受診後、夕方に痛ってすぐ本剤75mg内服。発症時自覚所見：発熱(39.4℃)、頭痛、関節痛、倦怠感。(1時間後)異常行動発現(非重篤)。急に家を飛び出した。家の周囲を周し、帰って来て笑っていた。おそらく、この時、高熱と全身痛があったので、この行動は不可解である。その後、この行動は不可解である。その後、異常行動は止み、薬を中止するよう指示で再発なし。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)		
						2007/3/2 2007/3/2 2007/3/3 2007/3/3	2007/3/8	2007/3/3	13:10														2007/3/11	21:00
179	B07013387	11	年	女性	異常行動			2007/3/3	-	×	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	無	2007/3/2 インフルエンザB型に対して、本剤75mg×2回/日投与開始。発症時自宅覚 所見:発熱39.1°C(07/03/02)、頭痛、咳、鼻症状(鼻水)。 2007/3/3 異常行動発現(非重篤)。2回ほど車を飛び出そうとしたが、親が止めたため、 大事には至らなかった。本剤投与中止。 2007/3/4 異常行動軽快。インフルエンザ回復。		
180	B07018037	11	年	男性	異常行動		12:00	2007/03/08	13:10	○	Yes	-	30分	Yes	発熱持続中	No	No	No	No	No	No	2007/03/08 38.7°C (12:00)タミフル1カプセル服用。(13:10)突然飛び起き、目を見開 いて走り出す。(13:40)上記の症状はおさまる。異常行動を覚えていない。		
181	B07018716	11	年	男性	異常行動			2007/11/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/11/20 本剤服用後2時間ほどで奇声を発し、3階から飛び降りようとしたとこの ことで、家族が当院を受診し、入院経過観察することとなった。 2007/11/21 異常行動は回復。		
182	B08001550	11	年	男性	異常行動		PM	2008/3/11	21:00	×	No	入眠過程	-	No	発熱持続	Yes	No	No	Yes	-	-	2008/03/11 (PM)本剤服用120mg (21:00)トイレに入り、その後電気をまぶしがり、扉の開閉を繰り返す、足元から何か 遠くまでいって行くものを感じた後、リビングの方へ行って行き、何かに追われている 様に感じながら逃げまわっていた。 その後、2~3時間おきに2回同様な行動をとった。 「外に行くといい」を言っていたので、制止した。 異常行動(非重篤)発現。その後、本剤服用中止。 不明 異常行動回復。		
183	B08009394	11	年	男性	異常行動			2007/2/13 2007/2/14	1日2回	○	No	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	-	-	-	-	2007/02/14 (15)無意味な動き軽快。 (朝)無意味な動きの記憶なし。		
184	B02-12377	12	年	男性	①幻視 ②低体温			2003/1/3		×	No	-	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	-	No	無	①(家族からの情報)本剤服用後、幻視、低体温、暴れた為、両親を押さえた。 再度服薬したところ、再度幻視出現し、低体温、暴れるなどの症状が出現し、再び 両親に押さられて治まった。 ②未記載		
185	B03011945	12	年	男性	異常行動		夕 朝	2004/2/4 2004/2/5	2004/2/5	○	Yes	8.5	数十分~1 時間	Yes	持続中、解 熱過程	-	-	-	-	-	-	2004/2/4 発熱あり(38~39°C)。(16:00)学校早退、近医受診。インフルエンザ迅 速検査陰性だがインフルエンザが疑われたため、タミフル、ヘブリン顆粒処方(1回分 75mg)内服する。(19:00頃)その後すぐ就寝。 2004/2/5 (3:30)39°C。突然、母の体の上に乗り「宇宙が〜」と意味不明のことを言う。 異常行動(軽微)発現。その後、尿失禁。シャワーをあびると元にもどる。朝、本剤75mg 内服する。午後より解熱。この間、寝たり起きたり生活。(17:00)急に「うんちがこうす る」と言ったり、「(母の実家へ)行く」と言い、玄関とは全く違う方向へ歩いて行こうと する。家人の呼びかけに対し、元にもどる。(18:00)当院初診される。当院初診時は意識 清明であり、特に変わった様子なし。当院来院以降は発熱認めず。念のため入院し、 内服薬すべて中止して様子みた。入院後、解熱、意識不明音動等、全くなくなり、ふつ ふつと話す。入院中の頭部CT、脳波も正常。 2004/2/6 異常行動回復。 2004/2/9 退院される。		
186	B04009035	12	年	男性	異常行動		朝・夕	2002/2/25	21:00	-	-	-	3時間	-	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2002/02/25 朝、KT.38~39°C認め、近医でインフルエンザB(+)(判明し、タミフル (150mg/日)、メイクト、etc処方あった。自宅で内服した。(21:00頃)突然「苦しい」と 顔つきが異常(いつもとちがう)になり、自宅2階の窓から飛びおりた。(24:00頃)救急 車で来院時、意識は清明であった。		
187	B05023672	12	年	男性	異常行動			2006/1/19	20:00	○	Yes	1	15分	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	-	トイレへ行こうとするが椅子がおかしく、その後突然外出し団地4Fより階段を降りて下 にある自転車で走り出す。奇声を上げていた。異常行動発現。15分後、帰ってきた が意識がぼーっとしており発語もはっきりせず、朝まで経過。その間の記憶が無い。		
188	B05023790	12	年	男性	①異常行動 ②意識障害状態 ③機骨骨折 ④下肢骨折		昼	2006/2/4	2006/2/4	15:30	-	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2006/2/4 (12:00)A院にてインフルエンザA型と診断し、タミフル処方。帰宅後服用(1回 分のみ)。(15:30)自宅マンションの2階より転落。意識障害、異常行動発現、発見され、 救急車にてB病院へ搬送。右腕・右下肢骨折。整形外科にて手術。同時に小児科にて 診察。入院。頭MRI所見なし。インフルエンザテスト(+) 4-5日 発熱、咳が続いた。また夜間おたけがあった。 6日目 リハビリ開始。発熱は続いているが全体に回復傾向。経過観察にて症状消 失。 2006/02/10 インフルエンザ軽快。 2006/02/16 意識障害、異常行動回復。		
189	B05024638	12	年	男性	異常行動			2006/2/1 2006/2/1 2/2~2/3	13:00 22:00 朝・夕	○	Yes	0.5時間	-	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	2006/2/1 (12:00)38.5°Cの発熱、咽頭痛あり来院。母親が同様の症状であるが、母の 鼻汁よりインフルエンザAが証明されたため検査は施行せず。タミフル75mg 2cap/日 ×3日処方。(13:00)タミフル75mg内服。(22:00)タミフル75mg内服。その後、38.5°Cの発 熱あり。(23:00)内服30分後、就寝中より突然起きると親に抱かっていたり、母妹に意味 不明な言語を発する等の異常行動がみられた(恐怖を感じる表情をしていたと母の 弁)。(24:00)再び入眠した。異常行動は回復。(異常行動は約30分間持続) 2006/2/2 (朝)起床後は普段と変わらず、前日の記憶は無し。 2006/2/3 (8:00)36.4°C(21:00)36.4°C。本剤投与終了。		

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒時の 既往	睡眠覚 醒時の 家族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の 詳細 (例：幻覚については具体的な何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言 っているのか？)
190	B05025582	12	年	男性	異常行動	2006/2/26 朝・夕	2006/2/26 20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/2/26 (朝・夕)タミフルインフルエンザのため、タミフル(75mg)/回内服。(20:00頃)突然部屋の中をぐるぐるまわり始め、そのうちに2階の窓口に足をかけ、飛び降りようとした。異常行動発現。父がすぐ寄り寄り、部屋の中に連れ込んで押えていたが、約40分間位父の腕の内側でわめいたり、暴れたりしていた。(21:00頃)そのうちに次第に落ちついて寝た。異常行動軽快。熱は39°C以上あった。 2006/2/27 翌朝は解熱し普段と変わりなく、念のため病院に再来した。本剤は2cap飲んだだけで中止した。外来受診時、意識ははっきりし特に異常はなかった。体温：36.7°C 2006/2/28 (第3病日)体温：37.5°C(以後平熱)。 2006/3/01 インフルエンザ軽快・回復。体温：36.7°C。 2006/3/3 再び来院。母の話だと、本人も暴れたことは何となく覚えている様だとの由。1年くらい前にも発熱した時に、うなされたことがあったとの由。しかし今回のようにひどくはなかった。
191	B06007798	12	年	男性	①死亡 ②損傷	2006/7/3 12:00	2006/7/3 17:50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(17:50頃)自宅のある高層住宅の駐車場で軌道に半ズボン姿で、裸足で倒れていた。心肺停止の状態で見つかり、救急車で搬送。腕や脚など複数箇所骨折が見られた。(病院時)心肺停止状態であり、1時間蘇生処置したが、全く反応なく死亡確認となる。転倒によると思われる外傷があった。 (18:05)死亡確認。
192	B06012472	12	年	女性	意識レベルの低下	2006/7/26 9:30	2006/7/26 10:00 2006/7/27 1:45	○ ○	No	30分	5分 1時間35分	No	発熱持続	Yes	-	-	-	-	No	(7/26 10:00)とうとうと、急に起きる。既に目がキラキラしており、一点を見つめるようで、ぱっと目を見開いていた。のどが苦しくなり、窓の方へ駆け出し、ギューギュー叫んでいた。5分程でおさまったが、一応救急車で運ばれ点滴を打って対応。「苦しんで、息をしても空気が入ってこなくてかわかった」 入院。来院時、意識清明。受け答えもしっかりしていた。その時の様子を患者自身は覚えていないらしいが、ただ「牢牢に飛び出しそうになった」と語っている。 (7/27午前11:45)夜に目を覚まして怖いよ〜、手が上へ動く、怖いよ〜と叫ぶ。怖がって泣く。(午後2:00)カロナール内服。(午後3:00)まだ怖い、どこかに行きそうな感じがするとのこと。(午後3:20)落ち着く。
193	B06024212	12	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/10 昼	2007/2/10 20:00	×	No	-	1~2時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	No	2007/2/10 インフルエンザA型と診断。(昼)インフルエンザA型に対して、タミフル75mg内服。(20:00)意識障害発現(非重篤)。名前、自分の年が言えず、意識レベル3。入院し、点滴(ST3 500mL)にてフォロー。 2007/2/11 (10:00)意識障害回復。意識清明、発熱(4)。 2007/2/12 (10:00)解熱。意識清明に飛び出しそうになったと語っている。 2007/2/14 (11:00)外来にて、かぜ症状のみ。神経学的に異状認めず。
194	B06024534	12	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/22 2007/2/23 朝・夕 朝	2007/2/23 16:00	-	-	-	3時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2007/2/21 (夜)38.5°Cの発熱。 2007/2/22 (午前)インフルエンザA型と診断。A院にてタミフルなど処方。(朝・夕)タミフル75mgずつ内服。(夜)~23日朝にかけて、突然裸になりお風呂と言って踊るなどの行動有り。 2007/2/23 (8:00)タミフル75mg内服。(16:00)母親が目を見詰めた間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。当院へ入院。発熱不明、記憶無、タミフルの副作用の可能性も考えられたが、急性脳症否定できず、ステロイド/バルス療法施行。ICU入院。処置内容：ソル・メドロール1g/日(〜2/25)、マンニトール注20%250mL×3/日、ミラクリッド注5万単位×3/日、ロセファクシムド2g×2/日(〜2/26)、ワコビタール坐剤200mg/日、カロナール300mg/日翌朝当院へ連絡があった。頭部MRI、CT、髄液検査、胸部・頭部・骨盤X線：異常なし前頭部の3Hz wave with notchesが3~5分程持続するのが顕著。 2007/2/24 処置内容：フェノバルビタール60mg×2/日(〜2/26)。その後異常行動が認められたが徐々に消失。 2007/3/2 明らかに後遺症なく退院となる。インフルエンザ回復。
195	B06024909	12	年	男性	異常行動	2007/2/7 12:30、19:00	2007/2/8 2:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/7 インフルエンザ発症(発熱37.8°C(朝)、咳、倦怠感)。(12:30)インフルエンザに対し本剤1カプセル服用。(19:00)タミフル1カプセル、マブール、ムコスタマリ服用。 2007/2/8 (2:00)異常行動発現。外に出て素足で50m程先の駐車場に向かって走り出す。父親が家に入れたが、そのまま2階に走っていき、通っていき窓を開けて飛び降りていった。親に行くと、土の上に着っており、応答はつきりせず。寝ぼけたような様子だった。自家用車にて救急外来受診し、当院へ搬送依頼あり。(3:50)当院救急外来到着。意識レベルJCS-2、ICU入院。外傷は右膝蓋骨骨折のみで頭蓋内出血などはなし。髄液検査：蛋白定量42mg/dL、糖定量66mg/dL、単核球2/3mm ³ 、分葉核球0/3mm ³ 。(10:00)インフルエンザ脳症の可能性も考慮し、ステロイド/バルス療法(ソル・メドロール1000mg/日開始(〜2/10))。(20:30)独語、突然笑い出す、泣き出すなどの症状認められた。 2007/2/9 (8:30)意識レベルJCS-1 2007/2/10 (9:30)意識清明と確認。 2007/2/11 インフルエンザ軽快。アスピリン20mg×3回/日(〜2/14)、ムコスタイン500mg×3回/日(〜2/14)投与開始。 2007/2/16 退院。外来フォローとなる。 2007/3/8 異常行動回復。(15:26)膝のけがのため松葉杖。行動、運動面で特に以前と変化なし。
196	B06025101	12	年	男性	異常行動	2007/2/8 12:00頃	2007/2/8 14:11頃	×	No	-	-	-	-	-	-	-	-	-	No	①幻覚を見て、裸足で外に飛び出した。その後自宅に戻り、「頭がこわれそう」落ち着きなくなり、家中のドアを開けた。自分で電話、最初は117番をかけてしまった。次に110番をかけて警察から連絡がまわり救急車で他院に搬送。点滴により落ち着いて帰宅。 ②寝になると怯えてしまう(目が覚めて眠れない等)就寝後1時間くらいで起き出して、錯乱状態になる。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の家族 歴	光に対 する反 応	他剤に よる 「異常な 行動」の 副作用 歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)
						2007/3/4 3/5~3/6	12:00 ~	2007/3/4	22:00													
197	B06025576	12	年	女性	異常行動	2007/3/4 3/5~3/6	12:00 ~	2007/3/4	22:00	—	—	—	30分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/3 (17:05)38.5℃発熱あり、当院外来受診。翌日再診とした。カロナール200 2T 1×頓服。 2007/3/4 (11:30)再診。エスプラインRインフルエンザA&B-NにてインフルエンザBと 診断。本剤2cap 2×/3T処方。(12:00)タミフル75mg服用。(22:00)突然泣き始め、素足で 土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ。異常行動発現。 約10分程で落ち着き、両親がおさえる。体温37.5℃。 2007/3/5 (朝)本剤服用再開(3/6)。その後異常な行動なし。 2007/3/6 (10:30)当科外来に報告。再診。明らかな異常なし。(11:00)異常行動回復。
198	B06026630	12	年	男性	①転倒 ②異常行動	2007/3/19 2007/3/19	12:00 18:30	2007/3/20 2007/3/20	0:30 21:40	○	Yes	1時間	1回目30分 2回目10分	—	発熱持続	No	Yes	—	No	No	無	急に起き上がり、部屋を歩き回った後、突然2階にかけ上がった。母が追いかけて捕ま えて一度は1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、ベランダへ出、飛び 降りた。家の中に連れ戻したが、まだ興奮状態で暴れていた。飛び降りたことは覚えて いない。翌日21:40、寝ていたところ、急に立ち上がり、「いかなあかん」とベツトから降 り、どこかへ行くとした。看護士と母親で押さえる。医師到着時は本人落ち着いており、 これらは覚えていないと言ふ。
199	B07001302	12	年	女性	①虚驚 ②浮動性めまい ③異常行動	2007/2/23	19:00	2007/2/23	22:30	—	—	—	約10分	Yes	発熱持続	No	—	—	—	No	—	2007/2/22 (夜)37℃台の発熱あり。 2007/2/23 (朝)38℃。(昼)39.7℃の熱あり。解熱剤(詳細不明)を内服したが、解熱せず 当院受診。咳嗽あり。インフルエンザA型と診断。(19:00)タミフル投与(75mg)。(20:00頃) 就寝。(22:30)寝ていて急に起きたが、焦点が合わずウロウロしていて気を失い2階の 階段から転落。この時、全身硬直、振戦する上肢いれん発作(非重篤)が認められ た。意識が10分ほど持続。10分後に他院受診。(23:00)30分後に意識回復し、頭部CT を行ったが、異常はみられず帰宅した。けいれん発作回復。ふらつき(非重篤)発現。ふ らつき、音動がおかしくなる症状は回復。 2007/2/24(朝)当院再受診し、本剤中止。発熱は続いていたが、意識は正常であった。 以後は受診なし。
200	B07001361	12	年	女性	異常行動	2007/3/17	不明	2007/3/17	服用2回目	—	—	—	3分	—	—	—	—	—	—	—	不明	服用2回目で突然立ち上がり、廊下へ飛び出す。わけのわからない事を呼び、暴れる (約3分間)。家族が押さえて止めた。
201	B07001523	12	年	男性	意識変容状態	2006/2/2	16:30	2007/2/2	17:30	—	—	—	17時間	No	発熱持続	No	No	—	No	No	無	2月2日(17:30)両手を拳上し、訳のわからない事を言いながら、こたつの周囲を10回ほ ど回った。その後、紙製のふたを握り締めていた。このため救急車で来院。怒りっぽく 荒々しい言動であった。
202	B07002664	12	年	男性	①うつ病 ②錯乱状態 ③強迫性障害	2007/2/20 2007/2/20	昼前 18:00	2007/2/20	19:00	○	Yes	1時間	Yes	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2月20日(18:00)本剤内服後、1時間眠る。(19:00)起きたときに錯乱状態になり、母が押 ささつる。症状約30分経過回復。 2月21日(朝)37.3℃。起床後すぐ「手洗い」を始める。その後ずっと手を洗い続け、1 日に30回以上「手洗い」をするようになる。 2月24日1日に60回以上「手洗い」し、回りのものに触れようとしくなくなる。 2月27日登校する学校でも「手洗い」が続く。 3月上旬メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。 3月13日ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望強くなり、自宅で見 守らなければならない状態となる。 4月16日(夜)突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。
203	B07011932	12	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6	午前 午後 午前 午後	2007/3/6	1:00~2:00	○	Yes	—	—	Yes	発熱持続	No	—	—	—	—	無	2007/3/4 (夜)発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生剤バ ン200mg/日と下熱頓服を処方。 2007/3/5 (AM9~10時頃)当院受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた薬は終 了。インフルエンザ確定診断実施したところ、FluB診断。タミフル75mg×2回/日(5日 分)、カロナール200mg(2回分)を処方。 2007/3/6 (AM1~2時頃)寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走った。裸 足で飛びように走った。予め今までの副作用の事例を話し一晩に夜間は過ごし、目を 離さないように母親に指示していたため、大事には至らなかった。マンションの8階で玄 関の外に出なくて幸いであった。 2007/03/07 (朝)本人は自分の行動を全く覚えていなかった。インフルエンザ軽快。本剤の内服中 止。
204	B07013228	12	年	男性	異常行動	2006/2/17 2006/2/18		2006/2/17	—	×	Yes	—	—	Yes	—	—	—	—	—	No	無	2006/2/17 (夕)前日よりの発熱(38.1℃)でインフルエンザA+との診断受け、本剤 (75)2c/×5日分、麻黄湯7.5g×3日分の処方出される。帰宅後、本剤を服用し、就寝。 (22:30)気持ち悪いとトイレへ行つた。トイレから出てきてうわ言で「屋上は、 が…」と言つて玄関から出ようとしたのを母親2人がかりで押さえた。 2006/02/18 (8:50)患者家族より処方連絡。上記の件を伝え、本剤中止との指示 が出た。体温は37.2℃。(9:00)患者家族より薬局にもtelあり。経過の情報を受けた。念 のため、本日は患者を見守るよう指導。
205	B07013229	12	年	男性	異常行動	2007/2/1 2007/2/1	10:00 20:45	2007/2/2	2:30	○	—	—	40分	Yes	—	No	No	No	No	No	無	2007/2/1 インフルエンザB型発症。(10:00)本剤75mg内服。(20:45)本剤75mg内服。 鼻症状軽減のため、タベジール1mg×2回/日投与開始(2/4)。 2007/2/2 (2:30)異常行動発現(非重篤)。急に起き上がって服を脱ぎ、部屋の中を歩 き、お茶を飲んだ。母と会話したが、母の言葉を認識してない様子だが、祖母とは会話 できた。ベランダに出て乗り越えようとしたのを母と祖母で止めて室内へ連れ戻した。 体温37.9℃。(3:10)40分ほど再び眠りについた。(5:00)異常行動発現(非重篤)。寝 ている状態でベッドでぐたぐたして話していた。目はグルグル回って変だった。40分く らい続いた。(5:40)40分くらい寝て症状回復。
206	B07013305	12	年	男性	異常行動	2007/3/16		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/16 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。異常行動(走り回る、顔つき がおかしい等)が発現。 不明 異常行動は回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に対 する反 応	他剤によ る「異常 な行 動」の 副作用	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の具体的な 詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言 っているのか？)	
207	B07013374	12	年	女性	異常行動	2007/2/17 夕方	2007/2/17	-	○	-	-	Yes	-	No	-	-	-	-	無	2007/2/17 (夕方型インフルエンザ治療の為、本剤75mg×1日目の投与開始。幻覚、 幻聴が出現(重篤度不明)、異常行動(非重篤)発現。何も持っていないのに1つ持っている と言う。外に出ようとする。一晩中、父親が側についていて、外に出ようとするのを制 止していた。 2007/2/18 (4:00)落ちつく。	
208	B07013380	12	年	男性	異常行動	2007/2/27 10:00 19:00	2007/2/27	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	No	無	2007/2/27 (5:00)体温39.2℃。(10:00)インフルエンザA型治療の為、本剤75mg×1/ 回内服。内服後、不眠行動発現(非重篤)。突然2F階段をはしりおりる。(19:00)夕(本剤 75mg×1/回内服。内服後、やはり不眠状態となり、Familyが押さえつけてFollowする。 朝本剤服用して寝かせるが、3時間半後に起きてきて、親に怒られているという幻覚の ため「ごめんなさい」と何度も繰り返した。夕方にも本剤服用するが、1時間半後に起き てきて、部屋の中をぐるぐる歩き回ったり、うなったりという異常行動を起こした。時間 は特定できないが、ドライバーを持って家を飛び出そうとしたところを家族がとめて いる。	
209	B07013382	12	年	男性	異常行動	2007/3/18 13:00 19:00	2007/3/18	23:50	×	Yes	50分	-	Yes	-	No	-	-	No	無	2007/3/17 39℃の発熱あり。 2007/3/18 (13:00)本剤75mg内服。(19:00)本剤75mg内服。(23:00)40.2℃の発熱、脱水 に對して、カロナール2錠内服。ポタコールR 500mL点滴静注開始。その後種痘。 (23:50)点滴終了し、抜針した所、走り出した(非重篤)。 2007/3/19 異常行動は回復。	
210	B07013388	12	年	男性	異常行動	2007/2/24	2007/2/25	未明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/23 (夜)38℃ 2007/2/24 (朝)39℃の発熱。(来院時)39.4℃、鼻汁あり。インフルエンザBの判定も と、夕方本剤75mg内服。 2007/2/25 (未明)片うろ状態発現(非重篤)。急に起きて、ベッドの上で飛びはねて2階 から下に階段を駆け降りて、下で尿、便を失禁した。	
211	B07015893	12	年	男性	異常行動	2006/02/02 22:00 朝 夕 夕 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2006/02/02 23:00~24:00 5:00~6:00	○	Yes	-	少なくとも1 時間以内	-	-	-	Yes(眠って いて寝ほける ことが多い 児であった)	No	No	No	眠っていて寝 ほけること が多い児であ った	2006/02/02(7:00頃)発熱37℃台。(19:00)発熱39.2℃。(21:00)夜間診察前にてイン フルエンザ陽性のため、本剤75mg×2回/日処方。(22:00頃)タミフル初回内服。(23:00 ~24:00の間閉まっていた自室2階の窓とシャッターを開け、飛び降りた。幸いテラス の屋根があり左腕に怪我はなかった。 2006/02/03(5:00~6:00の間)部屋から一人で出て行くとした。「トイレ？」と尋ねら れ、意味不明の返答。「こちらで寝なさい」と言われ、横になり眠った。体温38.2℃。(午前) 入眠。 2006/02/05 本剤は継続。異常行動の再発はなし。	
212	B08002942	12	年	男性	異常行動	2005/2/19~ 2005/2/23	2005/2/19	昼間	×	No	-	Yes	発熱持続	No	Yes	No	No	No	無	2005/02/19 初診。 咽頭サンプルによるインフルエンザ検査にてインフルエンザウイルス検出されず。 インフルエンザ自覚症状(発熱:38.2度/前日、頭痛、咳、鼻症状、関節痛を認める。 インフルエンザ疑いに対し、本剤 75mg×2/日経口投与開始。 (午前)36.5度 (日中)本剤服用後、日中熱が下がると寝ほけしたような感じになり、「明らかに眼が がってた(母親談)」とのこと。アリのような紫色の気持ち悪い虫が這ってくるのと で、「外に出なくてはならない」、「ベランダへ出ようとする」。異常行動発現。 この症状は1回のみ出現。 2005/02/20 解熱後症状出現なし。異常行動は回復と判断。 2005/02/23 本剤経口投与終了。 2005/02/24 インフルエンザ(疑い) 軽快/回復。	
213	B08024604	12	年	男性	異常行動	2008/12/8	2008/12/8	14:00	○	Yes	1時間15分	5分	Yes	-	No	No	No	No	-	2008/12/08 (12:30頃)昼食後に本剤75mg、ホクナリドライシロップ内服。その後ベッドへ。 (14時頃)異常行動(医師重篤度:非重篤)発現。玄関のドアの閉閉音あり。異常行動 の注意をしていたので目が心配になりベッドを現ると不在。トイレ小便用いない。祖 父と外を捜す。4~5分後祖父が発見。規定で家の外を歩いていた。声をかけたところ、 それまでボーッと歩いて歩いていた本人は裏にへた。この間のことは覚えていない。 その後、A型インフルエンザ、副作用ともに症状が速やかに回復。本剤はその後飲 んでいない。 異常な行動の転帰:回復	
214	B03001038	13	年	女性	幻覚	2003/1/23 1/24~1/27	2003/1/24	-	○	No	-	20~30分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	Yes:ポルタ レン	無	2003/1/23 朝咳あり。(11:00)来院。体温39℃、インフルエンザA型と診断。タミフル 75mg×2回/日処方され、夕方から内服開始。 2003/1/24 (昼)熱は39℃で下痢していた。眠っていて急に起き出し、ベランダに向 かって走り出し、朝に止められた。その時「死ぬんや」と何度も言っていた。(夜)再度 眠っていて、急に起き出し、玄関に向かって走り出し母親に止められた。 2003/1/25 前日と同様の状態が奇声を発していた。母親は熱にうなされたかと理解して いた。 2003/1/26 朝より下熱(36℃)となり前日の様なことはなかった。 2003/1/27 来院時間短縮なし。朝の服用にて本剤服用中止。 2003/2/25 他の疾患にて再度来院。この時もまた2日間ほど。 インフルエンザ治療後数ヶ月たち、発熱のため、ポルタレン坐剤12.5mg使用。本剤内 服後感じた「死にたい」という感情がわずかに出現した(坐剤使用6~7時間後)。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族 歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)
215	B0300982	13	年	男性	①異常行動 ②幻視 ③幻覚	2003/1/21~ 1/22 朝・夕	2003/1/22 2003/1/22 16:00 20:00~21:00	-	-	-	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無	2003/1/20 夜、体温37.4℃、関節痛、頭痛、咽頭痛、咳あり。 2003/1/21 朝、前日の症状が悪化。当院受診。インフルエンザB型の診断。朝日朝タミフル服用。 2003/1/22 朝、38.8℃。本剤服用。二次感染による咳(+++)痰のためクラリス、メジコン、ムコダイン、リン酸コデイン、酸化マグネシウム処方、服薬し休んだ。(16:00)突然夕夕夕夕と2階から降りてきて、持っていた洋服を「これおかしよ」と言い、自分の太腿をたたき、ウサギ股びをした。家族がためめ痛む就寝。(20:00~21:00)ベッド内で「死んじゃうよー」と泣いたり、ベッドから飛び降り、「逆立ちはこうやる」とか「高校受験はこうする」等の言動あり(受診時ではない)。 2003/1/23 朝、すべての薬剤を中止。体温37.8~38.1℃ 2003/1/24 体温36.6~37.3℃。市販の咳止めトローチ使用 2003/1/27 母親が来院。咳(+++)あり、クラリスのみ継続するよう指示。
216	B03009902	13	年	男性	譫妄	2004/1/21 2004/1/22 2004/1/23 2004/1/24 2004/1/25 2004/1/26 18:00 朝・晩 朝・晩 朝・晩 朝・晩	2004/1/21 21:30	-	-	-	30分	Yes	解熱過程	No	-	-	-	No	無	2004/1/21 (18:00)受診。BT39.1℃、咽頭痛、咳あり、血圧104/68、インフルエンザと診断。(19:00)帰宅後、本剤服用。発熱続いていた。(21:30)異常行動出現。家の中を走り回る。階段を駆け上ったり、かけ下りたり。意味不明の奇声。トイレの中でクルクルこまのよう回る。かみつく。救急車要請。救急病院へ。この間30~40分ほどか。(22:10)救急車で救急病院へ。受診時には平穏にもどっていた。体温も平熱にもどっていたとのこと。意識は正常。せん妄状態時の言動については記憶なし。様子観察のため急病(内容不明)、1時間ほど在院して帰宅。 2004/1/22 (朝)平熱。咽頭痛、咳少々。本剤そのまま続行。その他の薬もそのまま続行。 2004/1/24 (11:00)診察。36.4℃、咽頭痛(-)、咳(-)。異常所見なし。診察時、上記エピソード聴取。せん妄と判断。タミフル中止の指示はせず。追加投薬もせず。 (2:30)自宅の2階から飛び降りた。外に雪が積もっており、両下肢が埋まった。自分で出てきて自宅のチャイルドを押して中に入った。母に「おぼけてないよ、おぼけてないよ」とり返し、自分の部屋に戻り入眠した。本人は飛び降りたのは覚えていないが、その理由はわからないとのこと。
217	B05001832	13	年	男性	精神障害	2005/3/16 16:00, 23:00	2005/3/17 2:30	-	No	-	Yes	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	
218	B06022963	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/1/21 朝・夕	2007/1/22 2:00	○	Yes	-	1時間	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/1/21 (9:00)頃発熱、頭痛、咽頭痛、腰痛を訴え、在宅受診。インフルエンザB型と診断。(10:00)38.6℃ 当日午前中帰宅後夕夕夕夕後に、タミフル75mg内服。 2007/1/22 (2:00)頃幻覚、異常行動発現。夜間睡眠中に、自分の身に家人より危害を加えられると思ひ、家を飛び出し知人宅を廻った後、たまたま通りかかった人に頼んで車で警察署に連れて行ってもらった。(3:00)約1時間後回復。 警察で事情を聞かれている間に正気に回復した。幻覚、異常行動回復。(10:00)36.9℃ 2007/1/26 B型インフルエンザ軽快。
219	B06025315	13	年	男性	異常行動	2007/2/28 18:30	2007/2/28 23:05	○	Yes	5時間	5分位	Yes	発熱持続	No	-	-	No	No	無	2007/2/28 発熱を伴う風邪症状で当院受診。インフルエンザBと診断され、タミフル、カロナール細粒を処方される。(18:30)帰宅後、タミフル1cap(75mg)服用。就寝時間不明。起床(時間不明)。(23:05)異常行動発現(非重篤)。覚醒し、トイレへ行くとする。しかし、意味不明な発言をし、叫びながらベランダに向かって歩き出したため家族がとりおさえ、すぐに意識清明となる。(23:20)再度当院受診。体温38.3℃。念のため採血するも異常なし。診察しても明らか異常なし。異常行動軽快。48時間は目を離さないよう伝え帰宅する。 2007/3/1 (0:00)帰宅する。朝には熱さが残っている。 2007/3/2 その後本剤服用せず。異常行動はなし。 2007/3/5 体温:36.0℃。インフルエンザの転帰:軽快・回復。
220	B06026420	13	年	男性	異常行動	2007/3/12 17:30	2007/3/12 20:00くらい	1回目×、2回目○	Yes	-	-	Yes	-	No	No	-	-	No	不明	1回目:大きい石がのっていると言ふ。2回目:尿のわからないことを言う。起きて「線路」と数回叫び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗る。その後、走り回り、母親が、押さえる。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脇が占められたい状態であった。また室内犬を蹴つた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。
221	B07000063	13	年	男性	異常行動	2005/12 追加なし	2005/12/9 追加なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	不明 ワクテン投与。 2005/12 他院にてインフルエンザ治療のため本剤75mg×2/日投与開始。 2005/12/9 2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。異常行動があったため、当院にて診察。 不明 治療後も目が覚めると歩きまわる様になった。 2006/1/4 胸節打撲傷の経歴あり。
222	B07000066	13	年	男性	精神症状	2007/2/23 夕方	2007/2/23 夕食後	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	-	-	-	No	No	譫妄	自室で寝ていたところ、急に起き上がり意味不明な発言。 窓から外へでようとした。発熱で譫妄状態になったことは以前にあり。
223	B07000077	13	年	男性	異常行動	2007/3/13 10:00 22:30	2007/3/14 2:00	○	Yes	-	Yes	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	不明	・突然起きて外出する。 ・受け答えははっきりせず、自分の行動を理解していなかった。2:00 異常行動発現。突然起きて外出。すぐに父親が気づき連れ戻す。その後就寝。異常行動の発現時間は不明。
224	B07000130	13	年	男性	①異常行動 ②幻視	2007/3/15 2007/3/15 2007/3/16 2007/3/16 2007/3/17 2007/3/17 2007/3/18 午前 午後 午前 午後 午前 午後 午前	①2007/3/15 ②2007/3/15 ①14:00 ②20:00	-	No	-	その時のみ	Yes	発熱持続	-	No	No	-	No	無	2007/03/15 (朝)体温:39.3℃。インフルエンザB型治療のため、タミフル75mg×2/日の投与開始。(14:00)異常行動発現。夕食後に屋敷をし、覚醒後「悪い」と言い「ベランダに行き、涼みたい」とベランダに向かって飛びだしそうになったので、母親があわてて止めた。(14:10)異常行動回復。(夕)体温:39.7℃。(20:00)幻視の疑い発現(非重篤)。臥床中、「ゲームの中のように誰かが追いかけてくるので逃げなくては」と言っているとんをかぶった。母親が「大丈夫」と言い安心させたところ安眠した。(20:10)幻視の疑い回復。以降、3/18朝食後まで本剤を続けて服用したが、特に異常行動は見られなかった。 2007/03/19 インフルエンザの転帰:軽快。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な 行動」の 副作用	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
225	B07000272	13	年	男性	異常行動	2007/2/26	2:30	2007/2/26 5:00 7:00	○	Yes	2時間半	数分	No	発熱持続	No	Yes	-	-	Yes	不明 2005/5/10~12 高熱時に解熱剤(カロナール)使用後、異常行動あり(バタバタと暴れて騒ぐとおえがかった)。 2007/2/25 朝より熱発あり。(PM9:30)当院受診。受診者数多数のため、深夜まで院内で待ち。 2007/2/26 (0:00)インフルエンザB型と診断。(AM1:40)タミフル60mg×2回/日処方 け降毛。(2:30)降毛後、タミフル60mg内服し、就寝。(5:00)急に体をおこし、二階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとどめをさし、ことなきを得た。すぐにおきざり、一階へ移動して就寝した。(7:00)再び急に起き上がり、今度は一階の窓から飛び出してしまった。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。(9:25)その後、当院へ電話で問い合わせがあり、内服中止を指示。以後、異常行動は出現せず軽快した。 併用薬のレスレン、ムコダイン、ペリアクテンは発現時未服用。	
226	B07000412	13	年	男性	落ち着きのなさ	2006/7/6 2006/7/7 2007/7/1	夕 朝・夕 朝・夕	2006/7/8	朝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 2007/3/3 インフルエンザ、軽快・回復 2006/7/8 B型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(60mg×2/日 ~ 06/7/7)。 2006/7/8 (朝)寝ぼけて不穏状態となり、2階の部屋から道路に落ちて頭、両膝打撲。不穏状態発現。頭部CTにて後頭蓋骨の骨折、硬膜下に出血あり他院紹介入院(~ 06/7/20)、右膝骨折ギブスシーネ固定。 2006/7/20 当院入院(~06/8/12)。 不明 不穏状態回復。	
227	B07001355	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動 ③譫妄	2007/2/20 2007/2/20	12:30 20:00	2007/2/21	4:30~5:00	Yes	-	5hr	30分	Yes	発熱持続	No	No	-	-	No	無 2月20日(24:00)自室で就寝 2月21日(4:30~5:00)何かに追いかけるような、怖い夢をみていたような恐ろしい思いをした後に、急に自分の両足が何かに触れるのを感じ、その瞬間自分が恐怖にぶら下がり、両足を10cm幅のコンクリート層の突き出し部分に乗せているのに気がついた。両腕を窓枠にかけ、必死に上り登って部屋に入り、両腕の寝室に飛び込んだ。(5:00)父母が就寝中にバタバタという音とともに患児が部屋に入ってきた。「死ぬとやめた。こわかった」とおびえた表情。両親が事情を聞くも飲み込めず、「夢でも見たのだから」と両親の寝室で休ませた。その時母親は昼間の話「興奮、夢遊病」のことかと思つた。 (7:30)夜が明けて患児を観察すると、両前腕に擦り傷、両下腕の付着物、両足底の汚れに気づき、患児に事情を聞く。母親が患児の部屋を見に行くと思いついており、外壁を見ると10cm出っ張ったコンクリート部分に足跡が残っていた。
228	B07001668	13	年	男性	①幻覚 ②異常行動	2007/3/17 2007/3/17	昼 19:00	2007/3/18	4:00	-	-	-	数分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無 3月18日(4:00)就寝していた患者が急に起き上がり、部屋を駆け回る。たんずを開ける。友達がいると言い、友達の名を大声で叫ぶなどの行動をとる。家族が気づきおさえる。数分落ち着きた。熱は39.9℃と高熱。家族が救急車を呼ぼうとするが落ち着いているので様子を見た。
229	B07002055	13	年	男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	服用から3~4 時間後	-	No	-	9時間	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	無 3月2日本剤75mg内服して3~4時間後に「友達がベランダから落ちた」と発言。表情もおかしかった。問いかけに答えられず。そのまま睡眠した。(16:30)歯磨きの場所ですうと声が聞こえたので、急いで行ったら、自分の頭を殴っていた。その後「人を殺した」と発言。他院に電話したところ、本剤は中止するよう言われた。暫くして意識清明となり、おかしな振る舞いを見たり、水分を取ったり。 3月3日(8:30)気分が悪いと言いつづめた。うろたえ苦しうしており、リビングを駆けずり回り、「死にたい」と連呼。救急車を呼ぶ。救急隊到着時、ほっとしている感ではあったが、名前を言えず。こちらの要請に応じていた。 当院救急外来受診後、ラクテック1000mL輸液。その間異常行動なし。意識清明。家族の強い希望あり、入院して経過観察することとなった。
230	B07002997	13	年	女性	①大発作症 ②異常行動	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19	10時頃 夜 朝 夕	2007/3/17	21:30	×	No	-	5分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無 A型インフルエンザにて本剤(OS)の服用歴あり(副作用なし)。 2007/03/17(10:00)来院。B型インフルエンザの診断。帰宅後、本剤75mg内服。この時体温40℃。(昼)何事もなく、ずっと寝ていた。(21:30)夕食を食べると自室より出た。この時体温35.5℃。自室2Fより階段を下り始めたところ、「こわい、こわい」と叫び出し、壁を両手でバタン叩いていた。その直後、意識が無くなり倒れ、両手を曲げ硬直した状態となった後、けいれんを約1分間起こし自然に止まった。5分後には会話に応じるようになったが、「うん、うん」と言う程度。その後は再び自室で寝ていた。「体のどっちが上とどっちが下かわからない」とも言っていた。本剤、夜は睡眠中であったため、服用せず。 2007/03/18(朝)いつもと同じ様に起床。「こわかった」とだけ言っていた。熱なく、元気になっていた。強直間代性けいれん、異常行動回復。朝、本剤の服用は止め、夜のみ服用。
231	B07004039	13	年	男性	譫妄	2007/3/19	午前	2007/3/20	10:00	○	Yes	-	1時間	-	発熱持続	No	No	No	-	No	無 2007/03/18 B型インフルエンザ発症。 2007/03/19 本剤75mg×2回/日投与開始。(PM)体温:39.4℃。(体温測定値に関して、時間は不明) 2007/03/20 (10:00)2階で寝ていたが、急に起きて階段(屋内)の途中から飛び降り、部屋の障子を倒して外へ出て行こうとした。1階にいた祖母が取り押さえた。(10:30)しばらくすると我にかえった。39℃台の体温があった。患者によると思える夢で、何か悪いわけがらいたという気がしたがそうであるが、階段を飛び降りたり障子を倒したりしたこと等は何も覚えていなかった。
232	B07013251	13	年	男性	異常行動	2006/2/1 2006/2/1		2006/2/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無 2006/2/1 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。2回目服用の4時間半後に寝たまま外に飛び出す。本剤の投与を中止。 2006/2/2 異常行動は回復。	
233	B07013256	13	年	男性	幻覚	2006/1/29		2006/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無 2006/1/29 (夕)A型インフルエンザ(体温:39℃)に対して、本剤の投与を開始。本剤服用後に、幻覚(異常行動)が発現。(投与は1回のみ) 2006/1/30 幻覚(異常行動)は回復。 本剤1回内服後に幻覚(異常行動)「家がイヤだと言って家を飛び出した」が現れたが大事に至らず。(1日目:熱39℃、2日目:熱36.7℃)	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠障害 等の既往	睡眠障害 等の家 族歴	光に 対する 反応	他剤による 異常な行 動の副作 用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと 言っているのか？)	
						2006/2/1 夕 朝 夕 夕 朝	2006/2/2 2006/2/2 2006/2/3	2006/02/01	夜遅く														
234	B07021878	13	年	男性	異常行動	2006/2/1 夕 朝 夕 夕 朝	2006/2/2 2006/2/2 2006/2/3	2006/02/01	夜遅く	○	-	-	-	Yes	発熱持続中	Yes	-	-	-	-	No	2006/02/01(午後遅く)夕方、本剤を服用、就寝。夜中突然起き出して、布団の中でぐんぐん走り出し、部屋の中を走り出した。押さえて、少しして落ち着いた。再び眠り、症状は消えた。本人も一部は覚えていたとのこと。翌日から本剤を内服したが、異常行動は起こらず。	
235	B08027727	13	年	男性	異常行動	2008/12/30 ~ 2009/1/2	朝・夕	2009/12/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/12/31 (朝)本剤投与。熱なし。 (昼間)異常行動(医師重篤度：非重篤)発現。押入れに入り、天窓を開けている所を見て何しているかたずねると、「何かあるかな」と思って登ってみたと書いて自分で押入れから出る。 (夕)本剤投与。 2009/01/01 (朝)本剤投与。熱なし。 (昼頃)室内で1回転倒、室外で1回転倒、足捻挫。 (夕)本剤投与。 2009/01/02 異常行動の転帰：回復	
236	B08030608	13	年	男性	異常行動	2009/2/10	-	2009/2/10	夜中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/02/10 他院受診。インフルエンザと診断され本剤処方される。 2009/02/11夜中 夜中に歩きまわった(医師重篤度：非重篤)発現。 2009/02/12 転帰：回復	
237	B05002487	14	年	男性	意識レベルの低下	2005/2/5	16:00	2005/2/5	18:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/2/5 (11:30)発熱、咽頭痛で受診。鼻腔内サンプルでインフルエンザ迅速診断でインフルエンザA型と診断。意識障害、精神症状は無かった。(16:00)タミフル1カプセル服用。(18:00)9階自宅より転落。(23:05)他院にて出血性ショックにより死亡。	
238	B05017753	14	年	女性	譫妄	2005/2/28 2005/3/1 2005/3/1	夕 朝 夕	①2005/3/2 ②2005/3/4	①朝 ②-	-	No	-	-	No	No	No	No	No	No	No	No	①朝より外から誰かが見ている「家の中に知らない人がいる」夕方でサラダを出す「誰が入っている」などの幻覚や被害妄想出現。着いた家中の窓を全て全開にしてまわるなどの異常行動あり。落ち着きがなく家中うろちるため母親が他院に連れていった。小児精神科などいろいろな科を回され精神安定剤の注射をされ、せん妄と診断された。 ②少し落ち着いたが「死にたい」「お母さん私のこと殺すんでしょ」などの自殺念慮発露あり。	
239	B05022381	14	年	男性	①錯乱状態 ②落ち着きのなさ	2004/1/26 2004/1/26	朝 不明	2004/1/26	昼間	-	No	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	Yes	無	タミフル服用後「2匹の鬼に連れかけられる」といつか窓に向かって走り出した(マンションの9階)。錯乱、不穏発現。ガラスは割がけであり、事故にはならなかったが、両親二人がかりで押さえないといけない程の力で覆れた様子。
240	B05024748	14	年	男性	異常行動	2006/2/18	夕方	2006/2/18	24:00	○	-	3時間	約1.5時間	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	No	2006/2/17 インフルエンザ発症。 2006/2/18 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg/日投与。(21:00)自宅で休んでいた。(0:00)2階より飛び降り、両足骨折。異常行動、両足骨折発現。 2006/2/19 (1:40)自宅近くのコンビニエンスストアにバジャマで裸足のまままわっているところを警察に保護される。(2:30)当院救急外来へ搬送。右踵骨骨折、左第5指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚欠損あり。自宅窓は開けておいた下の下のコンクリート部からコンビニエンスストアにかけて血痕が認められていた。ブリーチで輸液開始。なお当院搬送時は意識状態は問題なし。異常行動回復。(4:00)髄液検査施行。頭部CT実施。結果：骨折なし。頭蓋内に急性期外傷性変化なし。明らかな浮腫や脳症を疑う所見を認めない。 2006/2/21 脳波検査実施。異常所見なし。 2006/2/22 頭部MRI実施。結果：明らかな異常所見は認められない。脳実質に信号の異常なし。抗敵強頭面後で有意な高信号なし。impression：異常を認めず。 2006/2/23 インフルエンザ軽快。退院。	
241	B05024963	14	年	男性	①悪心 ②異常行動 ③意識レベルの低下	2006/2/13 2006/2/14	夕 朝	①2006/2/13 ②2006/2/14	①- ②4時間後	×	No	-	-	-	発熱持続	-	No	-	-	-	No	無	2006/2/13 インフルエンザA型のため、タミフル75mg/2日投与開始。 本剤内服後、少し寝たことを言っていたがすぐに治まったので家で様子を見ていた。 2006/2/14 朝本剤内服後、4時間ほどして服を脱いで突然家の外へ飛び出したところ、家族が気づいて連れ戻すエピソードがあった。その後もうつてもできるようなことができない、わからないということが少し続いた。行動障害(重度?)発現。(10:30)家族より今は落ち着いているよとどういふ連絡があり、総合病院を受診するように指示した。 2006/2/15 (夜間に電話して)様子を確認したところ、総合病院を受診して血液検査と脳MRIを撮影したが、今は落ち着いている。入院はせず。 2006/2/24 家に電話して様子を確認したところ、総合病院の検査はいずれも異常なしとのこと。現在に特に異常なし。コカール200mgを合計4錠内服していたことが判明。インフルエンザ軽快。回復。
242	B05025213	14	年	女性	異常行動	2006/1/21	10:30 20:00	2006/1/21	12:00 22:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(他院にて処方)。(10:30)タミフル75mg内服。(12:00)トイレにいきました、目を向いた感じになった(30秒くらい)。その後救急受診。受診時、異常ないため一旦帰宅。(20:00)本剤75mg内服。(22:30)突然起き上がり「母ちゃんめんなさい」と意味不明な発言がみられ、救急受診。受診時に受け答えは正常にできたが、点滴後もフラフラするというため、経過観察のため翌日入院することとした。 2006/1/22 発熱し、インフルエンザ軽快。その後、精神状態も正常であった。 2006/1/24 後日外来で脳波検査予定として、退院。
243	B05025476	14	年	男性	①異常行動 ②意識レベルの低下 ③虚壁	-	-	-	-	-	No	-	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	不明	不明 インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたためタミフル投与開始。(75mg×2日、朝2日間) 不明 異常行動、意識障害、虚壁発現。髄液検査にて細胞数上昇。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の家族 歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように 言っているのか？)		
244	B05025583	14	年	男性	異常行動	2006/2/20 2006/2/21 2006/2/22 2006/2/23 2006/2/24 2006/2/25	2006/2/20	11:00	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2006/2/19 発熱あり。 2006/2/20 (午前中)インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日処方し、ただちに1cap服用。 (11:00頃)2階に寝ていたが、突然階段をどたどたかけ降り、学校へ行かなくちゃと言っ てばんを背負って外へ飛び出そうとした。丁度家人が居り、当人を取り押さえ、今日は 学校に行かなくても良いと言って落ち着かせた。異常行動発現。異常行動の持続時間 不明。 (12:00頃)症状軽快。その後も本剤は処方どおり服用。特に変わったことはなかった。 後で本人に確認したところ記憶が全くないとのことだった。家族は発熱によるものと考 え特に処置はしなかった。 2006/2/25 インフルエンザ軽快し、本剤は朝内服後終了。		
245	B05025723	14	年	男性	①異常行動 ②激越 ③錯乱状態 ④健忘	2006/2/5	夜間	2006/2/5	①未記載 ②夜間2時間 毎 ③夜間 ④夜間	-	No	-	No	Yes	発熱持続	No	Yes	-	No	No	睡眠覚醒	小児時 本剤服用にて異常行動(重篤度不明)発現。異常行動回復。 2006/1/7 39.1℃の発熱にて当院受診。インフルエンザ抗原検査ではA/Bともに陰性 であったが、症状的にインフルエンザが強く疑われたため、シムトレル27/日投与。そ の後は高熱にも関わらず、異常状態との訴えはなかった。 2006/2/5 日中発熱にて休日当番受診。A型インフルエンザと診断され、本剤 (75mg/2cap/日、5日間処方。夜間本剤服用後、興奮状態になり家の中を大声を出して 動き回った。家族が抱きかかえるように抑えつけないといけない状況だった。2時間毎 にこのような興奮状態が出現した。興奮、錯乱状態、健忘症発現。 2006/2/6 正確な時間はわからないが、寝入って状態的に落ち着いたら、本人は全く覚 えてないという事。興奮、錯乱状態、健忘回復。当院受診。母親の話を聞き、本人は 全く覚えておらず、37.4℃まで熱は下がっていたので、本剤服用を中止し様子を見るよ うに指示。その後の連絡は無し。
246	B06024434	14	年	女性	転倒	2007/2/16	昼	2007/2/16	12:46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/15 朝から寒気あり。夜より発熱。 2007/2/16 (9:43)当院受付にいた。受診。体温38.2℃、咳が少し、鼻水が少し、喉の痛 みを訴えていた。診察時、異常な言動はみられず、精神・神経系の異常はなかった。 (10:00頃)インフルエンザB型と診断。タミフル、ユニプロン坐薬、PL顆粒、マーズレンS を処方され、タミフルを内服した(1回内服)。(12:40)自宅マンションより転落のため、他 院に救急要請あり。(12:50)救急隊到着し、心肺停止の状態。(13:03)病院で、心肺蘇生 (挿管を行った)。反応せず。(13:34)死亡確認。警察による検案あり。剖検は同意を得 ず。 <新聞記事からの情報> 2007/2/16 午前中に病院で受診後、母親と一緒に帰宅。本剤を服用して静養していた。 (12:45)自宅マンション敷地内で血を流して倒れているのを発見された。自宅前の道路 の手すり高さ(14m)から1階建物の屋根に転落後、地面に落ちた。母親は出かけた ため、転落当時は一人だった。患者は黒色の上下のスポーツウェア、靴は履いていな かった。患者は全身を強く打ち病院に搬送されたが約1時間後に外傷性ショックで死 亡した。	
247	B06024795	14	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/26	18:30	2007/2/27	1:20	○	-	覚醒後すぐ に発症	No	No	-	Yes	-	-	-	No	無	2007/2/26 朝、受診。38.9℃。「首が痛い」と訴えており、のどが真っ赤であった。クラ スでインフルエンザが流行していると言っていたので、インフルエンザB型と診断。意識 状態についてはわからない。既往症、合併症は未確認。初診ではないため、問診表な し。タミフル75mg×2回/日(6日分)、カロナール200mg12錠(3日分)処方。 2007/2/27 (14:7)救急車にて病院に搬送。受診時心肺停止状態。JCS300。顔面は陥 没骨折、上顎、下顎骨など原形を留めず、マスク換気とともに耳出血が噴出する状 態。四肢も多発性の開放骨折。心肺蘇生を試みるが、全く反応なし。 (2:01)死亡確認。 <新聞記事からの情報> 2007/2/26 (9:30頃)タミフル75mg内服。(18:30頃)タミフル75mg内服。 2007/2/27 自宅マンション11階より飛び降り、転落して死亡した。夜中に目を覚まして 母親を起し、居間で裏を敷もうとしたが、前の服薬から所定の時間がたっており、 服用を見合わせた。(1:20頃)その直後、11階に行くと言って居間を離れ表に出た。 玄関の鍵を外す音が気付いて後を追うと、患者は玄関前の外壁に無言で足をか けて乗り越え、転落したという。頭などを強く打ち、市内の病院に運ばれたが、間もなく 死亡した。
248	B06025006	14	年	男性	異常行動	2007/2/17	17:00	2007/2/17	20:30	-	-	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	1階にいた母が2階が騒がしいことに気付き見に行ったら、患児がコロゼット内に座 り込んでいた。その後走り回ったり、階段の手すりに足をかけたり、顔をかきもするよ うな動作があった。これらの行動が母が行ってから10分程度続いた。救急要請。救急到 着時は意識清明。
249	B06025685	14	年	男性	異常行動	2007/2/25	19:00	2007/2/25	23:00	○	Yes	約4時間後	1時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	無	2007/2/25 23:00トイレに行くかと思っていたら、トイレを通り過ぎ玄関ドアの前で意 識消失し転倒。その後走り回ったり、階段の手すりに足をかけたり、顔をかきもするよ うな動作があった。これらの行動が母が行ってから10分程度続いた。救急要請。救急到 着時は意識清明。
250	B06026126	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/02/23	夕方	2007/02/25	AM3:00頃	○	Yes	-	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	突然起床。家族はトイレに行くかと思っていたら、トイレを通り過ぎ玄関ドアの前で意 識消失し転倒。その後走り回ったり、階段の手すりに足をかけたり、顔をかきもするよ うな動作があった。これらの行動が母が行ってから10分程度続いた。救急要請。救急到 着時は意識清明。
251	B06026444	14	年	男性	異常行動	2007/2/23	19:00	2007/2/23	21:00	×	No	-	3時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	No	無	2007/2/23 (3:00)38.5℃。(16:00)37.5℃。インフルエンザA型と診断。(19:00)夕食後、 タミフル75mg服用。(21:00)「落ちつかない!」外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気 付き、手をつまむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。(24:03)3時間程落ちつ かなかつたが、ようやく就寝できた。 2007/2/24 (7:00)平常に戻る。異常行動回復。37.0℃。インフルエンザ軽快・回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の 既往	睡眠覚 醒等の 家族 歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)
252	B07000123	14	年	男性		2007/1/8 16:00	2007/1/8 16:30 20:00	×	No	—	—	No	発熱持続 中	—	No	No	—	No	No	2007/01/08来院時、体温：39.2℃。 (16:00)A型インフルエンザ治療の為、本剤75mg×1/回内服。 (16:30)異常行動発現。もうろうとして意識がクリア、「俺を殺す気か？」と言った。 (20:00)2Fから降りてきて、再び意識もうろう状態。熱39.0℃ 「死ぬと言うのか？」という言葉に母の呼びかけ「どうしたの」により意識が戻った。そ の後は普通。ご飯食べた。 (22:00)2F寢室で就寝。 (24:00)意識もうろう「何で、何で？」と言いだした。ベッドに戻して、うつ伏せにしたら意 識が戻った。「お母さんがなっているの？」と言った。熱37℃。 2007/01/09 (8:00)熱が下がって普通。 異常行動回復。
253	B07000153	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/3/7 2007/3/7	2007/3/8 6:35	—	—	—	少なくとも2 ～3分以上	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	なし	2007/3/7(10:00頃)学校2時間目頃より発熱。早速し近医受診。インフルエンザB型と 診断。タミフル1回目75mgをすく内服。(18:30)タミフル2回目75mgの内服。 2007/3/8 就寝した時間起きた時間は不明だが、6:35分には起きていた。(6:35)異常 行動、意識障害発現。子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当 該患者がベッドで座位をとり、窓から身を乗り出している様子が発見された。しばらくして 落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排便をしている間に意識消失。2～3分程 度継続。救急車により当院に搬送される。(7:40)当院到着。到着時には、意識は回復 していた。本人にそのときのことを確認すると、苦しい気がしたのうめき声を出した が、窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。異常行動、意識障害 回復。念のため精神科を確保し入院。 2007/3/9 朝より解熱。入院後、異常行動なし。頭部CT検査を行い異常なし。退院とし た。
254	B07000156	14	年	女性	異常行動	2007/3/18 夕方	2007/3/19 2007/3/19	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	2007/3/18 患者は郡活の遠征先で、インフルエンザを発症。(夕方)他院処方により、 本剤75mg投与。 2007/3/19 (夜中・午前)異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。(発現10分後) 異常行動回復。当院受診。
255	B07000162	14	年	女性	異常行動	2007/2/3 2007/2/3 2007/2/4 2007/2/4 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7	2007/2/3 23:00	○	Yes	2時間	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	不明	2006/2/3 (朝)A型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/日)。 (21:00)夕方の本剤75mg内服後、就寝。(23:00頃)突然起き上がり、声を出しながら(内容 は不明)2階の窓より階下へ飛び降りた。この際母親が同室にいたが、突然の行動のため 制止することができなかったとのこと。直後に両親が庭で患児が寝を打撲して、座っ ている状態を確認。ボーッとしている状態であったが、話しかけには返事をしていたと のこと。そのまま就寝させ、翌日には意識は全く清明であった。 2006/2/7 タミフル投与終了。 2006/2/8 インフルエンザ軽快・回復。 2006/2/13 腰痛は特に処置せず、約10日後で軽快した。 2007/3/24 異常行動回復。(医師の転帰確認日)
256	B07000206	14	年	男性	異常行動	2007/3/6 10:30	2007/3/6 14:00	○	Yes	—	2～3分	Yes	発熱持続	Yes	No	No	—	Yes	—	(10:30)本剤75mg投与。(14:00頃)寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆさぶ り歩き回りが、呼びかけには答えず。2～3分で落ち着いた。投与薬剤全て中止。入院 にてST3輸液で経過観察した。(翌日)未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつか せることがあったが、その後はみられなくなった。
257	B07000215	14	年	男性	異常行動	2007/3/* 不明	2007/3/* —	○	—	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	不明	2007/3/18 (8:00)38.2℃。朝、インフルエンザBと診断。(11:00)タミフル75mg×1/日の 投与開始。(20:20)異常行動発現。38.5℃の発熱あり。突然起き上がり室内をかなり激 しく動き回り、よびかけ反応なし(10分)。その後、回復し就寝。 2007/3/20 (1:30)突然覚醒し、2階から1階へおり出て行こうとした。異常行動回復。 (朝)本剤75mg×1/回内服し、以後投与中止。3/21まで発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザの転帰・軽快。
258	B07000218	14	年	男性	異常行動	2007/3/15 2007/3/16	2007/3/16 14:30	○	Yes	1.5hr	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	ズボンをはいていないのに「はいている」という。興奮して「死ぬ・こわい」と叫ぶ。 3月16日13:00から14:30まで就寝。14:30から15:30まで副作用発現した。15:30から18:00 まで、就寝しその後入院。
259	B07000261	14	年	男性	①幻聴 ②異常行動	2007/3/6 不明	2007/3/7 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/3 咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。 2007/3/6 38℃の発熱がありボーっとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、18.4 0当院救急受診。インフルエンザキットにてA型陽性と出たため、十分なインフォームド コンセントの元、本剤5日分とアンヒバを処方。 2007/3/7 (5:00頃)母親から電話があった。当直医が対応したところ、母親が外から呼 んでいるというような幻聴があり、自宅玄関5階から外へ出ようとしたため制止した。 その後の当院受診はなく、転帰は不明。
260	B07000283	14	年	男性	①意識レベルの低下 ②譫妄	2007/3/14 20:00	2007/3/14 23:00	×	No	—	1～2時間	Yes	発熱持続	—	No	No	No	No	No	(23:00)せん妄、もうろう状態発現。 トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。 床の中で不協動作(手をバタバタさせたり起き上がりうろたえたり、物に話さう様な動 作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたら改善した。記憶は定かではなかつ たとのこと。症状回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
261	B07000284	14	年	男性	幻覚	2007/2/14 2007/2/14 2007/2/15 2007/2/15 2007/2/16 2007/2/16 2007/2/17 2007/2/17 2007/2/18 2007/2/18	2007/2/14 23:45	○	Yes	2hr	2~3分	Yes	発熱持続	Yes	Yes	No	No	No	睡眠時遊行 症 (夢中遊行)	8歳頃まで、夢中遊行(Sleep walking)がよくみられた。 10歳頃、インフルエンザA型に罹患した。アマンタジン服用。特に問題はなかった。 2007/2/13 (夕)軽い頭痛、37.6℃、学校で流行中。 2007/2/14 (朝)咳、鼻汁、高熱(39.7℃)、全身倦怠感、B型と診断(今シーズンはインフル エンザワクチン接種は受けていない)。(10:00頃)体温39.7℃。(14:00)タミフル75mg服 用。(21:40)タミフル75mg服用。解熱剤は未。(21:45)就寝。 (23:45)幻覚発現(2~3分間)。本剤服用後、思いつめた表情で起きたし、何か幻覚のよ うなものを見て、小さな声で「助けてー」助けてー、追いかけて来る。皆、いっしょに外に 出る。出ないといけなさいと言ひ、部屋から外に出ようとした。母親が止めようとしたがみ ついたが、すごい力で止めきれそうになかった。父親が顔を平手打ちにすると、表情が 普通に戻り、「僕、外に出ようとしていたの？」と問うた。(23:50頃)幻覚回復。多量に発 汗していた。そのまま眠った。 2007/02/15 (朝)発熱は続いていて、普通の発熱時の表情であった。2峰性の発熱 のみならず、本剤は5日分服用したが、幻覚は4日だけであった。「自分が何 故行動するのか」と不思議に思う気持ちも感じていた。特に映画のような映像はなかつた。 私の「二人の自分がある感覚だっかんか」の問いに「そうです」の答えでした。	
262	B07000306	14	年	男性	異常行動	2007/2/21 9:00	2007/2/21 19:00	-	-	-	1時間以内	Yes	発熱持続	Yes	Yes	-	-	No	No	熱性痙攣	2007/2/20 夜、39.0℃の高熱あり。 2007/2/21 (9:00)本剤75mg服用。本剤を服用しても熱は下がらず高熱が継続。24時 間近く39℃近くであった。(19:00)異常行動発現。 詳細：2階の部屋から階段を勢いよく下りてきて裸足で玄関から飛び出した。家族が気 づいて外を見ると、患者が田んぼを走っていた。その後、国道に飛び出し、通行して いた車輪が突いたことで大車にはさらず発見された。その後、トカーにて自宅まで 送られてきた際には意識はつきりしていたとの事。本人に確認したところ外に出た理 由はまったく覚えておらず、田んぼを走っている内に記憶(意識)が徐々に戻ってきたと の事。その後道路に寝ていた際には記憶は戻っていたらしい。発熱が収まった際には 家の場所も言えた。その後の本剤の服用は中止。カロナール2錠服用し、解熱。異 常行動回復。 2007/02/22 5日間リレンザを処方しインフルエンザは回復。
263	B07002193	14	年	女性	異常行動	2007/3/20 11:30	2007/3/20 14:00	×	-	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	-	No	No	無	3月20日(14:00頃)目の焦点が合わない、叫び声をあげる。壁に頭を打ちつけるという 異常行動(非重篤)あり。すぐに当院再来。再来時は意識清明。採血上もともに異常な し。異常行動時、本人はかすかに記憶あるも、頭を打ちつけることを止めることができ ずかつたこと、1回内服(1cap)したのみでその後は内服中止し、異常行動も認め ていない。異常行動軽快。
264	B07005083	14	年	男性	異常行動	2007/3/13 -	2007/3/13 11:30	○	-	-	6時間	Yes	解熱過程	Yes	No	No	-	-	-	無	2007/3/6 外來、急性上気道炎、咽喉炎、37.8℃の熱あり。インフルエンザ陰性。 2007/3/13 (10:00)39.8℃の熱あり。インフルエンザB型と診断。外來。ソルラクTMR 250 mg投与。本剤、アムピシリン処方。(11:30)自宅にて睡眠時うらわごと。夜、突如起き上 がり、部屋を出ていこうとしたところ、母親+祖母が押さえる。落ち着いたが、急に何かに さびえ出す。 2007/3/14 (11:00)症状は落ち着いていた様子。ソルラクTMR 500 mg投与。イスラマ イン1g、スルピリン 500 mg処方。以後、副作用もなく転帰良好。 2007/3/18 インフルエンザ回復。
265	B07013254	14	年	男性	激越 幻覚	2007/2/14 朝・夕	2007/2/15 1:00	-	-	-	30分	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/14 本剤の投与を開始。興奮(自宅の階段より飛び降りた。けがなし。)が発 現。本剤の投与を中止。 2007/2/15 興奮(自宅の階段より飛び降りた。けがなし。)は回復。
266	B07013399	14	年	男性	異常行動	2007/2/7 -	2007/2/7 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2003/2/7 インフルエンザ治療のため、本剤の内服を開始。服用後、ベッドの周りを走 り回った。
267	B03010203	15	年	男性	妄想	2004/2/4 2004/2/5 2004/2/6 2004/2/6	2004/2/6 -	×	No	-	No	No	解熱過程	-	No	No	-	-	-	無	2004/2/4 38.8℃の発熱が認められ他院受診。インフルエンザA型と診断。(夜)タミフル 内服開始。 2004/2/5 (12:00頃)平熱となったが、「頭が変になった」と言う。 2004/2/6 「記憶が変になった」と訴え、一晩中起きていた。タミフル投与を中止。 2004/2/9 脳神経外科病院受診を紹介受診。頭部CT、脳波検査にて異常は認めず。 2004/2/10 近医精神科を受診時「本来の自分ではない気がする…」と訴えたが、明ら かな幻覚症状は認めず。 2004/2/13 普段と変わらず会話もできるようになり、翌日には学習塾の授業にも出席 した。 2004/2/16 学校へ登校したが、授業中に「世界の平和が役者によって歪められてい る。脳内麻薬が…」と訴え、言動もまとまりなく自宅に帰宅し、近医精神科を受診。 「暗殺されるかもしれない。」と怯えていたため、統合失調症の発症を疑いhaloperidol 3.3mgを筋肉内投与し、入院の必要性も考えられた。 2004/2/17 当院精神科に受診。幻覚妄想を認め、同日医療保護入院。入院時現症： 簡単な会話は出来るが、会話の内容に一貫性に欠け、「僕は精神科医にならなければ いけないような気がする…」と表情を憂えずに話し続け、質問に対して適切な回答は 得られず。易怒性や不機嫌さは認めず。見当識も保たれていた。体温36.9℃で頭部 像所見では異常は認めず、血液・生化学検査はCPK、CRPの軽度上昇が認められ、徐 液傾向はなかった。髄液検査では細胞数が9 μ l/とやや多い以外は異常所見なし、イン フルエンザ抗体価も1倍未満であった。 入院後経過：「神の声が聞こえてくる…」と訴え、病院内を徘徊するため、risperidone 1mgを投与したが、入院日の夜は朝時頃まで自室と看護ステーションを何度も往復 し、妄想の内容を話し続けた。また紙や壁紙に滅裂な内容を記載し、部屋中に記載し た紙を散らした。入院2日目よりrisperidone 3mgに増量したが効果はなかつた。4日目より olanzapine 20mg、levomepromazine 50mgの投与を開始した。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の 既往	睡眠覚 醒等の 家族 歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているか？)	
268	B05001829	15	年	男性	①癲癇 ②不安	2005/3/20	10時過ぎ頃	2005/3/20	11:30	×	No	—	No	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2005/3/20(11:30頃)様い表情で眠り分らないことを言いながら歩き回っているうち、右上肢屈曲硬直、右に傾き立ってられなくなり、家人が支えた。救急隊到着時は全身硬直しており、皆でかかえてストレッチャーに乗せた。病院到着時、38.1℃、ややおどろするが(JCS)麻痺(-)、顔にやや硬直(+)(口を動かしにくい)採血、モニター装着、KNIAIにて採液を開始。頭部CT:異常なし。脳波:異常なし。(24:00頃)37.2℃。不穏となり、眠れないというためモニターはずす。
269	B06024227	15	年	男性	①異常行動 ②嗜眠	2007/2/8 2/9~2/12 2007/2/13	夕 朝・夕 朝	2007/2/13	午前	×	No	—	No	No	解熱後	No	—	—	No	No	2007/2/8 インフルエンザA型治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/日 ~2/13)。2007/2/11 インフルエンザ軽快・回復。 2007/02/13(午前)学校で授業中突然歌を歌う。異常行動発現。目線が定まらず(目線が合わない)早退。帰宅後も嗜眠傾向となり、自宅静養。(JCSでケタ以上というわけではない、JCSはほぼ1) 2007/2/16(午後)症状続くためA病院より紹介。採血、検尿、脳CT異常なし。脳MRI、脳波は途中で興奮して最後まで撮れなかったが、撮れた分は異常なし。観察入院。ソルムム3Aの点滴。 2007/2/17(6:00)自ら抜針し、病院内を興奮して暴れていると報告。父母と相談し、外出一外治とする。 2007/2/19(午前)病院にて脳SPECTの検査を行うが、やはり興奮して不可能。父母への暴力行為もあり。再び外治とする。 2007/2/21 父母に観察の下、登校を開始。 不明 家でテレビをみても10分もすると「疲れた」というなど、集中力低下が主体となった経過の症状が現れてきている。 2007/2/23 総合退院とする(本人が病院に戻りたくないと言っている様子)。家では夜間、父母と共に睡眠したがこれまでは全くなし。父母が外出すると「早く帰ってきて」と携帯電話にかかってくる。(これも今までは全くなし)だし、徐々に集中力や根気は回復しつつあるようである。入試前のテストがあった。 2007/2/26 2/13以降の一連の行動を自覚しはじめ、全く覚えていないと言ふ。この頃より学校の授業を受ける様子が戻ってきて集中力が出てきたと担任より報告あり。 2007/2/28 入試前テストが返却された本人も驚かすほどに低い点数だったこと。2/28~3/1の時点で父母から見ても、全く正常に戻ったと評価している。しばらく、異常行動がみられていたことで、学校で友人に冷たくされていた時期があり、本人もそれに対するショックが今は大きいようだ。父母から確認のMRI、脳波は遠慮したいと申し出あり。
270	B06024378	15	年	男性	①異常行動 ②自殺企図	2007/2/17	昼 22:00	①2007/2/18 ②2007/2/18	1:00 7:40	×	No	—	7時間	—	発熱持続	Yes	No	No	—	No	2007/2/17 学校の保健室より38℃の熱があるので早速送りますが、今日病院に連れて行きますか?と母親へ電話。母親が車まで迎え、その足でA院へ行きインフルエンザと診断。(タミフル)服用。(22:00頃)タミフル服用。 2007/2/18(1:00)悪夢を見た。暴れた(本人より)。しかし両親は暴れた姿を見ていない。目がすわっていた。異常行動発現。(7:30)再度暴れた。玄関のドアを開けようと思ったが開けられず、台所へ行って包丁を持った。流し台の前で包丁の刃を自分に向けている姿を両親が発見した。包丁は足元に落した。家族には自殺行為に見えたとのこと(親を刺そうと思ったから自分に向けられた。ところが記憶ある。全て覚えていない。)(7:40)自殺未遂発現。(7:55)救命車へ電話。(8:05)B病院救急外来に到着。38.7℃。タミフル中止。(8:40)自殺未遂軽快。異常行動軽快。 (時間不明)体温:39.6℃ 2007/2/19 かかりつけのC院来院。体温:38.4℃。
271	B06026296	15	年	女性	①振戦 ②発疹 ③異常行動	2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14	19:00	2007/03/14	21:00	—	—	—	15分	Yes	—	No	No	No	No	No	2007/3/12 初来院時はインフルエンザキットで陰性だったため、プロモックスとPA錠を処方。 2007/3/13 翌日になって熱が下がらず再来院。その際、インフルエンザと診断し本剤75mg×1/日の投与開始。 2007/3/14 (不明)タミフル75mg×1/日投与。(19:00)タミフル75mg×1/日投与。(21:00)夜になり振戦(非重篤)・手の震え(非重篤)が5分続き、その後眠った。起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発疹が発症。 2007/3/15 翌日には全身に発疹がひろがり他院へ紹介し入院になったため、その後の経過は不明。
272	B07000065	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	22:00	2007/3/7	1:00	○	Yes	2時間半	3時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	2007/3/6(10:00)体温:38℃。(11:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤75mg、カロナール坐薬(200mg)投与。(22:00頃)夕食後タミフル75mg投与。(22:30頃)就寝。 2007/3/7(1:00頃)眠っていたが、大声を出し突然起き上がりて大声を出し、部屋中をウロウロ走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現(～2:00)。(2:00~5:00)臥床し多弁。(5:00)就寝。(11:00)覚醒。異常行動回復。本剤投与中止。 2007/3/10 インフルエンザ軽快・回復
273	B07000078	15	年	男性	①幻覚 ②異常行動	①2007/3/15 ②2007/3/16	①13:30 ②10:00	①2007/3/15 ②2007/3/16	17:00 11:30	—	No	—	15分	Yes	—	No	No	No	—	No	3月15日 17:00異常行動発現:トイレに行くといって玄関に歩いていったので家族が止めに入った。その後眠った。3月16日 11:30異常行動が発現:トイレで母親が死んだ、怖い人が来ると大声で叫び頭を打ち倒れる。
274	B07000108	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	19:30	2007/3/7	1:30	—	—	—	数秒	—	—	Yes	No	—	—	No	2007/3/6(17:00)38.7℃。(夕方)他院に来院。インフルエンザA型陽性。タミフル75mg/日投与開始。 (19:30)タミフル75mg服用。 2007/3/7(0:30)母親就寝。このころの患者本人の申告として、「何かに追いつけられている夢を見た」「2階から飛び降りようとした」。(1:30頃)2階からガラスの窓と雨戸を叩いて、再びとどろけり。寝む寝むと隣に意識を失った(患者本人の申告)。(3:30頃)自力で自宅に戻り、家人(同居)に連絡(患者本人の申告)。(6:02)当院に救急で搬送。CT(脳)、レントゲン異常みられず帰宅。幸い2階だったため別状はなく、怪我もほとんどなかったが、一歩間違えれば大惨事になりかねなかった。 2007/3/13 インフルエンザ軽快・回復

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等の既 往	睡眠覚 醒等の家 族歴	光に対 する反 応	他剤による 「異常な行 動」の副 作用	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかと言っているのか？)
275	B07000259	15	年	男性	異常行動	2007/3/2 20:00	2007/3/3 5:00	○	Yes	8時間	4~5時間	No	発熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/2 (午後)受診、熱38℃超でB型インフルエンザとキット診断。(20:00)自宅で、食後に本剤75mg×1/日の投与。 (21:00)就寝。 2007/03/03 (5:00頃)朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの欄を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。『どうしよう！飛び降りんちゃ！(飛び降りない)』など意味不明な言動と挙動不審が1時間続いた。(6:00頃)再度就寝。(8:00)起床。(9:00)熱37.1℃で発熱回復したが異常行動の記憶はほとんど無い状態だった。本剤1回で投与中止。発熱剤等の服薬なし。母親が当院の看護師という事で、9:00意識は回復と判断した)に当院へ連れて来た。(午前中)院内で経過観察した。体温は測定せず。
276	B07001356	15	年	男性	異常行動	2007/3/3 -	2007/3/3 -	-	-	-	No	Yes	-	-	No	No	-	No	無	2007/3/3 インフルエンザA型治療のため、タミフル75mg投与開始。薬を飲まざる。親の目を絞めた。異常行動(非重篤)発現。内服を中止し、経過観察のみ。 2007/03/04 異常行動回復。
277	B07001670	15	年	女性	①意識消失 ②異常行動 ③大発作痙攣	2007/3/19 14:00	2007/3/19 23:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	3月19日(23:00)異常行動(風呂場に行き、浴槽で頭を打ちつける行動)発現。少し出血した。父親が止めに入る。失禁も認められる。意識清明まで、5、6分。その後、直直発作10秒認める。 3月20日(2:30)トイレに行った時に脱力し、意識消失(刺激を与えても反応なし)を起こし、呼びかけに対しては約1分後に回復したが、約10分程度はボーンとした状態。
278	B08006353	15	年	男性	異常行動	2001/2/8~ 2001/2/13 1日2回	2001/2/13 -	×	No	-	13日	No	発熱後	-	-	-	-	-	-	2001/02/08 (タミフル)インフルエンザ症状緩和のため、本剤カプセル75mg、アセトアミノフェン400mg、他剤の服用開始。 2001/02/09 体温38.0℃。 2001/02/10 体温37.0℃。患者は登校できなかった。 2001/02/12 体温は正常範囲に治まったが、睡眠状態は続いていた。 2001/02/13 本剤最終服用後(本剤服用開始6日)、登校。授業中、患者は姿勢よく正しい座り、大きな声で歌い始めた。他の生徒とコミュニケーションをとることはできず、患者の目には彼らが入って見えていなかった。患者はせん妄状態だった。両親が患者を家に連れて帰ったとき、患者は再度嗜眠状態となった。行動には明らかな異常は認められなかったが、患者は学校に戻りたがってはいなかった。 2001/02/17 それから4日後、両親に連れられ、医療機関受診。市立病院を紹介される。タミフルによる異常行動を疑われ、搬送。 家検査、安全血球算定検査、血液化学検査、頭部CT、脳MRI、EEGなど一連の検査で異常は認められなかった。血清アンモニアレベルにも異常はなかった。入院前の診察で患者は「自分のマスクに虫がいる」と言っていた。幻覚が発現していることが疑われた。 入院時、せん妄に特徴的な症状が認められた。患者は静脈を抜き取ろうとし、さなければ家に帰りたいと叫んだ。「ここは病院ではない。老人ホームだ」と言った。主治医は、患者をここに何も置いておかないので、数日間(17-20日)退院させるべきと判断した。 2001/02/19 SPECT検査を受けるため、両親に連れられて病院に戻った。しかし患者は建物に入るのを嫌がった。結局、検査を受けることはできなかったが、患者が興奮したため全ての検査を終了することはできなかった。 2001/02/20 患者は2つめの病院を紹介されることになった。自分の番までじっとしていることができた。病院の外の道で車に轢かれそうになりながら走り回った。 2001/02/22 軽二大きな問題もなかったため、両親に連れられて登校を試みた。 2001/02/23 退院 2001/02/26 26日(月)、27日(火)は登校した。患者の異常行動は、携帯で友人からのメッセージを読んだ後にだけ発現することが分かった。このことを患者自身とても恥ずかしく思っているが、自分が何をしたかを思い出さずにはできなかった。異常行動後、患者は全くの正常状態に戻った。本エピソードは、本剤初回内服から18日間継続した。異常行動回復。
279	B05021030	16	年	男性	激越	2005/12/27 2005/12/28 22:00 朝	2005/12/28 14:30	×	No	-	2hr	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	(14:30頃)鼻と口論。興奮状態となり、弟を「殺す」「自分も死ぬ」「死ぬ」などの発言もあり、弟達が包丁などを全て隠した。その後本人は自宅を飛び出していくも、その後は自ら戻って自宅に戻った。(自宅を飛び出した時のことは憶えている)その後解熱し、精神興奮、異常行動は見られていない。
280	B06025041	16	年	男性	①煩眠 ②異常行動 ③失見当識	2007/2/2~ 不明	2007/2/5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	①表情、目つきがしっかりとしない。動作やや緩慢。ボーっとしている。 ②いきなり立ち上がりボーっとしており、母親を呼びかけると「わからへん」と返事。2階で休んでいきなり起き上がり、階段の電気をつけたが下に降りずにまた消して寝てしまう。普段から食事はそれぞれのおかずをまんべんなく食べるのに、一皿ずつ片付けていくという普段とは違った食べ方をした。 ③学校で自分の席につくなりダウンして、早退を告げずに帰宅。どうやって帰ったのか覚えてない。学校への道順がわからない。
281	B06025191	16	年	男性	譫妄	2007/2/16 昼、不明	2007/2/16 21:45	○	Yes	-	15~20分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	2007/2/14 当院にて姉がインフルエンザB型と診断され、タミフル処方。同居人が高熱を呈した場合、成人であれば本剤を1錠服用して、医療機関受診を指示。 2007/2/16 本人がインフルエンザ症状(39℃近い発熱)が出たため、星塚姉に処方された本剤を1錠服用。(18:00)当院に来院。簡易検査でB型と診断。本剤処方。(21:45頃)意識障害(せん妄状態)非重篤発現(約30分間持続)。(22:00頃)あはれ出すようになったが自宅に入った。せん妄状態にも39℃近かった。(時間不明)倒れていたところを家族が発見。外傷などはなかったが、中2階から転落した様子で本人は記憶なし。まだ熱が出ているので本剤75mg服用。その後就寝。せん妄状態回復。 2007/2/17 本人、母親が来院。ロキソニン等を処方。(熱38.0℃)

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
282	B06025425	16	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/23	夕方	2007/2/23	夜間	○	Yes	-	Yes	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/2/23 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg内服。夜間帯、ホーツとした感じでベランダの方に出て行き帰ってこない。家人が出てみたところ、失踪しており、ベランダ(2F)から飛び降りたものと考え、周辺を捜索した。発見できなかったが、種々な本人が環遊のまま帰宅し事なきを得た。本人はこの間の事を全く記憶していない。
283	B07000240	16	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6 2007/3/7	不明	2007/3/7	8:40	○	Yes	-	10~20分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	2007/3/5 (朝)39.2℃。本剤は投与OKです。(9:20)他院から電話で「A型Flu、39.8℃。本剤は投与OKです。」。タミフル75mg×2/日の投与開始。(9:30)39.8℃。(夜)39.1℃。2007/3/7 (朝)タミフル投与。(8:40)異常行動、せん妄状態発現。暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。(9:00)他院から、「今暴れていて困る」。救急車で当院へ搬送。体温は不明。(9:30)異常行動、せん妄状態回復(帰宅ではない)。(9:00)当院来院。少し、ボンヤリしているが落ち着き、脳波検査。精に右中心部にスバイク、基礎リズムやや不規則(9ヶ月前の脳波より良好であった)。点滴ソリタT3 500mL、ビタミンB、C、セルシン10mg1箇所投与。全く普通になって帰宅。
284	B07003912	16	年	男性	①異常行動 ②疲労	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28	夕	2007/2/24	21:00	-	No	-	Yes	Yes	-	-	-	No	No	2007/02/24 インフルエンザA型と診断。本剤75mg×2回/日処方され、夕方より本剤開始。(21:00)発熱もおさまっていないのに、とにかく走りたくてしかたがない気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。2007/02/27(朝)も下がり、明らかにインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない、寝ていなくてはならないしんどさ(非重篤)が続いた。2007/02/28 朝、本剤内服後投与終了。2007/03/07 食欲はあるのに、とにかく寝ていなくてはならないしんどさは回復した。	
285	B07005448	16	年	男性	異常行動	2006/12/22 2006/12/23 2006/12/23 2006/12/24 2006/12/24 2006/12/25 2006/12/25 2006/12/26 2006/12/26 2006/12/27		2006/12/23	4:00	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	-	-	2006/12/22 (8:00)発熱、倦怠感あり。登校(高校)する。(16:00)午睡から目覚めたら、40℃の発熱あり。(19:00)来院。インフルエンザ確定診断実施。結果：FluB サンプル採取箇所：鼻腔 発症時自覚所見：発熱(40℃)、関節痛、倦怠感 本剤75mg×2回/日処方。夕方より内服開始。2006/12/23 (4:00)急に起き上がり、壁もかす壁開きのまま外へ飛び出す。近くのコンビニへ行くも10分位で帰宅(コンビニは終線道路に面しており、夜間でも交通量がある)。その後再び就寝。(10:00)起床。39℃台の発熱持続。昨夜外出したことは断片的に記憶あり。2006/12/26 インフルエンザ：軽快・回復 2006/12/27 本剤朝内服後投与終了。
286	B08028874	16	年	男性	異常行動	2009/1/26 2009/1/28	午後 午前	2009/2/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/26 基礎疾患(不明)があるため親からの要望で、インフルエンザ治療のため本剤75mg処方。気分が悪かったので翌日の内服中止。2009/01/28 本剤75mg服用。2009/02/01 異常行動発現。大声を出すなど異常行動がみられ近くの内科に入院となったが、階段をのぼったり、9階から階まで降りたりを数回繰り返す症状があり、内科病院では管理ができていないため精神科の病院へ転院治療を受けた。2009/02/21 症状改善した連絡があった。異常行動の転帰：回復	
287	B04007197	17	年	男性	①幻覚 ②下肢骨折	2004/2/2	不明	2004/2/2	夕方	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	-	No	2004/2/2 インフルエンザA型と診断。発症時に認められた自覚所見：発熱、咳嗽。タミフル処方。夕方、自宅2階より道路に飛び降りた為に両下肢骨折す。救急車で入院となる。
288	B04008399	17	年	男性	異常行動	2004/2/5	13:30	2004/2/5	15:45	○	-	1時間45分	-	-	-	-	-	-	-	-	2004/2/3 咳、頭痛発現。2004/2/4 (15:00)39℃。(夕方)受診。体温：39.3℃。インフルエンザ判別テスト陰性、インフルエンザ流行のため、シメトレル、抗生剤など処方。2004/2/5 (午前)発熱、頭痛、咳、鼻汁あるも普通に朝食とれた。午前本院受診。体温：38.6℃。インフルエンザ判別テストA型(+)、B型(-)。点滴中はマンガの本を読む。父が迎えに来た。本剤を昼食後に服用し、シメトレルは中止する旨、本人に伝える。(13:30)父と一緒に昼食をとり、本剤内服。いつもと変化はない。(14:00-)自宅で留守番しながら寝る。2004/2/5 (15:45)突然、素足で裏口から自宅を(雪降っていた)飛び出し、1m以上のコンクリート壁を飛び越え線路を横断し、国道のガードレールを越え、走ってきつたトラックに身を投じた。救急で他院へ搬送されるも胸部外傷によるショック死と診断され
289	B05021111	17	年	男性	妄想	2004/1/22	夕方	2004/1/22	夜	-	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	2004/1/22 A型インフルエンザ治療のため本剤投与開始(150mg/日 ~1/26)。夜、家人を見て「怖い、怖い」とベランダから逃げるような行動をとり、救急外来を受診。発熱妄想と言われ帰宅。CT、EEGは異常なし。妄想発現(非重篤)。2004/01/23 妄想回復。
290	B07000087	17	年	男性	①異常行動 ②自殺企図 ③舌の麻痺	2007/3/20	13:00	2007/3/20	16:00	×	Yes	-	約3.5時間	Yes	-	No	No	No	-	No	・洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分程叫ぶ。 ・その後、リビングを駆け回る、ビョンビョン跳ぶ。 ・「もうダメだ、どうにもならない、外に出ない」と興奮。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か か(就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族 歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)
						2005/11/28 2005/11/29 2005/11/29 2005/11/30 2005/11/30 2005/12/01 2005/12/02 2005/12/02 2005/12/02 2005/12/03	19:00	2005/11/28	21:30													
291	B07004079	17	年	男性	異常行動			2005/11/28	21:30	○	Yes	-	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	No	2005/11/28 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(～05/11/29)夜突然動き回り、ドアやベランダから外に出ようとする。本人に「どうしたのか」と尋ねると「大丈夫」としっかりと口調で答えるし、意識もはっきりしているが、どうしても外に出ようとする。マンション5Fのベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止めたので事なきを得たが、その時口では「大丈夫」と言っていた。 2005/11/29 異常行動回復。
292	B05025437	18	年	男性	異常行動			2006/1/11	10:00、18:30	○	Yes	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	2006/1/10 (夜より発熱。 2006/1/11 (10:00)学校早退し初診。39.1℃。インフルエンザAにて本剤処方。帰宅後タミフル(75mg)内服。 (18:30)タミフル(75mg)内服。(21:00)突然寝ていたが起きた。外に飛び出し15分後に戻る。その間全く記憶なし。異常行動発現。 2006/1/12 (10:00)36.7℃。外来受診。本剤内服中止(本剤以外は続行)。異常行動回復。 2006/1/14 インフルエンザ軽快・回復。
293	B06026848	18	年	女性	①転倒 ②自傷行動			2007/3/23	朝	×	-	-	-	-	解熱過程	Yes	-	-	-	-	-	朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになった。昼頃、2階の窓より飛び降りて胸椎を圧迫骨折。診断は胸椎第一-第二骨折及び頸椎第一-第二-第三圧迫骨折。入院後、母は手首のリストカットの傷に気づいた。
294	B07013137	18	年	男性	異常行動			2007/3/13 2007/3/14	夕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 本剤投与し、外に飛び出る異常行動発現。 2007/3/13 (夕)A型インフルエンザ(体温39.2℃)に対して、本剤の投与を開始。 2007/3/14 家から飛び出していた。本人は何故家から出たかの記憶がない。走って飛び出したのか、歩いて出たのかも不明で、気が付いたら外にいたとの事。本剤の投与を中止。 2007/3/15 解熱し、異常は認めなかった。異常行動は回復。
295	B07013376	18	年	男性	異常行動			-	-	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	No	不明 (夕)B型インフルエンザに対して、本剤75mg内服。本剤初回投与2時間後、異常行動発現(非重篤)。暮れて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。 投与2日目 (夕)本剤75mg内服。本剤2回目投与後も確保されるが、父親が確保。 投与3日目 (朝)本剤75mg内服。本剤3回目投与時には症状は発現しなかった。(夕)本剤75mg内服。本剤3日間服用し、インフルエンザ症状は回復。2回の異常行動について本人の記憶はなかった。
296	B05022154	19	年	男性	①落ち着きのなさ ②激越			2006/1/11	12:30	-	Yes	-	3~4分	Yes	-	No	No	No	No	No	No	突然覚醒し、大声を出し、不穏、興奮状態でドアをこぶして叩き壊し、隣室などをし、デジを断る程だった。この間3~4分間の出走事その後正気に戻り、家人が出血した両手甲部の処置を行い、落ち着いた状況となった。
297	B06005344	19	年	女性	①健忘 ②自傷行動			2006/2/1~ 2/5	朝・夕	×	No	-	5時間以内	Yes	-	No	No	No	No	No	No	インフルエンザ発症時に認められた自他覚所見:発熱(37℃)、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)、倦怠感 2006/2/1 A型インフルエンザ治療のため、タミフル75mg×2/日の投与開始(確定診断未実施)。(午後)受診後、発熱。 2006/2/5 (0:00頃)友人と1時間位電話で話をしたが、電話したことも内容も憶えていない。自傷行為(リストカット(非重篤))、記憶消失(非重篤)が発現。(午前1:00頃)就寝。(午前3:00頃)目覚めると左手首の切り傷に気が付いたが、切ったことも憶えていない。自傷行動(リストカット)、記憶消失は回復。その後再発なし。 2006/2/6 インフルエンザの軽快・回復。
298	B07007066	19	年	男性	異常行動			2007/5/17	20:30	○	Yes	-	-	No	発熱持続	No	-	-	-	-	No	2007/5/16 (昼頃)発熱、咳、鼻汁の症状があった。 2007/5/17 (18:19)当院救急外来受診。その後の検査で、インフルエンザ(A型)と診断。発症時に認められた自他覚所見:発熱37.9℃、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ)(20:30頃)当院で本剤75mg×1/日、カロナール200mg×1/日(発熱時服用)を服用し帰宅した。(21:30頃)夕食となったが、その時すでに食事をこぼしたり、うつろ状態がおかしくなったと姉の弁。異常行動発現。 2007/5/18 (0:30頃)就寝していたが突然起き上がり、大声で叫んだり、わめき騒いだりしたような状態。家族の制止聞かず自室から出ていこうとするような異常行動あり。(1:37)母親の通報で当院に救急車で搬送された。経過観察が必要と判断し即入院となった。(本人は前後の異常行動を全く覚えていない)入院後は経過観察のみ。(19:00)問題なし。退院。異常行動軽快。 2007/5/20 当院外来受診。発熱37.9℃、咽頭痛はあるが、症状は軽快しその後の異常行動はなかった。インフルエンザ軽快・回復。
299	B08028880	19	年	女性	異常行動			2009/1/14 2009/1/15	午後 午前	○	-	-	-	No	解熱過程	No	No	No	No	No	-	2009/01/14 インフルエンザ治療のため本剤75mg投与開始(～2009/01/15)。 躁状態(統合失調症様症状?)発現。気分高揚を自覚。 2009/01/19 「私は死んだほうがいい」とベランダから飛び降りようとする行為(母が制止)や「大学は私が創った」といった誇大な妄想や人物誤認などがあつた。 2009/01/20 当院入院中で、薬物療法を継続中。 不明 躁状態(統合失調症様症状?)の軽快・不明

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、 ×)	覚醒後 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚醒 等の家族 歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたと云っているか？)
						2006/01/21 1/22～25 1/26	夕 朝・夕 朝	2006/01/22 2006/01/23 2006/01/24 2006/01/25 2006/01/26	—													
300	B05023219	20	年	男性	躁病	2006/01/21 1/22～25 1/26	夕 朝・夕 朝	2006/01/22 2006/01/23 2006/01/24 2006/01/25 2006/01/26	—	—	—	No	No	—	解熱過程	Yes	No	No	—	No	躁うつ病の家族 歴	1/22、23、夜、全く眠くならず、ゲームが楽しくて仕方がなかった。寝ようとしてもワソワソして寝付けなかった。 1/24：攻撃的に、家人に暴言を吐いた。 1/25：悪い立って親戚の家に出掛けたり、歩き回ったりした。色々な考えが頭の中をぐるぐる回っている感じがした。漫画の内容も頭に入ってこなかった。 1/26：株を買おうと思い立ち、銀行に行ったら話が通じなかった。
301	B06022861	20	年	男性	①異常行動 ②過換気	2007/2/4	—	2007/2/5	1:52	×	No	—	5時間	Yes	解熱過程	No	—	—	—	No	不明	2007/2/4 (11:25)救急外来受診。昨日より鼻汁が出た。本日起床時より、悪寒、関節痛が出現。BT:38.8℃、鼻汁(+)、咳嗽(-)、頭痛(+)、頸部リンパ節腫脹(-)。インフルエンザA型治療の為、タミフル75mg×1日投与開始。 2007/2/5 (1:52)異常行動、過換気発症(非重篤)。寝ようとしたら急に不安になって、叫び出したため救急外来受診。意識がなくなり立ち動いている状態、右手のしびれがある他は神経学的所見(-)。BP:166/66、BT:35.9℃、paper bagにて加温。(7:00)約5時間睡眠後、症状落ち着いた。異常行動軽快、過換気症候群回復。安定剤希望。カムダン錠0.4mg 1T 1回分。(8:58)症状落ち着いた。咽頭発赤(-)、心音、呼吸音正常。 CRP定量:6.8、WBC:97.1×10 ² /μL、本剤は中止。カロナール錠200mg 2T 1×頓4回分処方。
302	B07013249	20	年	女性	譫妄 異常行動	2007/4/2	16:40	2007/4/2	服用後、数 時間	—	—	—	—	—	発熱持続	—	—	—	—	—	無	2007/4/2 16:30頃 母親が来局。患者は高熱(39.5℃)のため車の中にいた。A型インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。帰宅後すぐに夕方の分として本剤とカロナールの服用を指示。16:40頃には服用したと考えられる。服用後、数時間であつこと、フラフラと無意識に歩行。(この段階では高熱状態継続) 2007/4/3 母親、患者の判断より、本剤の投与を中止。熱はほぼ平熱に低下。本剤、カロナール以外の薬を投与継続。午前中に、処方医受診。昨晩の症状・行動について連絡。セファンカプセル100mg3p、3×ndE 4T処方追加となる。異常行動は回復。 2007/4/9 インフルエンザ完治を確認。
303	B07003477	23	年	男性	異常行動	2007/1/24	—	2007/1/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	統合失調症 (疑い)	他院にて処方(クレミン(25)、リスパダール(2)、アキネトン(1)、ベクタミン、ベンザリン(10)、チグレート、ロヒプノール(2)) 2004/01/24 (午前中)高熱38℃(インフルエンザ)にて当院来院。インフルエンザ検査にて、A型インフルエンザと診断。シメトリル2T 2×3T、ムコソルボン、フロモックス、ムコソルボン、カロナール(服用10T 1T/回)処方。精神病棟を退院している。シメトリルから本剤に変更する(精神神経症状について十分な説明の後、本剤1cap服用するように指導され処方する) 帰宅し本剤75mg×1回服用後、自宅マンション6階から飛び降りる。患者は一命を取り留めるが、現在身体障害者となっている。 【患者情報】もともと熱を出すタイプで、異常行動を起こす前にもめまい等起こしている。
304	B07013331	23	年	男性	異常行動	2007/2/10	—	2007/2/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/2/10 インフルエンザ陽性に対して、本剤の投与を開始。投与開始後5～6時間後(夕方)に急に玄関に飛び出し、玄関前にてぼーっと立ってぼんやりしている所を親が発見した。その後意識は回復した。患者はその事を覚えていないとのこと。
305	B07003186	24	年	女性	①異常行動 ②感情不安定	2007/4/17 2007/4/18	朝 夕	2007/4/18	23:00	—	No	—	2-3時間くら い	Yes	解熱過程	Yes	No	—	—	No	不明	4月18日(23:00)異常行動、感情失禁発現。 吐き気あり。気分が高揚し、走り出したい気分となり、何をみても笑いが止まらない状態となった。自刺しようとする意図もあるが、走り出したい自分を止められず(自覚症状あり)、部屋の中で寝ていたが、1階に下りて母親に「助けて」と訴える。 4月19日(0:00)母親に連れられて来院。その後、大声で笑いがとまらない。そのうち笑いが止まらないことに対して泣き始めた(1:30まで)。見当識障害多少あり(なぜ救急車にきたかわからない)。入院。入院後も泣き続けていた。 (6:00)ほぼ元通りの人格に戻った。
306	B06025316	26	年	男性	自殺企図	2006/1/20	—	2006/1/20 2006/1/21	23:30～ 24:30 夜中	○	Yes	約2時間後	—	No	発熱持続	Yes	No	No	—	No	無	2006/1/20 インフルエンザ治療の為、タミフル75mg×2/日処方。(0:00)38℃にてボルタレン坐剤使用(本院処方ではない本人手持ち)。タミフル75mg服用後(1回目)、異常行動(自殺企図)発現。夜半に起床し玄関をでて、マンションの渡り廊下(雑音3F)に登ろうとしたため、患者の奥様が止めたところ、向かへに連れ戻された様子でお前申し訳ない、死んでから謝ろうと思っ、という言葉を発言。異常行動は10分程度回復。落ちついてから行動を正すと、自分が行った行動の記憶があるとの事。当時不安になるような心当たりは全く無し。(9:00)36.6℃ 2006/1/21 約2時間後に再び異常行動。程度は不明。持続時間は10分程度。
307	B03001089	28	年	男性	気分変動	2003/1/3	20:00	2003/1/3	20:10	×	No	—	2～3時間	Yes	—	Yes	—	—	—	No	無	2003/1/03 体温:39.5℃。咳、咽頭痛、下痢症状あり。精神状態は特に異常なし。インフルエンザAと診断。(20時頃) タミフル75mg 1Cap、ケラリカド(200mg ゲーセン)(10mg)1Tab、タマックE 1Kap ヒオフェシドR 2Tab、服用。(20時10分頃)気分変動あり、頭の血管が切れそうな感じ。何をするか分からない(例えば対物を振り回すかも知れない)感じがして、妻子に遠くに連れて行かされたと言った。玄関の辺りで、トクをたたいたらしいのだが、その後倒れていたの模様。妻が行った時、眼は開いており返事もした。この頃、頼んでいた救急車が来て他院へ搬送。到着時はかなり落ち着いた。輸液などうけて、1時間後には帰宅。(他院における追跡調査不可能。以上は翌4日に電話連絡時の話)その後、症状回復。以後の本剤投与は中止。
308	B07001666	30	年	男性	異常行動	2007/3/28 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/31 2007/4/1	—	2007/3/31	午後	○	Yes	—	No	—	—	No	No	No	—	No	無	3月28日本剤投与開始。 3月31日(午後)寝ていきなり起き上がり、包丁を持つ。 4月1日(午後)寝ていきなり飛び起きて、外に出て道端に飛び出した。以後もボーとした感じが続き、夕食後のタミフルから内服中止とした。インフルエンザ軽快。 4月2日以後徐々に意識清明となった。 4月3日異常行動回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じゃない:×)	覚醒後 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に対 する反 応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか?)		
309	B06025192	32	年	男性	異常行動	2007/2/22 20:00	2007/2/22 24:00	○	-	3時間後	行動直後	Yes	-	Yes	Yes	-	-	No	無	2007/2/22 (16:00)発熱のため、当院受診。インフルエンザA型と診断。タミフル75mg2cap、分2、5日間処方。(20:00)タミフル75mg服用。発熱著明。(21:00)就寝。(0:00)何も言えない様な気持ち、動悸等があり、不穏状態となる。ベランダのある隣室に行き、電燈を消し、窓と入り口の間を行きつ戻りつして、結局、ベランダに出て地上に落下。(錯乱状態になり、自宅の2階から飛び降りて足を骨折この間、気分意識あるも制御できず、転落後意識清明となり、救急病院を受診。左足根骨骨折あり入院となった。入院後意識清明、不穏行動なし。 入院時には高熱はなかったと聞いた。発熱時から内服薬として処方したロキソニン服用したかどうかは不明。この日家族はいなかった。 2007/2/23 (0:27)骨折のため他院へ。その際意識もはっきりして、体温も36℃台であったと当日当直の医師談。 2007/2/27 右足骨折、手の怪我のため、整形外科で手術。 2007/3/01 入院中。意識レベルは正常。異常行動回復。 2007/3/6 手術。 2007/03/14 退院。		
310	B06026629	32	年	女性	①眼痛 ②健忘 ③頭痛 ④関節痛 ⑤脱毛症 ⑥意識消失	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13	10:00 19:00 朝	2007/3/12	22:00~翌 8:00	○	Yes	-	3時間	Yes	-	No	No	No	Yes	無	2007/3/3 親戚のインフルエンザ陽性の子供と接触。 2007/3/8 頭痛、鼻水、咳等の症状始まっている。 2007/3/11 発熱38.5℃。市販のツムラ葛根湯液服用。 2007/3/12 当院初診。受診時症状:全身倦怠、全身痛、関節痛、食欲不振、体温37.1℃。インフルエンザA型と診断。点滴/ソリタ3 200mL+VC500mg+オペロン1A+ビタファン2511+リソニン200mg。(10:00)点滴終了後、タミフル1カプセル服用。(17:00~21:00)就寝。(19:00)タミフル1カプセル服用。 (22:00)目覚めて、次に気がついた時はトイレに坐っていた。フロンからトイレに行った間の行動の自覚なし(無意識様)、意識消失または一過性健忘発現。その後、ほぼ3時間毎に目覚めた(3回)が、これらは全部行動がわかっていた。 2007/3/13 (8:00)頃意識消失または一過性健忘回復。本剤服用。起床時より右足関節部が歩けないくらい痛んだ。足関節痛(非重篤)発現。その後、強い頭痛(動かすとがらつく、非重篤)、嘔吐(非重篤)、フラフラする感覚があり、この症状は1日中続いたので夕方のタミフルは服用せず。(20:00)頃夜になって入浴した時、異常な脱毛(通常よりも多いと感じた)を認めた。しかし初診時の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/14 (20:00)視脱毛軽快。 2007/3/15 頭痛(非重篤)、眼痛(非重篤)軽快。 2007/3 その後、右足関節痛続くので整形外科受診するも骨X線異常なし。 2007/3/9 脱毛症状なし、神経症状等なし。足関節痛のみは特に朝方強く感じる。足関節痛(非重篤)未回復。インフルエンザ軽快・回復。	
311	B07013314	32	年	女性	幻覚	2007/3/30 2007/4/1	2007/3/30 夜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/3/30 インフルエンザに対して(体温39~40℃)で、本剤75mgを内服開始。 2007/3/30 (夜)幻覚がみられた。(階段をけり下りる。) 2007/4/1 口内炎が発現。 2007/4/1 本剤の投与を中止。 2007/4/5 幻覚は回復、口内炎は軽快した。		
312	B03000831	35	年	女性	①知覚過敏 ②不安 ③不眠症 ④激越 ⑤幻覚	2003/1/21 ~1/22	-	-	-	-	-	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2003/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル150mg/日(分2)を朝より投与開始。 2003/1/23 (0:00)不眠、不安が発現し来院。夜の服用にて本剤投与中止。 2003/1/24 (10:00) 幻覚が発現。家族を困らせた。来院日中も興奮状態。アロファルム5mg就寝前投与開始。 2003/1/26 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消退。 2003/1/31 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は回復。 2003/02/06 アロファルム投与終了。		
313	B06026663	40	年	女性	不思議の国のアリス 症候群	①2007/3/15 ②2007/3/15 ③2007/3/16 ④2007/3/16 ⑤2007/3/17	①17:00 ②9:30 ③17:00 ④9:30	2007/3/15	①投与後比 較的早く ②18:00	×	No	-	30~50分	No	Yes	No	No	No	-	ウイルス性脳 炎	2007/3/14 高熱、関節痛にて発症。インフルエンザB型と診断。 2007/3/15 (17:00)自宅に帰りタミフル75mg×1/回服用。(18:00)投与後比較的早く浮遊感「とても気分がよい感じ」が出現。多幸感を伴っていた。このためウキウキして室内を歩いていたところ「鳥が見えた」(幻視)。これに誘われるように4Fベランダ(患者宅はワンルーム)に出て下を見とところ、「地面がともてんに見えた」(遠近障害)。これら一連の異常行動は不思議の国のアリス症候群に至る。夫にみとがめられ床中に戻され事なきを得た。(22:00)就寝。(翌日9:00起床) 2007/3/16 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。(17:00)タミフル75mg×1/回投与。不思議の国のアリス症候群回復。 (22:00)就寝。(翌日9:00起床) 2007/3/17 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。症状軽快。本剤中止。 2007/3/21 インフルエンザ回復。 2007/3/24 当院にこの件が報告され、デンカ生研製インフルエンザCF法(B)にて16倍の抗体価を得た。	
314	B06026707	45	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1	18:00 23:00 不明 不明 昼 夜 朝	2007/2/28	-	×	No	-	-	-	解熱後	No	No	No	-	No	不明	2007/2/26 37.6℃の発熱にて来院。A型インフルエンザの診断にて本剤75mg×2回/日処方。(18:00)夕食後、タミフル内服。 (23:00)タミフル内服。 2007/2/27 朝、36.7℃に熱は下がり回復に向かう。夜、気分が高揚し、早口の自分に気づく。夜は寝付けなかった。 2007/2/28 歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでるのに気づく。また、踏切の遮断機がおりているのに気づかず、踏切板が頭にあたって恐怖を感じる。意識障害発現。昼夜、本剤服用。 2007/3/1 朝、本剤服用。現在、若干気分は異和感を感じる。症状は声がれと鼻水のみ。本剤中止を指示。患者は、なぜ本剤で自殺するのか、今の自分はなんとなくわかると言っていた。 不明 意識障害回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)
						2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/20	2007/3/20 2007/3/21	①朝 ②午後 ③夜～朝 ④9:40	2007/3/20 ～3/21 ④2007/3/21													
315	B07000244	48	年	女性	錯乱状態	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/20	—	①② 2007/3/20 ③2007/3/20 ～3/21 ④2007/3/21	—	—	—	No	No	解熱過程	Yes	—	—	—	—	—	無	①何事も外出しようとする。 ②訳のわからないことを言う。 ③言動が著しく異常。朝頃動けなくなり、寝たままで大声で意味不明なことを話す。 ④錯乱状態。立てない、失禁あり。呼びかけに返事するが、すぐに大声で話始める。水分を取れない。
316	B06004486	49	年	男性	死亡	2006/2/17 2006/2/18 2006/2/19 2006/2/20 2006/2/21 (19日の夜は 不明)	夜 朝 夜 朝	2006/2/19	20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2003/7 期外収縮、突発性心房細動にて当院循環器科を受診しており、アスピリン、 バイアスピリンを投与されていた。 2006/2/17 (18:20発症、39℃の発熱、眩、鼻症状、関節痛、倦怠感を伴いタミフル 75mg×2/日を投与(～2/19)、不安、精神神経系の症状はみられなかった。2/20に子供 がインフルエンザAに罹患している為、インフルエンザAだったと推定される(確定診断 はしていない)。 2006/2/19 (20時頃)家人に気づかれない様車で外出した。 2006/2/20 捜索願いを警察に出される。自宅より30km離れた海の岸壁で車を発見。 人が船に落ちた形跡があった。 2006/4/28 海中より死亡した本人が発見された。
317	B06026847	49	年	男性	自殺企図	2007/02	—	2007/02	処方1週間 後	○	Yes	—	No	Yes	解熱過程	No	Yes	No	No	No	(頭動脈血圧 症)	2007/2/14 インフルエンザ予防のため、本剤75mg×2回/日処方。 2007/3/8 夜中に飲酒。 2007/3/9 (6:00頃)自殺企図、首をつろうとしていたのを家族が発見。頭動脈血圧を治 したばかりで、自殺するとは考えにくい。自殺前に本剤内服していたかは不明。現在、 精神科に入院中。
318	B05025724	51	年	男性	①自殺既遂 ②精神症状	2006/3/7	19:00	①2006/3/8 ②本剤内服前	①6:30 ②未記載	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①・②無	不明 本剤投与。精神症状の疑い発現。 2006/3/1 救急外来に来院。前投与後遺症(陣发性肺結核)に伴う慢性呼吸不全に感 冒を合併したため、観察・検査療法目的で入院。体温:38.1℃、血圧:120/82mmHg、脈 拍:149/分、呼吸:40/分、SpO2:96%、インフルエンザテスト(-) 2006/3/6 体温:38.1℃、インフルエンザテスト(-) 2006/3/7 経過は良好であったが、院内でインフルエンザに感染。(18:00頃)両下肢の しびれ感などの合併があり、将来の健康に関して全般的不安を訴えていた。(19:00頃) 体温:39.2℃、鼻粘膜の迅速検査でインフルエンザA陽性確認。 発症時自覚症状(発熱(39.2℃)、咳、倦怠感、食欲不振)、タミフル75mg、ナシ600mg 内服。(22:00)体温:37.3℃ 2006/03/08 (5:00)生存を確認。(6:30)病床不在を確認。自殺目的で4階自病室前のペ ランダから飛び降りた。(7:39)自病室前の路上に倒れているのを発見されたが、死亡し ていた。自室のノートに遺書あり。
319	B07000264	51	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/6	夕	2007/2/6 2007/2/7	19:30 2:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	2007/2/6 (9:30)頭痛で当院受診。インフルエンザ検査(-)。タミフル、プレジック、グロリ アミン投与。受診後、出張。(昼)タミフル75mg、プレジックIT服用。(夕方)40℃程の発熱 により、タミフル75mg、プレジックIT服用。(19:30)しゃべりにくくなり、また身体が痛く動けな くなる。意識障害発現。 2007/2/7 (2:00)同様の車でB病院に受診。インフルエンザ検査(-)。以後本剤服用せ ず。同様の車でB病院からC病院へ転院を試みる。移動中に車から道路に出ようとし、 危険だったのでB病院へ戻る。異常行動発現。(朝)救急車でB病院からC病院へ出発。 (11:50)C病院到着。到着時、患者は言葉にならず、点滴を外そうとして意識は普通で はなかった。不穏状態。JCS3。入院。 2007/2/8 (朝)意識レベル改善。 2007/2/24 意識障害回復。
320	B07000076	54	年	男性	①嚔妄 ②腎不全 ③異常行動	2007/3/22 2007/3/24	15:00 朝	2007/3/22 2007/3/24	夜 朝	×	Yes	—	30分	No	発熱持続	No	No	No	No	No	無	尿・便失禁後、便の上に座ったりベッドの上に立つ等の行動。
321	B08027574	55	年	女性	意識消失	2009/1/8	1日2回	2009/1/9	7:00	×	—	—	—	—	—	No	—	—	—	—	—	2009/01/08 (11:30) 当院受診。インフルエンザ(A)と診断。本剤75mg×2回/日処方。ボタコール250mL、ネ オラムスリービー、ムコダイン250mg、ダーゼン10mg、ムコスタ100mg、イソジンガー グル投与。 (14:00頃)本剤75mg内服。 (就寝前)本剤75mg内服。 2009/01/09 (7:00頃)意識消失発現。朝食準備中意識消失あり。気がつくつと床に倒れていた。その 後、勝手口まで歩き再び意識消失し、地面に倒れた。顔面打撲あり。勝手口まで歩い た記憶もない。本剤中止。 2009/01/10 服用中止後、再発なし。 意識消失の経緯:回復
322	B05020017	56	年	男性	精神症状	2005/2/18～ 2/21	1日2回	2005/2/21	服用から2hr 後	—	No	—	—	Yes	解熱後	Yes	No	—	No	No	不明	2005/2/18 インフルエンザ治療のためタミフル投与開始。(150mg/日～2/21) 2005/2/21 服用後2時間後に突然うら状態になり自殺したくなる。窓から飛び降りた くなる衝動にかられたが、子供のことを考えとどまる。(精神症状発現) 2005/02/22 精神症状回復したが、恐ろしくなり本剤を自発的に中止。
323	B05024386	58	年	男性	①意識レベルの低下 ②呼吸困難	2006/01/28 2006/01/28 2006/01/29	夕食後 就寝前 不明	2006/01/29	AM5:00	—	—	—	—	—	—	No	—	—	—	—	無	2006/1/28 近頃にてインフルエンザA型の診断を受け、本剤を処方。夕食後と寝る前 に1capずつ内服。 2006/1/29 (3:00)本人の記憶あり。(5:00)呼吸音出現。家人が声をかけたが、振り払い られたため当院救急外来へ搬送。意識障害発現(非重篤)。(6:45)当院救急外来受 診。来院後、意識が戻りそこから記憶があり。処置を行い経過観察目的で入院。以後 は本剤を中止し、経過観察。意識レベルは問題なく、呼吸音も消失。炎症反応も回復し た。 2006/1/30 (午前)意識障害回復。意識レベル問題なし。その後も意識障害発現なし。 2006/2/1 インフルエンザ軽快。 2006/2/3 軽快退院。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記性	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたと言っているのか？)
						2007/3/12 2007/3/12	13:00 19:00	2007/3/13	7:00													
324	B07000263	58	年	男性	悪寒変容状態 悪寒	2007/3/12 2007/3/12	13:00 19:00	2007/3/13	7:00	×	Yes	-	20時間	No	解熱過程	No	-	-	-	No	無	
325	B06025002	59	年	男性	異常行動	2007/2/14	-	2007/2/14	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	不明	2007/2/14 インフルエンザ治療のため、他院で処方されたタミフル投与開始(75mg×2日)、異常行動発現。本人に記憶はないが、患者の家族から見ると明らかに異常な行動を示していた。本剤投与中止。 2007/2/19 症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。
326	B07019905	60	年	女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タミフル服用後、睡眠中に目の前が真っ赤になり、火事だと思い家から飛び出した。また、菊の花が見えて、それを取ろうとすると花が前にすすんで取れない。このような状況で怖くなり、なるべく寝ないようにしていた。異常行動発現。
327	B07018337	61	年	女性	異常行動	2007/4/2	-	2007/04/02	不明	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/04/02 関節痛、鼻炎症状、発熱のため受診。 A型インフルエンザと診断。本剤 2T/day x 3日処方。 本剤1錠服用後、数時間(正確な時間は不明)経過したとき、横断歩道にて待機中、信号は赤であるにも関わらず、ふわっとした感じで飛び出してしまいそうになった。車のクラクションを鳴らされ、無事であった。その後は服用せず。
328	B08028415	61	年	女性	異常行動	2009/1/16~ 2009/1/19	1日2回	2009/1/16	-	○	-	-	Yes	発熱持続	No	-	-	-	-	-	-	2009/01/16 当院受診。インフルエンザ確定診断実施。インフルエンザ抗原Aが検出され、本剤 75mg×2回/日投与(～2009/01/19)。 (本剤服用後30分～1時間後)精神障害(医師重篤度：非重篤)、行動異常(医師重篤 度：非重篤)発現。おむつしている状態から起き出し、歩きまわる、ぶつぶつ一人言を 言った。手で腹をたたきながら歌ったりする。 (昼間)同様なことがある。 (約5時間後)副作用は消える。平熱時に本剤を服用しても同様の症状が現れる。本人 の自覚はじっとしていらなくなるなど。また、熱いので窓を開けて外を見たら5、4階に 住んでいるのに芝生が1階に住んでいるように上昇して見えた。 2009/01/19 精神障害の転帰：回復 行動異常の転帰：回復
329	B08028146	62	年	女性	異常行動	2009/1/20	-	2009/1/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/20 他院受診。インフルエンザと診断。本剤処方 2009/01/22 (夜)異常行動(医師重篤度：不明)発現。知らない間に歩き回った(隣のマンションに いた)。 異常行動の転帰：不明
330	B06025118	64	年	男性	精神状態変化	2006/2/17 2/18~2/19	夕 朝・夕	2006/2/18	日中	-	-	-	No	No	-	Yes	-	-	-	No	自殺企図	(2006/2/18)日中、ぼんやりして立ちつくす。反応が鈍い。 夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 (2006/2/24)落ち着かない様子あり。 (2006/2/26)「死にたい」、「殺してくれ」と言い、落ち着かない。 (2006/3/1)午前体調不良を訴える。ホーとしていたが、落ち着かない。 (2006/3/1 17:00過ぎ)近所の家の玄関に灯油をまき、自殺するつもりで、マッチで火を つけた。すぐに消火され、ボヤで済んだ。 (2007/3/2)現在、転帰は回復されている。
331	B05018850	67	年	女性	劇症肝炎	2005/11/10 2005/11/11 2005/11/12 2005/11/13 2005/11/14	不明、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00	2005/11/16 2005/11/19	夜 -	-	-	-	No	No	解熱過程	No	No	No	-	No	うつ病	2005/11/8 インフルエンザワクチン接種。 2005/11/9 発熱(39.8℃)、咽頭痛(+)、息苦しさ(+) 2005/11/10 受診。インフルエンザの疑いで本剤の投与を開始(150mg/日 ～11/14)。 2005/11/14 他科受診。X-P正常、熱(-)、便秘(+)、HCV(-)、HBsAg(-) 2005/11/15 急性肝炎(疑)入院。黄疸(+)、血中アンモニア：188、APTT：46.7秒、プロト ロロン(中間：21.8秒、HA抗体-IgM(-))、全身倦怠感、黄疸、肝不全発現。入院。 2005/11/16 夜間、時おり息味不明言動あり。 2005/11/17 全身倦怠感著明、水様便多量。 2005/11/18 全身倦怠感継続。 2005/11/19 ベッドより飛び降りたり、大声で叫んだりする。血漿交換のために一時他 院へ転院。 2005/12/28 当院へ帰院。 2006/01/27 退院。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚 醒等 の既往	睡眠覚 醒等 の既往	光に 対する 反応	他剤に よる 異常な 行動 の副作 用歴	異常な行 動に 関する 既往 歴	異常な行動 の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が 見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)
						2009/2/5 2009/2/6	午後 午前・午後	2009/2/7 2009/2/8 2009/2/9	1:00 不明 0:00													
332	B08030324	69	年	男性	異常行動	2009/2/5 2009/2/6	午後 午前・午後	2009/2/7 2009/2/8 2009/2/9	1:00 不明 0:00	○	-	-	-	No	解熱後	Yes	No	-	-	No	-	2009/02/04 本剤75mg×1回/日服用(～2009年2月6日)。 2009/02/07 (1:00頃)異常行動発現。一人2Fのベランダを徘徊する患者を家族が発見。(翌日記 憶なし)。 (日中)幻覚発現。虫や人の幻覚。家の壁にムカデ、ゴキブリが無数にいたとの幻覚。 家族より修正されても修正不能だった。発熱、頭痛、嘔吐嘔吐は認めていない。 2009/02/08 (時刻不明)寝室に軍服の軍人が3名手招きをする幻覚が発現。(軍人の幻覚はその 後も度々続き、後半は会話をしていった)。 (22:00頃)自宅の2階の自室にて就寝されるのを家族が確認した。 2009/02/09 (0:00頃)2Fに寝ていたはずの患者が突然玄関で家族に見えられた。大きな怪我はな いものの頭部外傷、四肢打撲痕があり顔や衣服に泥がついており擦り傷もみられたこ とから、どうやら2Fから転落or飛び降りて受傷した様子。 (2:00)救急車にて当院に搬送。インフルエンザ脳症をあるいは薬剤の影響を疑い各 種検査実施。 来院時、vital所見に異常はなく、意識状態はsimple orderは入るものの、意識清明とは 言えず、受傷時の記憶、またその日の記憶があいまいであった。 インフルエンザ検査で陽性であった。 2009/02/10 (朝)幻覚持続。その後収束。以後幻覚は消失したままであった。その間、発熱等は認 めなかった。 2009/02/11 幻覚症状は消失
333	B06001534	71	年	男性	①平衡障害 ②異常行動	2006/4/1	①15:00 ②20:00	2006/4/1	①17:00 ②22:00	×	-	2時間	少なくとも8 時間以内	-	解熱過程	No	No	No	No	-	無	①(17:00) 覚醒後、自動車を運転。 同乗の妻より車がまっすぐ走らない、方向感覚がおかしい、電柱に車をぶつける、車庫 に車をうまく駐車できない、自宅に戻るも不安定で座位がとれないとのこと。 (20:00)本剤75mgを服用。 (22:00)覚醒。平衡機能障害回復(持続時間:5時間)。 ②2006/04/01(22:00)覚醒。突然、田植えをしている動作あり。家人が話しかけると 「田植えをしている」と。また、ほうきをはいている動作をするなどの異常行動が見られ た。 2006/04/02(22:00)異常行動回復(持続時間:24時間)。
334	B06017551	71	年	女性	譫妄	①2006/3/2 3/3～3/6 ②2006/3/7	①21:30 朝・夕 ②夕方	①2006/3/6	①23:00	-	No	約1時間	30分～1時 間	Yes	-	Yes	-	-	-	-	無	2006/2/26 気管支喘息のため入院。 2006/3/2 プレドニゾン30mg開始。(15:00)点滴終了。ジスロマック処方される。食欲 低下続く。夕食摂取できず。 (18:00頃)38.5℃の発熱。背部痛もあり。クーリング施行。(21:00)KT:38.5 ナハ0.5g頓服 服用。嘔吐、呼吸苦もあり。酸素経鼻で1L開始。SpO2:91%。(21:30)インフルエンザA型 にてタミフル75mg×2回/日処方。75mg服用。(～3/7朝)アミノフィリン16mL(400mg)で開 始。 2006/3/3 プレドニゾン20mgへ。食欲低下続く。1割ほど摂取。下肢の痛み、関節 痛、背部痛は軽減。(8:00)KT:37.2 (20:00)KT:37.2 2006/3/6 食事摂取は1～3割。酸素はずしがら。発熱なし。(8:00)36.7。(20:00)37.2。 (23:00)失禁。部屋からでてこようとしているが、点滴がドブにはさまっている。ケースが 付き添いトイレへ。着くまで見て見に行くと言わなくてとズボンを洗っている。夜間せん さん(非重篤)発現。 2006/3/7 (6:00)昨日は昏速になり夢遊病者みたいにおしっこを漏らしてしまっ ようと思ったら、シャツをズボンにして履いていた。床にうずくまって泣いていた。今は しっかりしている。食欲低下はまだあるため3～5割ほど摂取。プレドニゾン10mgへ。 2005/2/25 インフルエンザB型と診断。タミフル150mg/日、PA錠 3錠/日、カロナール 600mg/日投与開始。 2005/2/28(22:40)突然大きなびきと共に暴れた。(23:00)救急車で来院。意識障 害を認め、ホリゾンIV、GT、血液検査施行。GT:正常。タミフルおよび併用薬投与中 止。 2005/3/1(1:00)病棟へ入院。(4:00)覚醒。全身間代性発作発現。(4:07)発作消失。 高CK血症、GOT、LDH上昇あり。補液(ブドウ糖1000mL(～3/6)、アミノフリード 500mL(～3/3))施行。 2005/3/2(8:15)意識レベル清明。 2005/3/9 産後、意識障害回復。退院。 2005/2/9(11:20)38℃の発熱で発熱。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤1cap 服用し帰宅。(20:00頃)夕方までに解熱。普通に夕食摂取。(21:00前後)夕食後自室へ 戻り本剤服用。常用薬の眠剤は服用。その後5～10分で天井が回り出し、明未明まで 記憶がはつきりしない。 2005/02/10(9:22)家族から電話。部屋をひきかき回したように荒らしてある。ストーブ 転倒しベランダに灯油が流れている。本人は灯油を右腕に浴びている。顔面の打撲あり。 解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄 は回復。
335	B05000692	72	年	男性	①産後 ②意識レベルの低 下	2005/2/25 ～2/28	1日2回	2005/2/28	22:40	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2005/2/26(8:15)意識レベル清明。 2005/3/9 産後、意識障害回復。退院。 2005/2/9(11:20)38℃の発熱で発熱。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤1cap 服用し帰宅。(20:00頃)夕方までに解熱。普通に夕食摂取。(21:00前後)夕食後自室へ 戻り本剤服用。常用薬の眠剤は服用。その後5～10分で天井が回り出し、明未明まで 記憶がはつきりしない。 2005/02/10(9:22)家族から電話。部屋をひきかき回したように荒らしてある。ストーブ 転倒しベランダに灯油が流れている。本人は灯油を右腕に浴びている。顔面の打撲あり。 解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄 は回復。
336	B05000875	72	年	男性	譫妄	2005/2/9 2005/2/9 2/10～2/12	12:20 21:00 1日2回	2005/2/9	21:05	×	No	-	9分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2005/02/10(9:22)家族から電話。部屋をひきかき回したように荒らしてある。ストーブ 転倒しベランダに灯油が流れている。本人は灯油を右腕に浴びている。顔面の打撲あり。 解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄 は回復。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤による 「異常な 行動」の 副作用 歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうかと言っているのか？)	
337	B08016131	73	年	男性	異常行動	2008/8/1 13:00	2008/8/1 23:00	×	-	-	-	-	発熱持続	-	No	-	-	-	-	2008/08/01 (13:00)本剤75mg内服。体温:37.5℃ (23時頃)異常行動発現。病棟徘徊し、不穏状態出現。理解力も普段に比べ乏しい状 態であった。「家に帰る」と訴える。 2008/08/02 (早朝4時)何度も起き上がり、再度、「家に帰る」と訴える。職員が安全性の面からも病 室滞在を促すも、理解力低下、不穏状態を示す。 2008/2/11 夜間から未明にかけて徘徊し、家族がさがしたが結果的にトカーで確保され (午後)透析実施。言動が少しおかしいとのこと。本剤服用控える。その後も帰宅を希 望されつづける。 2008/08/04 家族と連絡がとれ、熱もさがった。 異常行動の転帰:回復	
338	B05024268	74	年	不明	①異常行動 ②大腿骨折 ③幻覚	2006/2/8~ 2/10	2/10 2/11~12	×	No	-	No	No	解熱過程	No	No	No	No	No	不明	2006/2/8 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2/日投与開始。異常行動発現。 2006/2/10 (朝)幻覚発現(重篤度不明)、継続。インフルエンザ軽快。 2006/2/11 夜間から未明にかけて徘徊し、家族がさがしたが結果的にトカーで確保され た。 2006/2/12 家族がうたえた後、2階より飛び降りて大腿骨骨折。(Dr:寝ていな いのではないかと、現在治療のため入院中。 2002/3 この頃、被害妄想顕性化し他院通院。 2002/7/24 同院に入院し加療。抑うつ神経症の診断。 2002/12/9 状態が安定化したため、当院に入院。レボミン10mg/日、パキシル30mg/ 日投与開始。 2003/1/2 (0:20)体温39.0℃、倦怠感。(8:00)体温38.1℃、倦怠感、関節痛、上気道症 状(鼻水、咽頭痛、咳等)は認めず。インフルエンザの診断検査実施しなかったが、イ ンフルエンザ感染症を疑いタミフル2カプセル分2を5日分処方。(20:00)体温37.1℃、倦 怠感、関節痛。 2003/1/3 (20:00)体温37.2℃、倦怠感、関節痛。かぜ症状は認めず。 2003/1/4 (1:00)電気を付け、窓を明けゴソゴソしている。意味不明語、妄想、不穏あ り。体温37.2℃、倦怠感、肩痛、股関節痛あり。その後も同様の状態が続くが徘徊し て目が離せなくなる。タミフルは継続。(13:20)デハス0.5mg錠(日3)投与開始。少 しずつ精神状態安定化。 2003/1/6 デハス2錠/日に減量。タミフル投与終了。 2003/1/8 症状軽快。	
339	B02013397	79	年	女性	①落ち着きのなさ ②妄想	2003/1/2~ 1/6	2003/1/4 1:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	抑うつ神経症	2002/3 この頃、被害妄想顕性化し他院通院。 2002/7/24 同院に入院し加療。抑うつ神経症の診断。 2002/12/9 状態が安定化したため、当院に入院。レボミン10mg/日、パキシル30mg/ 日投与開始。 2003/1/2 (0:20)体温39.0℃、倦怠感。(8:00)体温38.1℃、倦怠感、関節痛、上気道症 状(鼻水、咽頭痛、咳等)は認めず。インフルエンザの診断検査実施しなかったが、イ ンフルエンザ感染症を疑いタミフル2カプセル分2を5日分処方。(20:00)体温37.1℃、倦 怠感、関節痛。 2003/1/3 (20:00)体温37.2℃、倦怠感、関節痛。かぜ症状は認めず。 2003/1/4 (1:00)電気を付け、窓を明けゴソゴソしている。意味不明語、妄想、不穏あ り。体温37.2℃、倦怠感、肩痛、股関節痛あり。その後も同様の状態が続くが徘徊し て目が離せなくなる。タミフルは継続。(13:20)デハス0.5mg錠(日3)投与開始。少 しずつ精神状態安定化。 2003/1/6 デハス2錠/日に減量。タミフル投与終了。 2003/1/8 症状軽快。	
340	B06016893	83	年	男性	譫妄	2006/1/9 2006/1/9 2006/1/10 2006/1/10 2006/1/11	2006/1/10 10:00	×	No	-	34時間	No	-	発現時 のみ微熱あり	-	-	-	-	-	無	落ち着かない。やや興奮気味。「これはいや。帰るからいらん」と顔面紅潮させる。点 滴ルートやチューブでぐるぐる巻きになっていた。「もしいらんね、別にもう結構です」 と何を言っているかわからない。不穏状態続く。せいぜいながら、熱い顔を見て顔を 覆っていた。病棟内をうろつく。隣の患者のベッドに乗り込み、何かいると、とても怖がる様 子。看護士がなだめると、ぼんやりととめると、病棟をうろつく。他の患者のところに 居座る。杖を振り回す。起きるとすぐに意味不明発語あり。徘徊
341	B06025119	83	年	男性	異常行動	2007/1/2/7	2007/2/7 12:00	×	No	-	-	-	解熱過程	Yes	No	No	No	No	不明	2007/2/5 インフルエンザと診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(〜2/6)。 2007/2/6 (20~21:00)脱床。 2007/2/7 (朝)タミフル減量(75mg×1/日)。(昼前)治療室にいた。睡眠不足はなし。車 の運転が大好きで当日、奥さん入院中だったの病院へ自分で車を運転して行くつもり でいたが、インフルエンザにかかり、高熱が出ていた(当日は熱はなかった)こともあり、 家の人に運転を止められ車を立てて、朝家まで出て、軽トラが何で家の周りを、数 週まわっていたらしい。(12:00頃)異常行動出現。除草剤(バスタ)を飲んだ。(18:30嘔吐 とけいれん出現。家人に聞いたら、何かついてもらって、除草剤を服用したことを自白し、ポケットに 除草剤のボトルを入れて持っていた。(18:45意識消失。(19:00)救急車で他院へ搬送 され、治療を受けた。入院。後遺症なし。入院後下痢が長く続いたため、体力消耗し、 そのためいつもの状態に戻るのに日数を要した。インフルエンザ軽快:回復。 2007/2/26 回復。 2007/2/28 退院。	
342	B08027729	84	年	女性	異常行動	2009/1/3~ 2009/1/5	2009/1/3 -	○	Yes	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2009/01/03 A型インフルエンザ治療のため本剤75mg×2回/日投与開始(〜2009/01/05)。 異常行動(医師重篤度:非重篤)発現。夜中に覚醒して、「仏壇に金を取りに行く」と 言って出口を開き、外に出る出口を開こうとした。不眠症も数日続いていた。 2009/01/07 異常行動の転帰:回復	
343	B03008735	85	年	女性	全健忘	2003/12/26 ~12/28	2003/12/29 1:00	-	-	-	14時間	No	解熱後	No	No	-	No	No	無	2003/12/26朝 悪寒感、体温40℃、救急車で当院受診。上咽頭粘膜のインフルエンザ A抗原陽性、脱水、低酸素血症あり。タミフル(150mg/日)、O2 補充開始。 2003/12/28午後 平穏になった。 2003/12/29 (1:00)入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊、ミオクローヌス なし。(8:00)頭部CT正常。記憶力低下(3分前のことを覚えていない)がつづく。主治医を見 て「アタタ、タスキに似てるな、バカしてんじやないか?」と話す。(14:00)患者の息子と 話し合い、インフルエンザが治ったこと、一過性全健忘で治ると思われることを根拠 に自宅へ退院。(16:00)前日までの記憶が戻り、29日未明〜退院までの記憶が欠如。 入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊。記憶力低下(3分前のことを覚えて ない)がつづく。主治医を見て「アタタ、タスキに似てるな、バカしてんじやないか?」と話 す。	
344	B05024865	85	年	男性	譫妄	2006/2/3 ~2/5	①2006/2/5 ②2006/2/6 ③2006/2/7	-	-	-	-	Yes	解熱過程	No	No	No	No 失明患者	Yes	認知症	①興奮気味で意味不明などを話す(眼が見えるようになった等)。 ②相手が誰か、今どこにいるか、質問してもわからない。 ③子供の声が聞こえ、窓を開けて外に出た。小さなタンス等を押しつけて出た。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない、×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記 憶	睡眠覚醒 等の既往	睡眠覚 醒等の 家族歴	光に 対する 反応	他剤に よる 「異常な 行動」 の副作 用歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の 具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように言っているのか？)
345	B04027261	90	年	女性	譫妄	2005/3/10 3/11~3/13 3/14	2005/3/12 18:00	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1994頃 慢性腎不全、慢性心不全、甲状腺機能低下症発症。 2005/03/09 咳、痰、発熱あり。 2005/03/10 (15:00)外来受診。インフルエンザB陽性。肺炎と心不全、腎不全増悪あり。入院予定であったが、空床が無く、外来でロセフィン点滴と本剤、ムコロン、咳水の処方を行い一旦帰宅。 2005/03/11 (11:20)入院。本剤、ロセフィン、感冒薬継続。 2005/03/12 (18:00)点滴終了。せん妄発現。 2005/03/13 (0:40)意味不明の言動。(19:00)拒薬、興奮、職員への暴力。(20:50)セレネース1A im。 2005/03/14 (15:00)覚醒度不良。意味不明の言動、興奮は消失。夕方より、本剤投与中止。 2005/03/15 上記の行動消失も日中睡眠。夜間は良眠。 2005/03/18 ロセフィン投与中止 2005/03/19 (15:00)つづまの合わない発語が時々。 2005/03/20 (15:00)せん妄軽快。以前の状態へ回復。
346	B05025587	90	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2006/2/15 2/16~2/17	①2006/2/18 ②2006/2/19 ③2006/2/19	-	-	-	-	-	解熱過程	No	No	No	-	No	-	2006/2/14 夕方頃より発熱38.3℃、せき、鼻水 2006/2/15 (15:00)熱38.6℃。(17:00)来院。2日間接触のあった者がインフルエンザだったことが判明した為、タミフル及び併用薬を処方(インフルエンザの確定診断は行っていない)。帰宅後タミフル1カプセル服用。 2006/2/16 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2006/2/17 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2006/2/18 (1:00)夜中、大きな声を出し幻覚症状訴える。薬中止。幻覚症状続く。興奮状態。 2006/2/19 (4:30)朝、大きな声がするので見ると部屋のサッシが開いて普段全く出られないところから外へ出た後、廊下に立っていた。左手を痛める(原因不明)。排便後ベランダに入る。(7:00)階下のため呼びに行く。また外へ出たまっていた。幻覚あり。腫を取った後、変れたように眠り続ける。時々水分を取らせるも熱退。(20:30)夕食。手を痛がる。トイレ時、下着が上げられない。 2006/2/20 (10:00)来院。左手首ねんざ、両下肢に打撲傷、擦り傷あり。 幻覚、異常行動回復。
347	B05001178	94	年	男性	胃腸出血	2005/3/24	2005/3/27 17:00	-	No	-	-	No	解熱過程	No	No	No	No	No	-	1995/12/26 慢性腎不全にて血液透析開始。 2005/3/24 (午後)39.5℃の発熱のため透析後内科受診。インフルエンザA型と診断。(16:00)入院。38.4℃(17:30)39.4℃。タミフル1cap、ロキソニン1錠服用。タミフル、ロキソニンは1回のみ。(21:00)BT36.7℃。その後は発熱を認めず。 2005/3/25 解熱。 2005/3/26 透析実施。 2005/3/27 (不穏行動の詳細は不明。個室であり、3月27日曜日であった。少し認知症の気があった。)吐しゃ物の潜血反応検査実施(潜血としては極少量)この時点から消化管出血があったかは疑問。(17:00)不穏な行動あり、その後嘔吐(潜血反応)(18:00)一時禁食にしていたが、嘔吐、気分不快なく同日夕食を介助にて摂取した。(この時にはケール食なし) 2005/3/30 (8:00)朝食も半分量摂取。気分不快等の訴えもない。(14:15)タール便中等量、胃痛あり。そのため禁食。(22:20)突然の下血多量(タール便)。顔色不良。その後も下血続いていた。翌日胃カメラを予定される。 2005/3/31 (2:30)呼吸状態悪化。血圧低下。挿管人工呼吸器装着。(3:00)血圧低下。(3:30)心拍数低下(4:27)死亡確認。
348	B07013381	94	年	女性	異常行動	2007/3/29 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/30 2007/4/1 2007/4/1 2007/4/2 2007/4/2 2007/4/3 2007/4/3	2007/3/29 夜間	x	-	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	-	2007/3/29 インフルエンザA型と診断。発症時の自覚各症状として発熱(38.5℃)、頭痛、関節痛を認める。タミフルカプセル75の投与を開始(～3月31日 朝まで投与)。夜間 異常行動(非重篤)発現。訳のわからない発語とともに屋外に出て行ってしまった。異常行動は回復。その後は特に異常行動はなかった。
349	B08027228	30代	年	女性	異常行動	2009/1/15~ 2009/1/18	2009/1/15 夜	-	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	-	2009/01/15 インフルエンザ治療のため本剤投与開始(～2009/01/18)。体温39.4℃。 異常行動(医師を罵詈雑言)発現。夜に熱が出て、トイレに行き出たところから記憶がない。トイレから出てきた後、家の中を走り回り、テレビ台に激突し、怪我をした。医師を呼ぼうかとの問いかけに対して「いらぬ」と答え、原因不明の腹痛もあったがそのまま就寝。その際の記憶もない。 2009/01/19 異常行動の転帰：不明
350	B07000403	小児		女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本剤投与後、「自分が透明になった。2階に足が引っ付いて離れない」2時間くらい暴れ、母とおばあさんがびっくり押さえてくれたことなきを得たとの報告を受けた。もともと患者は精神科に通っている。
351	B07013378	小児		男性	異常行動	-	2007/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱性痙攣の既往あり。 不明 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2007/3 3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、当患者だけ、家の中を走り回るなど異常な行動が見られた。 不明 翌日には回復しており一時的であった。

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻		異常な行動発現時刻		就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒 症等の家 族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 履歴	異常な行動 に関する既往 歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたようだと云っているのか？)
						2007/3/2	不明	2007/3/2	-													
352	B07000209	青少年		男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	2007/3/2インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始。(75mg×2/日)走行中の車からの飛び出し。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。
353	B07027776	不明		男性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	-	-	不明 目 インフルエンザ治療のため、本剤を5日分処方。1日目の2カプセル目を飲んだところまでは記憶はあるが、その後なくなる。朝、ベッドに座っていて、気がつくと手から出血していた。知らない間にトイレのタンクを壊していた。水浸しに気づかず。異常行動、手から血が出ていた。発現。その後も服用を継続したが、異常行動はなかった。異常行動 回復。